

大分市埋蔵文化財調査報告

2008年度

2009

大分市教育委員会

序 文

本書は、平成20年度に大分市教育委員会が実施いたしました埋蔵文化財調査の概要を収録したものです。

平成20年度は、駅周辺整備事業や区画整理事業、宅地造成事業など公共・民間の各種開発等に伴い市内25箇所が発掘調査を行い、郷土の先人たちが築き上げた地域固有の特色ある歴史を今に伝える、数多くの埋蔵文化財を発見することができました。

そのなかでも、大友氏館跡は発見から10周年の節目の年にあたり、この間の発掘調査によって、およそ450年前に国際貿易都市として繁栄した豊後府内の街やその中心に築かれた戦国大名大友氏の館のようすが次第に明らかとなってきました。

本市教育委員会では、国の指定を受けました大友氏遺跡の保護・保存と活用を図るため、地元の方々の皆さまのご協力をいただき、史跡の確認調査や追加指定・公有化を進めているところでございます。

また、4月には元町地区に大友氏遺跡体験学習館を開設し、大友氏遺跡の最新の発掘情報や東南アジア諸国との交易で栄えた南蛮都市・豊後府内のようすを楽しく学べる歴史教室として市民の方々に活用いただいているところでございます。

今後とも大友氏遺跡をはじめ、市内の埋蔵文化財を活かしながら、大分の歴史と文化について身近にふれあえる個性的で魅力あふれるまちづくりを推進するとともに、本市の教育・文化の振興と普及に努めて参ります。

平成21年12月28日

大分市教育委員会

教育長 足 立 一 馬

例 言

1. 本書は、大分市域において大分市教育委員会が平成20年4月1日～平成21年3月31日の間に行った埋蔵文化財に関する事業内容についてまとめた報告書である。
2. 平成20年度における調査地点は、第2図に示している。
3. 本書の執筆は、各調査担当者が分担して行い、文末に執筆者名を記している。
4. 第3章の受贈図書一覧は、平成20年4月1日～平成21年3月31日の間に大分市教育委員会文化財課に受贈された書籍等を掲載した。なお、受贈図書一覧の作成は、羽田野裕之（大分市教育委員会文化財課嘱託）による。
5. 本書に掲載された遺跡調査の資料整理は、調査担当者をはじめ、下記の大分市教育委員会嘱託が行ったものである。

井口あけみ、佐藤孝則、廣瀬育子、山下朋紀、鍋島千恵子、倉増美千代、松木晴美、木村藍子、小野千恵美、
稗田智美、佐藤良子、小島 愛
6. 本文中に掲載した現場写真は、各調査担当者が撮影したものである。
7. 本書の編集・構成は、塩地および各調査担当者が行った。
8. 出土遺物および調査の記録・資料は大分市教育委員会文化財資料室に保管している。
9. 大友氏関連遺跡の調査・名称については、その構成要素である町屋部分を「中世大友府内町跡」とし、この範囲に含まれる「大友氏館跡」ならびに「旧万寿寺地区」は、個別に調査次数を付する。
10. 本書中第2章で使用した調査地点位置図のうち、特に断りのないものは、大分市都市計画図（1／10000）である。

本文目次

第1章 大分市教育委員会教育部文化財課概要 … 1	2 分布調査の成果報告 …… 24
1 沿革 …… 1	丹生庄の調査 …… 24
2 組織 …… 1	
3 大分市文化財保護審議会 …… 2	3 埋蔵文化財の概要 …… 25
第2章 埋蔵文化財調査の概要報告 …… 3	(1) 埋蔵文化財調査報告書の成果概要 … 25
1 発掘調査の成果概要 …… 3	『丹生川坂ノ市条里跡 丹生遺跡』 25
大道遺跡群第25次・26次調査 …… 7	『府内城・城下町跡6』 …… 25
大道遺跡群第27次・28次・29次 ・30次調査 …… 7	『大友府内13』 …… 25
大友氏館跡第21次調査 …… 8	『宮苑井ノ口遺跡第5次調査』 …… 25
中世大友府内町跡第82次調査 …… 9	『大友府内14』 …… 25
中世大友府内町跡第83次調査 …… 11	『大道遺跡群2』 …… 25
中世大友府内町跡第83-2次調査 … 11	『下郡遺跡群Ⅶ』 …… 25
中世大友府内町跡第84次調査 …… 12	『府内城・城下町跡7』 …… 25
旧万寿寺跡第5次調査 …… 12	『米竹遺跡第3次調査』 …… 25
葛木遺跡第5次調査 …… 13	『木ノ上・田原地区の墳墓群』 …… 25
羽田遺跡第3次調査 …… 17	『横尾遺跡2』 …… 25
横尾遺跡第133次調査 …… 17	(2) 教育普及活動の成果概要 …… 25
横尾遺跡第134次調査 …… 18	海部古墳資料館特別展 …… 25
横尾遺跡第135次調査 …… 18	文化財だよりの発行 …… 26
横尾遺跡第136次・137次・138次調査 … 19	旅する長崎学連携講座 …… 26
横尾遺跡第139次調査 …… 19	大友氏遺跡フェスタ2008大友氏館跡 発掘調査10周年記念シンポジウム … 27
城原・里遺跡第12次調査 …… 21	写真パネル展 …… 27
大將軍古墳 …… 21	「大友氏館跡周辺の今、むかし」 横尾遺跡 弥生のムラ ウォーキング … 28
千代丸古墳・宮苑遺跡第2次調査 … 22	大友氏館跡現地説明会 …… 28
宮苑井ノ口遺跡第5次調査 …… 23	大友氏遺跡体験学習館 …… 29
米竹遺跡第3次調査 …… 23	
	第3章 受贈図書目録 …… 30

挿 図 目 次

第1図	地域区分図	第37図	調査地点位置図
第2図	調査遺跡位置図	第38図	1区建物調査状況（南東から）
第3図	調査地点位置図	第39図	調査地点位置図
第4図	第28次古代の大溝跡（西から）	第40図	調査地点位置図
第5図	第25次古代の流路跡（北から）	第41図	調査区全景合成写真（上が北）
第6図	調査地点位置図	第42図	調査地点位置図
第7図	調査区北東部調査状況（上が北）	第43図	調査地点位置図
第8図	調査地点位置図	第44図	調査区近景（南東から）
第9図	調査区北東部遺構検出状況（北から）	第45図	無縫塔竿片位置と周辺図（1／2,500）
第10図	出土遺物実測図（1／4）	第46図	丹生庄の調査 遺物実測図 （1～4は1／3・5は1／6）
第11図	調査区遺構配置図（1／100）	第47図	展示のようす
第12図	調査区東壁土層断面図（1／40）	第48図	文化財だより2008年度版の内容
第13図	遺構配置図（1／100）	第49図	公開講座①のようす
第13図	調査地点位置図	第50図	公開講座②のようす
第14図	83次調査区全景(上が北)	第51図	シンポジウムのようす
第15図	83－2次調査区全景(西から)	第52図	会場入口のようす
第16図	遺構配置図（1／100）	第53図	写真パネル展のようす
第17図	調査地点位置図	第54図	ウォーキングのようす
第18図	調査地点位置図	第55図	案内図の内容
第19図	万5－2区 SX150堆積状況(北西から)	第56図	解説シートの内容
第20図	これまでの葛木遺跡調査区位置図 と周辺地形図（1／5,000）	第57図	遺跡解説のようす
第21図	葛木遺跡第5次調査遺構配置図（1／200） とSD2断面図（1／40）	第58図	出土遺物解説のようす
第22図	竪穴建物跡実測図（1／60）	第59図	施設外観
第23図	葛木遺跡第5次調査出土遺物実測図（1／3）	第60図	体験学習のようす
第23図	万4 SX150南端土層堆積状況（北西から）		
第24図	調査区近景(西から)		
第25図	SH01完掘状況（北から）		
第26図	調査地点位置図		
第27図	調査区周辺(上が東)		
第28図	調査地点位置図		
第29図	調査地点位置図		
第30図	調査区近景(上が東)		
第31図	調査地点位置図		
第32図	第137次調査区全景（上が北）		
第33図	調査地点位置図		
第34図	調査地点位置図		
第35図	環濠（北から）		
第36図	大型柱穴遺構（北から）		

表 目 次

第1表	大分市平成20年度発掘調査地一覧
第2表	大分市平成20年度試掘・確認調査・立会調査地一覧

第1章

大分市教育委員会教育部文化財課概要

1. 沿革

昭和51年4月1日 大分市教育委員会社会教育課内に文化財係を設置
昭和59年6月28日 大分市教育委員会社会教育課文化財係を大分市教育委員会社会教育課文化財室に改組
平成5年4月1日 大分市教育委員会文化振興課文化財室に改組
平成10年4月1日 大分市教育委員会生涯学習課文化財室に改組
平成12年4月1日 大分市教育委員会文化財課に改組
平成13年4月1日 大分市教育委員会教育総務部文化財課に改組
平成21年4月1日 大分市教育委員会教育部文化財課に改組

2. 組織

次長兼課長	玉永光洋	大分市歴史資料館
参事	岩田祐治	参事兼館長 讃岐和夫
課長補佐兼文化財調査担当	塔鼻光司	課長補佐兼副館長 久多羅岐 明
主幹兼文化財普及担当	後藤典幸	武富雅宣 (平成21年4月～)
管理係	課長補佐兼係長 福田誠一	副館長 後藤典幸 (～平成21年3月)
主査	幸 俊昭 (～平成21年6月)	主査 広岡道代 安部幹夫
	筒井和信 桑原 治 渡辺政雄 (平成21年7月～)	指導主事 甲斐 猛 姫野公徳 (平成21年4月～)
	栗田博之 (平成21年4月～)	研修教諭 由良一郎
	神崎小由美 (平成21年7月～)	主任 中西武尚 (平成21年4月～)
指導主事	植木和美	嘱託 古瀬美鈴 大平直子
	姫野公徳 (～平成21年3月)	細井雅希 阿南希依
主任	竹中智美	北原洋之 安部和広
	加藤キヌ (～平成21年6月)	高島葉月
	宮崎 勲 山上洋二郎 麻生重徳	
文化財係長	坪根伸也 (平成21年4月～)	
専門員	池邊千太郎	
	高島 豊 河野史郎 塩地潤一 (平成21年4月～)	
主任	永松正大 佐藤道文 (平成21年4月～)	
	中西武尚 (～平成21年3月)	
主事	五十川雄也 長 直信	
	古川 匠 (平成21年3月退職)	
	石川ゆかり (平成21年4月～)	
嘱託	井口あけみ 稗田智美 奥村義貴	
	佐藤孝則 三嶋桂司 羽田野裕之	
	山下朋紀 上原翔平 仲町憲治	
	廣瀬育子 鍋島千恵子 松木晴美	
	木村藍子 小野千恵美 佐藤良子	
	小島 愛 姫野久恵 倉増美千代	

3. 大分市教育委員会事務局組織規則（抜粋）

文化財課

- (1) 文化財の調査、保存及び整備に関すること。
- (2) 文化財保護思想の普及啓発に関すること。
- (3) 文化財保護審議会に関すること。
- (4) 歴史資料館、海部古墳資料館、毛利空桑記念館、池見家住宅その他文化財施設の管理に関すること。

1. 大分市文化財保護審議会

大分市文化財保護審議会委員（平成18年4月1日現在）

氏名	勤務先	担当
北 野 隆	熊本大学・名誉教授（会長）	建造物
豊 田 寛 三	大分大学・教授（副会長）	近世
下 村 智	別府大学・教授	考古埋蔵
西別府 元 日	広島大学・教授	古代
鹿 毛 敏 夫	新居浜工業専門学校・准教授	中世
宗 像 健 一	大分市美術館・顧問	美術
吉 田 稔	大分生物談話会会長	植物
渡 部 文 雄	別府大学・教授	工芸
段 上 達 雄	別府大学・教授	民俗
渡 部 ひろ美	大分県立三重総合高等学校・教諭	動物

大分市文化財保護審議会条例（平成11年12月15日条例第42号）

（設置）

- 第1条 文化財保護法（昭和25年法律第214号）第190条第1項の規程に基づき、大分市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に大分市文化財保護審議会（以下「審議会」という）を置く。（平17条例13・一部改正）

（組織）

- 第2条 審議会は、委員10人以内をもって組織し、学識経験者のうちから教育委員会が委嘱する。

（任期）

- 第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の在任期間とする。

（会長及び副会長）

- 第4条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により選出する。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

- 第5条 審議会の会議（以下「会議」という。）は会長が召集し、会長がその議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

3 会議の議事は、出席議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明、又は意見を聴くことができる。

（部会）

- 第6条 審議会に、教育委員会規則の定めるところにより、部会を置くことができる。

（庶務）

- 第7条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

（委任）

- 第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

（大分市文化財調査委員会条例の廃止）

- 2 大分市文化財調査委員会条例（昭和51年大分市条例第4号）は廃止する。

附則（平成17年条例第13号）

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

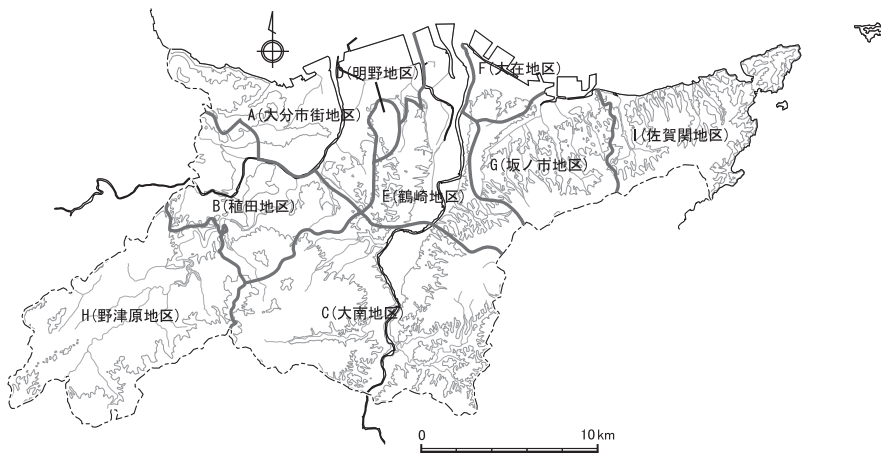
第2章

埋蔵文化財調査の概要報告

1. 発掘調査の成果概要

平成20年度に行った発掘調査件数は90件であった。内、本調査は26件、確認調査は34件、立会調査は30件であった。(第1表)

試掘・確認調査については、確認調査34件の調査件数の中で遺跡が確認されたのは18件であり、調査件数全体の約53%にあたる。更に、これらの中で協議の結果、工法変更などができずに本調査へと移行したものは5件あり、全体の約15%となっている。



第1図 地域区分図

以下に、平成20年度に行われた本調査の成果を時代別に概観していく。

(旧石器・縄文時代)

旧石器時代の遺跡は、横尾遺跡133次調査と136次調査の2地点で確認されている。133次調査では、流紋岩による集石遺構が検出されており、剥片の接合関係などからこの地で石器製作が行われていた可能性が考えられる。

縄文時代の遺跡は、羽田遺跡5次調査において縄文後期の包含層を確認するのみであったが、沖積低地の形成過程を知る上で貴重な発見となっている。

(弥生時代)

弥生時代の遺跡は、大道遺跡群30次調査、葛木遺跡2次調査、横尾遺跡134次・135次・139次調査、宮苑・井ノ口遺跡5次調査、米竹遺跡3次調査の5遺跡、7地点で確認されている。

葛木遺跡2次調査では、竪穴住居を6基検出し、その切り合い関係から少なくとも2時期にわたり集落が展開する可能性がある。それに伴って検出された溝跡は、集落を区画する溝であると考えられる。また、同じ鶴崎台地上に位置する米竹遺跡3次調査でも、中期を主体とする貯蔵穴や竪穴住居など弥生時代の集落を確認している。これらの調査は、鶴崎台地上の弥生時代における土地利用の変遷を追う上で重要な成果となっている。

横尾遺跡134次調査では、弥生時代終末期～古墳時代初めに埋没した環濠跡と柵列を検出しており、環濠跡からは大量の土器と共に青銅製の銅戈や銅鏃などを出土している。この遺構は、調査地の南側で発見された集落跡の北限を限る環濠であると考えられ、当時の集落規模を確定する手掛かりを得た。

今年度は、弥生集落の土地利用や変遷の解明につながる成果が多く挙げられた。今後は、周辺地域との比較によってより詳細な成果の積み上げが必要であると考えられる。

（古墳時代）

古墳時代の遺跡は、大道遺跡群25次～30次調査、羽田遺跡 5 次調査、横尾遺跡134次・139次調査、千代丸古墳・宮苑遺跡 2 次調査、宮苑・井ノ口遺跡 5 次調査、大將軍古墳の 6 遺跡、12地点で確認されている。

大道遺跡群では、住居跡・井戸跡・溝状遺構など当地域において集落の展開状況を知る上で貴重な成果を上げている。横尾遺跡139次調査では、北側にカマドを付設する竪穴住居を検出している。ここではカマド廃棄にともなう祭祀が行われたと考えられ、集落内で行われた祭祀の一側面を伺い知ることができる。

昨年度より引き続き行われた千代丸古墳・宮苑遺跡 2 次調査では、調査成果から少なくとも東西墳丘25m以上の円墳ないし、方墳である可能性を示した。また、今回は石室内を 3 D レーザー実測及び図化を行っている。

その結果、千代丸古墳が古い段階の終末期横穴式石室であるとの評価が得られた。このデータの今後の活用が期待される。

（古代）

古代の遺構は、大道遺跡群25次～29次調査、横尾遺跡135次～137次・139次調査、城原・里遺跡12次調査の 3 遺跡10地点で確認されている。

大道遺跡群28次では、周辺で検出された一線に延びる大溝が水路の機能を持っている可能性が指摘された。横尾137次調査では、周辺調査から続く道路状遺構を検出している。こうした古代の遺構は横尾遺跡全体に見られ、広域に展開する遺構群であると考えられる。

平成15年度より継続して調査が行われている城原・里遺跡では、7 世紀末～8 世紀初頭に比定される掘立柱建物 2 基と総柱掘立柱建物 2 基を検出している。このことから、調査区北西隅にも遺構が展開する状況が確認された。また、総柱掘立柱建物を 2 基検出したことにより、これまで検出している総柱掘立柱建物を含め、南北に連なる 6 棟の倉庫状建物を検出したことになり、遺跡の評価を考える上で注目される。

（中世）

中世の遺跡は、大友氏館跡21次調査、中世大友府内跡82～84次調査、旧万寿寺跡5次調査、羽田遺跡 5 次調査、横尾遺跡133・134・138・139次調査の 5 遺跡10地点で確認されている。

大友氏館跡21次調査では、館の東外郭推定ラインよりやや内側（西側）にあたる地点で16世紀前半～中頃に比定される備前大甕埋設遺構を検出する。性格などは不明であるが、館の東側における空間利用に関する発見となった。

今後は、この発見から得られた知見から館が最盛期を迎える16世紀後半の地形復元を含めた館の機能の検証が期待される。

旧万寿寺跡 5 次調査では、前年度に確認された掘り込み地業の範囲を確定したが、規模がやや狭く、再考が求められている。

中世大友府内町の調査は、今年度は 3 地点で行われており、それぞれ町の状況を解明する成果を上げている。町82次調査では、周辺調査地である町4次調査で確認された東西道路の延長部分を確認することができたが、想定されていた南北道路は確認されず、復元想定図で考えられている地点よりも西側に展開すると考えられる。

町83次調査では、万寿寺より南に延びる道路状遺構とその両側に平行して並べられた一条の石列遺構を検出している。また、この遺構に伴う町屋域（今道町）が同時に検出されており、一連の遺構から町屋の情景復元が試みられている。今後は、町屋の性格・形成時期などの解明が課題となる。

そして、町84次調査においては、廃棄土坑が多く検出され、一部には鍛冶関連遺物を廃棄した土坑も検出されている。このことから、当地は町屋の裏手にあたる廃棄空間が想定される。加えて、調査区内で推定「第一南北街路」に直行する溝状遺構を確認している。この溝は、町屋を区画する溝の可能性が指摘されており、注目される。

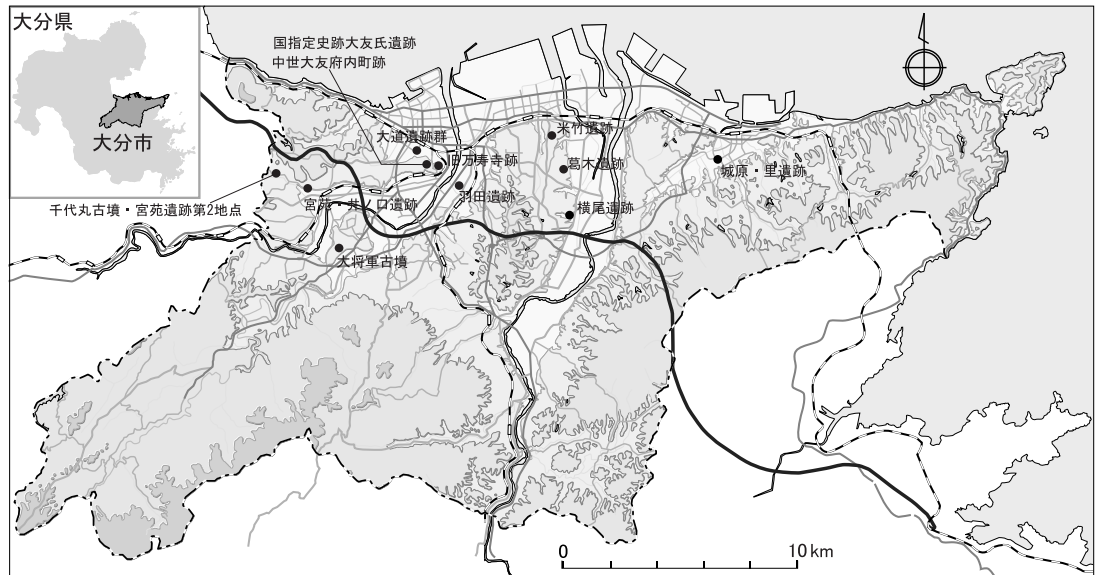
横尾遺跡134次調査では、四面に庇がつく可能性のある掘立柱建物を検出し、その北側で東西方向の溝状遺構を検出している。そして、両者を繋ぐように柵列が検出されており、これらは一連の施設と捉えられ、今後は景

観を含めた機能復元を考えていく必要がある。

(近世)

今年度は府内城・城下町の調査は行われておらず、近世の遺跡は横尾遺跡135次・136次・139次調査の3地点で確認されたのみである。136次調査では、現況道路の下から現在に踏襲される道路状遺構を確認している。

(上原)



第2図 調査遺跡位置図

第1表 大分市平成20年度発掘調査地一覧

番号	遺 跡 名	調査 次数	所 在 地	調査担当	調査 面積(㎡)	調 査 期 間	種 別	事 業 内 容
1	大 道 遺 跡 群	25次	大分市金池一丁目	中西	合計	080522～080804	公 共 事 業	駅南区画整理事業
2	大 道 遺 跡 群	26次	大分市金池一丁目	中西	710	080522～080805	公 共 事 業	駅南区画整理事業
3	大 道 遺 跡 群	27次	大分市金池一丁目	中西 五十川	合計	080901～090313	公 共 事 業	駅南区画整理事業
4	大 道 遺 跡 群	28次	大分市金池一丁目	中西 五十川	5800	080901～090313	公 共 事 業	駅南区画整理事業
5	大 道 遺 跡 群	29次	大分市金池一丁目	中西 五十川		080901～090313	公 共 事 業	駅南区画整理事業
6	大 道 遺 跡 群	30次	大分市金池二丁目	古川	645	090128～090313	公 共 事 業	駅南区画整理事業
7	大 友 氏 館 跡	21次	大分市顕徳町	長	523	080526～080826	国庫補助事業	確 認 調 査
8	中世大友府内町跡	82次	大分市錦町	古川 上原	61.3	080820～080826	国庫補助事業	集 合 住 宅
9	中世大友府内町跡	83次	大分市大字大分字北前田	古川 奥村	200	081020～081205	民 間 開 発	店 舗 建 設
10	中世大友府内町跡	84次	大分市錦町三丁目	永松 三嶋 上原	36.25	081030～081121	民 間 開 発	住宅併用病院建設
11	中世大友府内町跡	83-2次	大分市大字大分字北前田	河野	25	090305～090318	民 間 開 発	店 舗 建 設
12	旧 万 寿 寺 跡	5次	大分市大字大分字上井東	長	185	080812～080912	国庫補助事業	確 認 調 査
13	葛 木 遺 跡	2次	大分市大字葛木字中原	五十川	200	080922～080925	民 間 開 発	宅 地 造 成
14	羽 田 遺 跡	5次	大分市羽田	五十川 長	574.5	090113～090313	公 共 事 業	都市計画道路築造事業
15	横 尾 遺 跡	133次	大分市大字横尾	塩地	1176	080710～080828	公 共 事 業	横尾区画整理事業
16	横 尾 遺 跡	134次	大分市大字横尾	塩地	1045.2	080820～090327	公 共 事 業	横尾区画整理事業
17	横 尾 遺 跡	135次	大分市大字横尾	永松	1269.5	080805～081006	公 共 事 業	横尾区画整理事業
18	横 尾 遺 跡	136次	大分市大字横尾	塩地 永松	合計	081110～090313	公 共 事 業	横尾区画整理事業
19	横 尾 遺 跡	137次	大分市大字横尾	塩地 永松	3589	081110～090313	公 共 事 業	横尾区画整理事業
20	横 尾 遺 跡	138次	大分市大字横尾	塩地 永松		081110～090313	公 共 事 業	横尾区画整理事業
21	横 尾 遺 跡	139次	大分市大字横尾	塩地 永松		081110～090313	公 共 事 業	横尾区画整理事業
22	城 原 ・ 里 遺 跡	12次	大分市里	長	115.4	081203～081226	国庫補助事業	確 認 調 査
23	千代丸古墳・宮苑遺跡	2次	大分市大字宮苑字千代丸	古川	76	081101～081101	国庫補助事業	確 認 調 査
24	宮苑・井ノ口遺跡	2次	大分市大字宮苑字井ノ口	古川	202	080502～080708	民 間 開 発	集 合 住 宅
25	米 竹 遺 跡	5次	大分市大字小池原字米竹	五十川	140	080609～080620	民 間 開 発	集 合 住 宅
26	大 将 軍 古 墳		大分市大字木ノ上字高来	佐藤 (道)	64	080604～080604	民 間 開 発	宅 地 造 成

第2表 大分市平成20年度試掘・確認調査・立会調査地一覧

番号	種 別	遺 跡 名	所 在 地	調査 面積(m ²)	調査期間	調査原因
1	確認 (公共)	葛 木 遺 跡	大分市猪野74(明治小学校)	20	08.04.15	学校施設
2	確認 (公共)	米 竹 遺 跡	大分市千歳地先	28	08.04.18	その他 (下水道工事)
3	立会 (公共)	米 竹 遺 跡	大分市大字千歳地先	28	08.04.18~08.06.04	個人住宅建設
4	確認 (民間)	猪 野 遺 跡	大分市大字猪野字西太郎塚1588-1 1588-2 1599-1	21	08.04.21	共同住宅
5	確認 (公共)	辻 遺 跡	大分市大字辻654 (吉野小学校)	10	08.04.25	学校建設
6	確認 (公共)	羽 田 遺 跡	大分市羽田518	21	08.04.30	その他建物 (公民館)
7	確認 (民間)	鶴崎町遺跡群	大分市南鶴崎3丁目65~69番	40	08.05.14	共同住宅
8	立会 (公共)	古国府遺跡群	大分市大字永興南太平寺1-3組139-1地先	6	08.05.15	その他 (下水道工事)
9	確認 (民間)	米 竹 遺 跡	大分市大字小池原字米竹243番の一部	38.4	08.05.20	共同住宅
10	確認 (民間)	中世大友府内町跡	大分市錦町1丁目3293番	12	08.05.22	共同住宅
11	確認 (民間)	中世大友府内町跡	大分市錦町1丁目3440番1 3443番1	20.8	08.05.22	宅地造成
12	立会 (民間)	上 松 岡 遺 跡	大分市大字松岡4882-2、4 4883-4 4868-4、9	64	08.05.26	宅地造成
13	確認 (民間)	古国府遺跡群	大分市大字羽屋字七曾司172番8	12	08.05.28	個人住宅
14	立会 (民間)	玉沢地区条里跡	大分市植田新都心 中央土地区画整理事業地内6街区1、2-1、2-3	8	08.05.28	共同住宅
15	立会 (民間)	北 の 崎 遺 跡	大分市大字葛木字直達975番	6	08.06.10	個人宅浄化槽
16	確認 (公共)	横 尾 遺 跡	大分市横尾2834-4	36	08.06.13	学校建設
17	確認 (民間)	猪 野 遺 跡	大分市大字猪野字仲原1234番11235番1 栗流668番2	20.5	08.06.16	共同住宅
18	確認 (民間)	東 田 室 遺 跡	大分市田室町213-8	20	08.06.26	店舗 (診療所)
19	確認 (公共)	羽 田 遺 跡	大分市大字羽田1034番地3外7筆	82	08.07.03	その他 (道路)
20	立会 (民間)	一 木 遺 跡	大分市大字一木字中原982番3 1003番2	2.5	08.07.07	個人住宅 (浄化槽)
21	確認 (民間)	政 所 遺 跡	大分市大字横田二丁目319番2 320番2 321番	20	08.07.17	共同住宅
22	立会 (民間)	中世大友府内町跡	大分市金池町4丁目1489番10	2.25	08.07.23	個人住宅 (浄化槽)
23	確認 (公共)	羽 田 遺 跡	大分市大字羽田349番地	6	08.08.07	学校建設
24	確認 (民間)	下 志 村 遺 跡	大分市花江川186	128.22	08.08.07	集合住宅
25	確認 (民間)	政 所 遺 跡	大分市政所2丁目218番 219番	12	08.08.08	集合住宅
52	確認 (公共)	大 道 条 里 跡	大分市大道2-9-57 (大道小学校内)	46	08.08.19~20	学校建設
26	確認 (民間)	下 郡 遺 跡 群	大分市下郡南五丁目864番1 865番1 867番1	16.5	08.08.21	集合住宅
27	確認 (民間)	米 竹 遺 跡	大分市大字小池原字仲原38-3	30	08.08.25	個人住宅
28	立会 (民間)	宮 崎 遺 跡	大分市大字宮崎字五反田 835-1 867-1・16~18 868-1~5	8	08.08.28	店舗
29	立会 (民間)	米 竹 遺 跡	大分市大字小池原野地前27-10	2.2	08.08.29	個人住宅
30	立会 (公共)	羽 田 遺 跡	大分市大字羽田栗ノ木559番1・25	10	08.09.08	その他建物 (公民館)
31	確認 (民間)	古国府遺跡群	大分市大字羽屋字七曾寺171番1	43	08.09.12	集合住宅
32	確認 (公共)	羽 田 遺 跡	大分市羽田938-1他	71	08.09.16~17	その他 (道路)
33	確認 (公共)	浜 中 遺 跡	大分市恵比寿町190	17	08.09.22	公園造成
34	確認 (民間)	宮苑井ノ口遺跡	大分市賀来西土地区画整理B-1・3-1	56	08.09.24	店舗
35	確認 (民間)	中世大友府内町跡	大分市六坊北4485-1 4485-3 4485-4	6	08.10.03	その他
36	立会 (民間)	下 郡 遺 跡 群	大分市下郡南二丁目5番18号	4	08.10.07	個人住宅 (浄化槽)
37	確認 (民間)	横 尾 遺 跡	大分市横尾土地区画整理事業B-7①の一部	29	08.10.15	集合住宅
38	立会 (民間)	羽 田 遺 跡	大分市大字羽田字栗ノ木591-3 591-7	3.38	08.10.20	個人住宅
39	立会 (公共)	佐 柳 遺 跡	大分市大字中戸次1574番地の1地先	6	08.11.10	その他 (下水道工事)
40	立会 (民間)	古国府遺跡群	大分市奥田字藪添629番3	6	08.11.12	個人住宅 (浄化槽)
41	立会 (民間)	永 興 遺 跡	大分市大字永興字門前261番	6	08.11.13	個人住宅 (浄化槽)
42	立会 (民間)	下 郡 遺 跡 群	大分市下郡東1丁目198番199番208番	8	08.11.25	店舗 (合併浄化槽)
43	立会 (民間)	勢 家 遺 跡	大分市勢家町4丁目849-4・5 848-2	4	08.11.28	店舗
44	確認 (民間)	古国府遺跡群	大分市大字古国府字石橋422番1	12	08.12.01	集合住宅
45	確認 (民間)	牧 遺 跡	大分市牧1丁目294番	8	08.12.10	集合住宅
46	確認 (民間)	丹 生 遺 跡	大分市大字丹生字長迫1743番の1他17	40	08.12.11~12	その他 (牛舎建設)
47	立会 (民間)	横 尾 遺 跡	大分市横尾字上ノ原3056番1 ほか9筆	12	08.12.12	宅地造成
48	立会 (民間)	古国府遺跡群	大分市大字奥田字尻細844-3 844-9 843-7	8	08.12.16	集合住宅 (浄化槽)
49	確認 (民間)	羽 田 遺 跡	大分市大字羽田字栗ノ木592番1・2	4	08.12.24	共同住宅
50	確認 (民間)	葛 木 遺 跡	大分市大字葛木281番1	20	09.01.23	集合住宅
53	確認 (公共)	横 尾 遺 跡 群	大分市大字横尾2772-2	28	09.01.28	道路
54	立会 (民間)	玉沢地区条里跡	大分市大字木上字小柳405-3	8	09.01.29	個人住宅 (浄化槽)
51	立会 (民間)	下 郡 遺 跡 群	大分市下郡南2丁目132番	6	09.02.03	個人住宅 (浄化槽)
55	確認 (民間)	二 目 川 遺 跡	大分市大字横尾字3818番1の一部、3818番2	16	09.02.06	集合住宅
56	立会 (民間)	宮苑井ノ口遺跡	大分市賀来西土地区画整理事業区域A-10街区5.6.7	8	09.02.13	その他建物
57	確認 (民間)	葛 木 遺 跡	大分市大字葛木字南原361番1.362番2の一部.363番1365番2	24	09.02.26	集合住宅
63	立会 (民間)	浜 遺 跡	大分市大字汐見2-650	6	09.03.02	集合住宅
58	確認 (民間)	下 郡 遺 跡 群	大分市下郡南3丁目223番224番225番	12	09.03.05	店舗
59	確認 (民間)	津 守 遺 跡	大分市大字津守字後ノ宮237-9	10	09.03.06	店舗
62	確認 (公共)	府内城・城下町	大分市末広町2丁目 (小鹿公園内)	13.09	09.03.11~12	道路
60	立会 (民間)	玉沢地区条里跡	大分市大字口戸字土井ノ元541番2.541番3	6	09.03.24	個人住宅 (浄化槽)
61	立会 (民間)	羽 田 遺 跡	大分市大字片島字前田1015-5	6	09.03.25	個人住宅 (浄化槽)
64	立会 (民間)	羽 田 遺 跡	大分市大字羽田字産ノ木920番1	6	09.03.30	個人住宅 (浄化槽)

I 大道遺跡群第25次・26次調査

調査面積 710㎡
地域 A

調査期間 08.05.22～08.08.04
調査担当 中西武尚

調査地は、J R 大分駅の南側に位置し、上野台地北側の沖積低地にあたる。当該地一帯には、古代の条里状地割の存在が指摘されており、その阡線は約35度東偏している。東西方向に近接する第25次調査と第26次調査では、古墳時代の溝状遺構をはじめ、古代の流路跡や中世前半期の方形溜井状遺構などが確認されている。そのなかでも、古代の流路跡はその方向が条里状地割の阡線と異なるものであり、条里状地割の形成時期や往時の土地利用を解明する上で注目される成果である。(塩地)



第3図 調査地点位置図

II 大道遺跡群第27次・28次・29次・30次調査

調査面積 5800㎡・645㎡
地域 A

調査期間 08.09.01～09.03.16
調査担当 中西武尚・五十川雄也・古川 匠

調査地は、J R 大分駅の南側に位置し、上野台地北側の沖積低地にあたる。当該地一帯には、古代の条里状地割の存在が指摘されており、その阡線は約35度東偏している。また、既往の調査成果より古墳時代や古代の集落が形成された微高地が復原されている地点である。南北方向に近接する上記4箇所の調査では、弥生時代中期頃の土坑や同後期中葉頃の竪穴住居跡をはじめ、古墳時代前期の住居跡や井戸跡、そして古代の大溝跡や掘立柱建物跡などが確認されている。そのなかでも、古代の大溝跡はその規模や出土遺物から特筆される。現時点で長さ約170mにわたりまっすぐ延びる極めて規格性の高い遺構で、水路として機能していたようである。その方向は、条里状地割の阡線と異なり、人為的な施設であることを踏まえれば、条里状地割の形成は古代ではない可能性が高い。

また、弥生時代の遺構の存在は、微高地上に弥生時代から継続的に集落が形成されたことを示唆するもので、その周辺に想定される沼沢域において、水田をはじめとした遺構の存在が期待される成果である。(塩地)



第4図 第28次古代の大溝跡（西から）



第5図 第25次古代の流路跡（北から）

Ⅲ 大友氏館跡第21次調査

調査面積 532㎡
地域 A

調査期間 08.05.26～08.08.26
調査担当 長 直信

第21次調査は 大友氏館跡の中央部東端にあたる東西に長い地割り2つ分をまたぐ位置に所在する。今回の調査では①16世紀中頃から後半の遺構の展開、②15・16世紀の整地の展開と旧地形の復元、③15世紀の遺構の展開、④16世紀末以降の遺構の展開の4点を調査目的とした。結果として、①16世紀前半～中頃の備前焼大甕埋設遺構である館21SX220を検出。遺構の性格は不明だが、16世紀前半～中頃の空間利用の具体相を知るうえで重要な成果といえる。②16世紀後半の焼土堆積遺構である館21SX105を館21SX220上面で検出。青磁器台や酒海壺、青花梅瓶などの唐物威信財とよばれる器種が複数出土した他、鉄釘・青銅製の三鈎所型の目貫金具などの青銅製品、銅銭など、これまでの調査では僅かにしか出土していない遺物がまとまって出土している。大友館が焼亡した天正14年（1586）の戦災後、館東端が町屋化した際の片付けに関わる遺構の可能性がある。なお、調査区東端は、16世紀末の大型遺構（館21SX100・館21SX045）が調査区外へ伸びており、館の外郭となるような遺構は検出できなかった。ただし、当地はこれまでの館の調査と比較して瓦の出土が集中する地点であり、付近に瓦を用いた遺構（館の門構造に関連か？）の展開が想定される。また、調査区内では帰属時期不明の礎石群や、館21SX220や館21SX105を除いて、16世紀後半の遺構は確認できなかったことから、調査区は、大形廃棄土坑や深い溝（「廃棄空間」や「区画」を明示する遺構）などは展開しておらず、「礎石の建物が展開していた」もしくは「空閑地であった」可能性がある。③館中心部より広がる15世紀代の整地層を確認。また、15世紀代の掘立柱建物を複数検出。館中心部から東側にかけて面的な整地を行い、その整地に付随して礎盤石を使った掘立柱建物が規格性をもって展開することを追認する結果となった。④16世紀末の廃棄土坑や道路状の遺構を検出。これらの遺構からは一定量の瓦が出土した。12次調査同様、館の東端の一部は、第2南北街路より西に40m付近まで町屋的な遺構が展開したことが判明。また、21次調査の50m北側にある15次調査では第2南北街路より西に約60m、館北側外郭ラインより南に約60m付近でこの時期の井戸が形成されており、館東側の町屋域の西限がほぼ確定したこととなる。（長 直信）



第6図 調査地点位置図



第7図 調査区北東部調査状況(上が北)

IV 中世大友府内町跡第82次調査

調査面積 63.1㎡ 調査期間 08.08.20～08.08.26
地域 A 調査担当 古川 匠・上原翔平

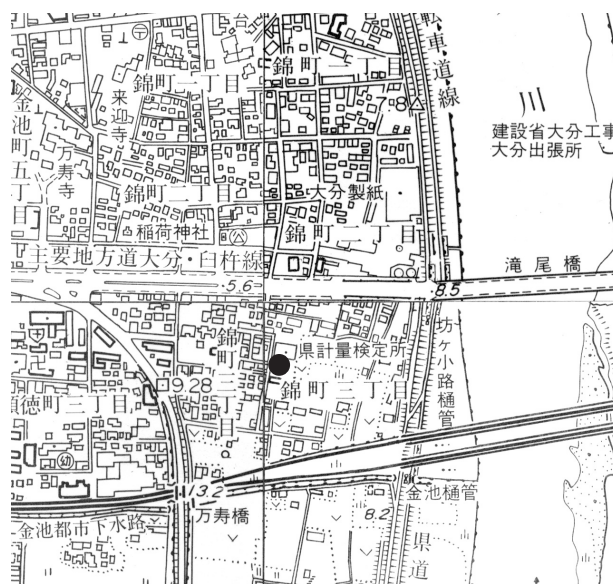
調査区は、中世大友府内町跡における名ヶ小路町に位置し、従来の調査成果と明治時代の地割から大友氏館の北側を通る東西道路とそれに伴う町屋の存在が推定される地域である。調査では、部分的に旧建物の基礎によって破壊されているものの、地表より約0.9m下（標高4.50m）で道路状遺構とそれと並行に走る16世紀後半頃の溝状遺構（SD005）を検出している。

なお、当調査は遺構の確認が主であり、多数のピットを検出しているが、完掘には至っていない。

道路状遺構は、調査区の南側で東西方向に横断し、道路推定ラインに沿って検出された。道幅は、南端が調査区外まで伸びているために不明であるが、調査区内では最大5.4mまで測ることができる。出土遺物は、道路構築層より16世紀前半頃に比定される土師器皿が出土している。溝状遺構（SD005）は、道路状遺構より上位において並行して検出されている。幅は約0.6mで埋土には焼土や炭化物が含まれる。土坑（SX010）は、道路状遺構より下位で検出され、直径は約1.0mを測る。出土遺物は、15世紀後半頃に比定される土師器皿が出土している。

このことから、溝状遺構（SD005）は、道路状遺構北端の側溝と考えられ、道路状遺構は15世紀後葉以降に敷設され、16世紀後半頃まで機能していたものと推測される。

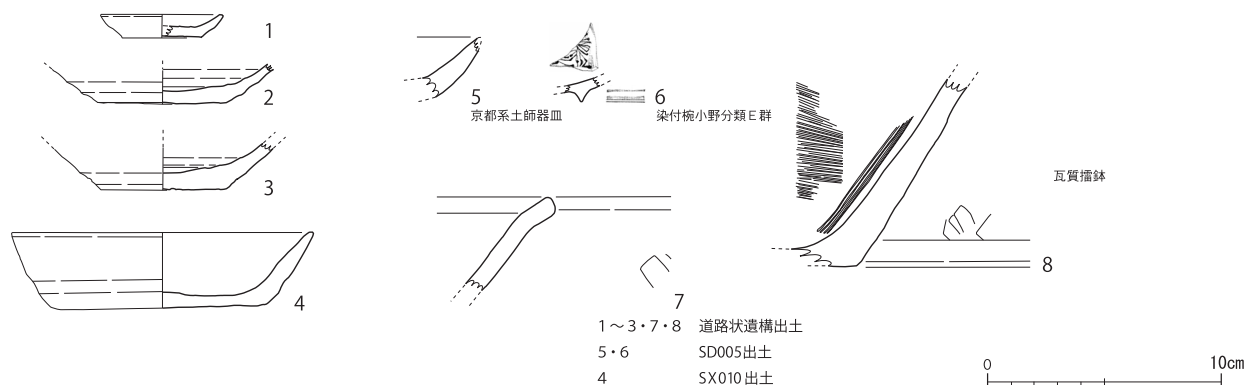
今回検出した東西道路は、調査区より東側で行われた町4次調査でも確認されている。状況としては、最下層の1期（16世紀中頃）で調査区内での検出幅2.1m、2期（16世紀後半）では5.0mとなり、3期（16世紀末）では3.5mとなる。こうした道路状遺構の変遷過程は当調査の状況と近似し、注目される。（上原・塩地）



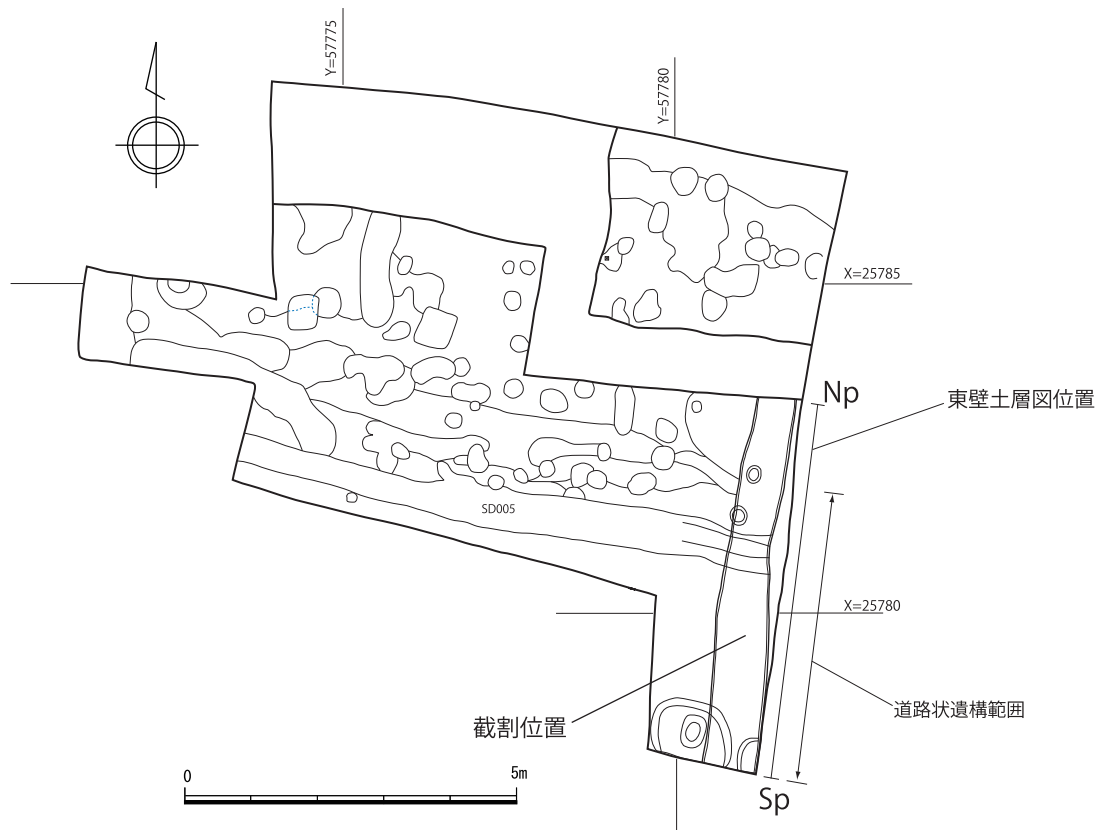
第8図 調査地点位置図



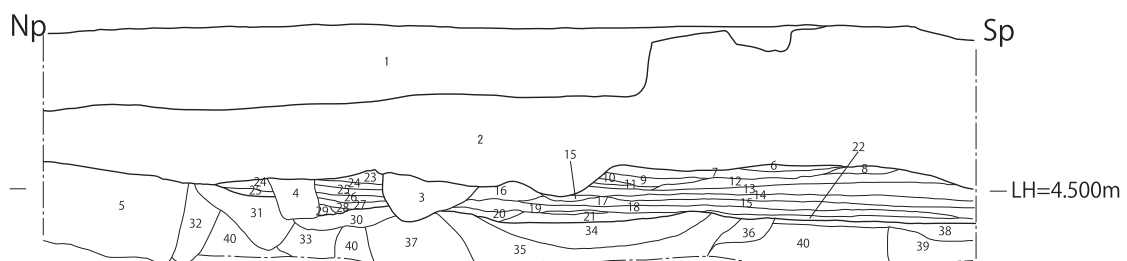
第9図 調査区北東部遺構検出状況（北から）



第10図 出土遺物実測図（1／3）



第11図 遺構配置図 (1/100)



- | | |
|--|--|
| <p>道路状遺構※</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.表土 2.客土 3.暗褐色シルト (SD005埋土。焼土が多量に含まれる) 4.暗褐色粘質シルト、灰褐色極細砂が互層状に堆積 5.暗褐色粘質シルト (極細砂多量を含む) 6.灰黄色粘質シルト 7.暗灰褐色、黄褐色、細砂 8.灰褐色粘質シルト 9.暗黄褐色粘質シルト 10.暗褐色砂質シルト 11.暗黄褐色粘質シルト 12.灰褐色砂質シルト 13.〃 (12より砂質強い) 14.暗灰褐色砂質シルト (13より砂質強い) 15.黄褐色粘質シルト 16.灰褐色砂質シルト 17.暗灰褐色砂質シルト 18.黄褐色粘質シルト 19.灰褐色砂質シルト 20.明褐色砂質シルト 21.暗黄褐色粘質シルト 22.暗灰褐色細砂 | <p>道路状遺構</p> <ol style="list-style-type: none"> 23.灰褐色砂質シルト 24.暗灰褐色粘質シルト 25.黄褐色粘質シルト 26.灰褐色細砂 27.灰褐色シルト 28.灰褐色細砂 29.灰褐色粘質シルト 30.灰褐色シルト (炭化物少量含む) 31.暗灰褐色粘質シルト (炭化物、焼土を少量含む) 32.暗黄褐色シルト 33.暗褐色 (炭化物やや多量含む) 34.灰褐色シルト (SX010埋土) 35.黄灰褐色ブロック質土 (SX010埋土) 36.暗灰褐色シルト 37.やや暗い灰褐色粘質シルト 38.黄褐色粘質シルト 39.暗灰色細砂 40.黄褐色シルト (やや粘質。いわゆる地山) <p>※SD005 を伴うと推定される道路状遺構</p> |
|--|--|

第12図 調査区東壁土層断面図 (1/40)

V 中世大友府内町跡第83次・83-2次調査

調査面積 508㎡・25.2㎡
地域 A

調査期間 08.10.20～08.12.05 09.03.05～09.03.18
調査担当 古川 匠・河野史郎

今回の調査は店舗建設に伴うもので、中世大友府内町の東南端、「今道町」が想定される旧万寿寺の南側に取り付く第一南北街路の両側一帯が調査対象となった。事前に行われた確認調査結果をもとに、第一南北街路部分及び道路東側の町屋（背割りを含む短冊状地割りのおよそ3区画分）、同じく西側の町屋（間口付近）に調査区を設定した。

調査の結果、第一南北街路は、幅約8m、掘り込み（区画溝）を嵩上げて路面を形成するいわゆる「豊後型道路」の様相を呈するもので、その両側には護岸及び道路との境界を示す道路と平行する石列が配されていることが確認された。道路構築層の直上を、焼土混じりの堆積層（SX020）が覆っていることから、最終段階の道路の時期は16世紀第3四半期以降と推定される。

道路東側の町屋部分は、道路から直角に屈曲し、東方に延びる石列によって区画され、約30mの地点には、背割りを意識したものと考えられる南北溝が確認された。この間口が狭く奥行きのある短冊状の区画内の内、間口付近には東西及び南北方向の複数の柱穴列からなる居住域、中間部分には大型の廃棄土坑群が分布することが確認されている。道路西側の町屋部分は、間口付近のみの調査であったが、東側同様柱穴群が検出されている。町屋遺構の時期については、道路遺構の時期と大きく矛盾しない。

町屋及び道路の下層遺構については、遺構密度が非常に低く、性格の明確な遺構も検出されていないが、15世紀後半頃の遺物を採取している。短冊状地割り形成以前の遺構状況として注目される。

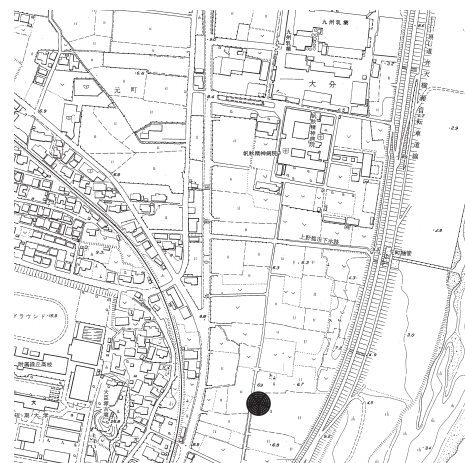
83-2次調査は、83次調査が行われた店舗建設の追加調査として行われた。調査区は、83次調査の北東約56mの地点、防火水槽設置場所に設定された。第一南北街路との位置関係では、道路より東側約9mの位置となる。

調査の結果、16世紀後半～末に位置づけられる第一南北街路に直交する東西方向に延びる道路状遺構及び関連遺構、これら遺構に切られる15世紀後半代に位置づけられる土坑及び小穴群が検出された。

道路状遺構については、両側に側溝を思わせる溝又は長土坑をもち、路面幅1.5～1.8m、波板状の連続土坑を思わせる埋土に砂質土を含む不整形の土坑群が存在する。

15世紀後半代に位置づけられる土坑については、2基確認されており共に土坑墓が想定されるもので、土師器小皿、青磁等が出土している。

当該地区における、時期の違いによる土地利用の明確な違いが確認された事例として注目される。（河野）



第13図 調査地点位置図



第14図 83次調査区全景（上が北）



第15図 83-2次調査区全景（西から）

VI 中世大友府内町跡第84次調査

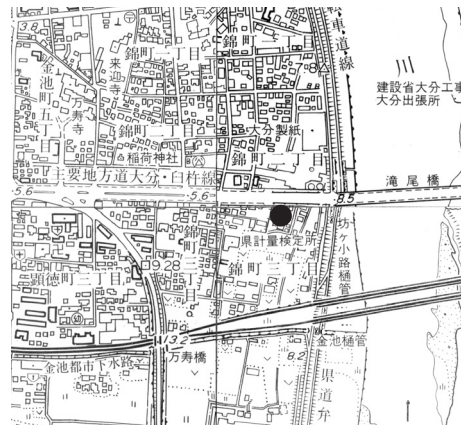
調査面積 38.0㎡
地域 A

調査期間 08.10.30～08.11.21
調査担当 永松・三嶋・上原

推定復元想定図の「中之町」の一角にあたり、推定「第1南北街路」に面した町屋の裏手にあたる廃棄空間と推定される。

検出された遺構は、16世紀後半以降（第1面）・16世紀前半～後半（第2面）・15世紀後半（第3面）の3時期に分けられ、部分的に整地層と推定される互層堆積が確認された。

第2面で検出された東西方向に延びる溝状遺構は、推定「第1南北街路」に直行すると推定され、敷地を区画する役割が考えられる。これを境とし、南北に異なる整地が認められる。（三嶋）



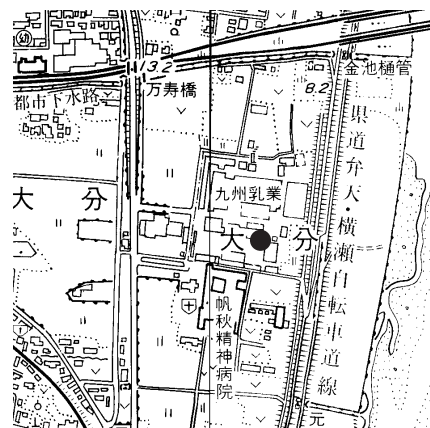
第17図 調査地点位置図

VII 旧万寿寺跡第5次調査

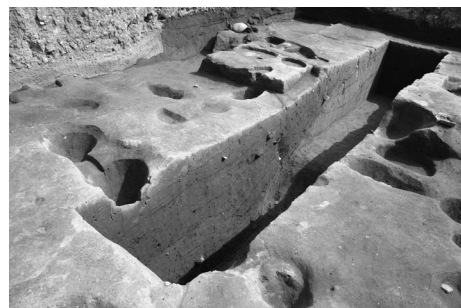
調査面積 185㎡
地域 A

調査期間 08.08.12～08.09.12
調査担当 長 直信

調査区は万寿寺境内の推定伽藍中心軸上、万寿寺推定範囲のほぼ中央に位置する。昨年度の4次調査（以下、万4）では、大規模な掘り込み地業遺構である万4SX150を検出した。万4SX150は基壇などの構造物に関わる地業の可能性あることから、本年は万4SX150の範囲を確認するため、万4東端より5m東の位置に、東西方向のトレンチ万5-1区を、万4中央部付近を重複させる形で、南北方向のトレンチ万5-2区を設定した。調査結果として、①万4SX150の規模確認：万5-1区では万4SX150の東端は検出できず、結果「掘り込み地業状」の遺構は南北9m、東西は46m程度の範囲の遺構であることを確認。②万4SX150の下層より巨大な東西溝万5-2SD080（幅5m以上、深さ2.0m）を検出：昨年の調査では一連と考えていた万4SX150の堆積層上層と下層に不整合面が存在する事が判明。東西方向の溝と考えられる。万4SX150はSD080の堆積の窪みを再掘削し、斜めに堆積するブロック土の層群により形成されている。③万4SX150の北には16世紀後半の東西溝である万5-2SD070（幅2.5m以上、深さ1.6m）を検出：4.5m北には町23次調査で確認した15世紀の整地範囲を囲む方形区画溝を検出しており、万5SD070と15世紀代の整地万4SX150と重複することなく掘削されていることを考えると、同様の区画溝の可能性ある。④南北方向の溝状遺構万5-1SD005を検出：万5-1SD080の東側延長部である可能性があるが、深さや堆積状況などに差が大きく断定できない。⑤万5-1SD005を切る遺構である万5-1SX020としたピットより瀬戸焼水注の完形品が横転した状態で出土した。ここ2ヵ年の調査で万寿寺境内には予想に反して大型遺構が複数展開することが判明した。今後は、面的な確認調査を行いながら、性格を解明する必要がある。（長 直信）



第18図 調査地点位置図



第19図 万5-2区 SX150堆積状況(北西から)

VIII 葛木遺跡第5次調査

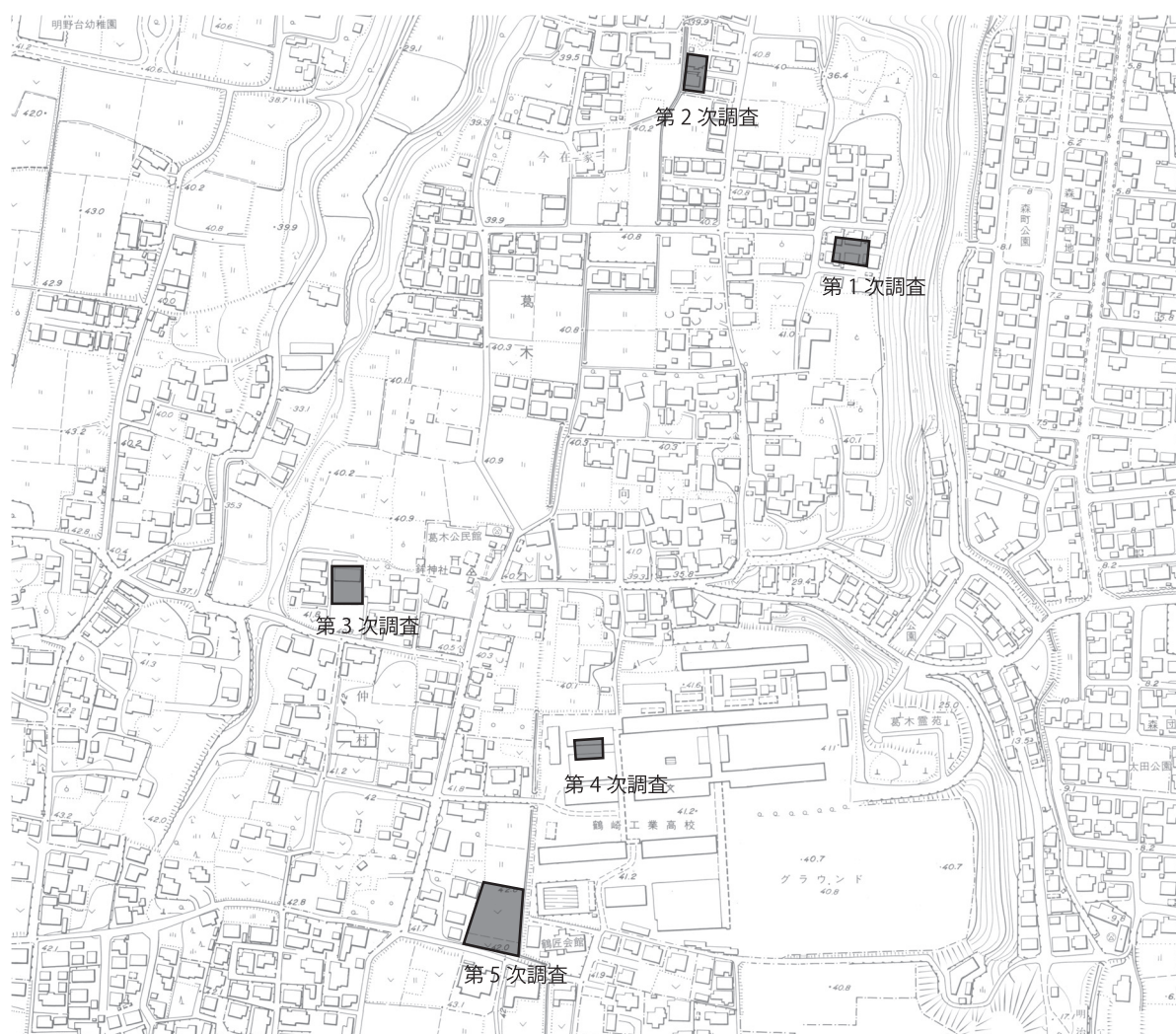
調査面積	200㎡	調査期間	08.09.22～08.09.25
地域	E	調査担当	五十川雄也

〔調査に至る経緯・立地と環境・これまでの調査概要〕

葛木遺跡の発掘調査は住宅地の開発に伴って行われた。平成20年9月8日付け文化財保護法第93条が有限会社大南興産より申請され、平成20年9月9日付け市教委文第1091号－1で大分県教育委員会あて進達した。本調査は平成20年9月22日～同年9月25日で実施した。そして平成20年10月1日付け市教委文第1226号により発掘調査の終了届けが行われた。

葛木遺跡は大分川と大野・乙津川に挟まれた通称鶴崎台地に立地する。遺跡は標高約40mほどのところにあり、調査区北東部には鶴崎工業高校が近接する。

これまでの周辺調査は過去4度実施している（第20図）。第1次調査（1989年実施）は、今回調査の第5次調査区から北東へ約500mに位置している。弥生時代後期末～終末の隅丸方形竪穴建物跡や時期不明の円形や方形の竪穴建物跡、ピット群などが検出されている（註1）。第2次調査（1991年実施）は、第5次調査区から北へ約600mに位置する。弥生時代終末の方形竪穴建物跡が検出されている（註2）。第3次調査（1995年実施）は、第5次調査区から北西へ約250mに位置する。検出遺構は、古墳時代の方形竪穴建物跡（中央に地床炉）、中世の柱穴群などが検出された（註3）。第4次調査（2001年実施）は、第5次調査区から北へ約130mのところに位置する。検出遺構は弥生時代の竪穴建物跡や時期不詳の柱穴群などが検出された（註4）。このようにこれまでの葛木遺跡の発掘調査は弥生時代、古墳時代を中心とした遺構を検出している。



第20図 これまでの葛木遺跡調査区位置図と周辺地形図（1/5,000）

〔調査の内容〕

葛木遺跡第5次調査は、鶴崎台地の北東部に位置し、標高約42m、遺跡検出標高約40.500mである。検出遺構は円形竪穴建物跡6基（推定含む）、中世溝跡1条、ピットなどを検出した（第21図）。遺物量はコンテナ1箱であった。

竪穴建物跡（SH）

SH1（第22図）遺構は調査区ほぼ中央付近で検出した。SH4と重複関係があるが、新旧関係は不明である。平面プランはほぼ円形を呈するものと考えられ、南北軸 $4.3\text{m} + \alpha$ 、東西軸 $0.9\text{m} + \alpha$ 、最大深0.4mを計る。床面は土層図の第1層が貼床と思われる。建物床面南側に屋内土坑を1基検出している。さらに床面北側で柱穴2基を確認した。建物に伴うものと推定される。出土遺物はほとんど皆無であった。

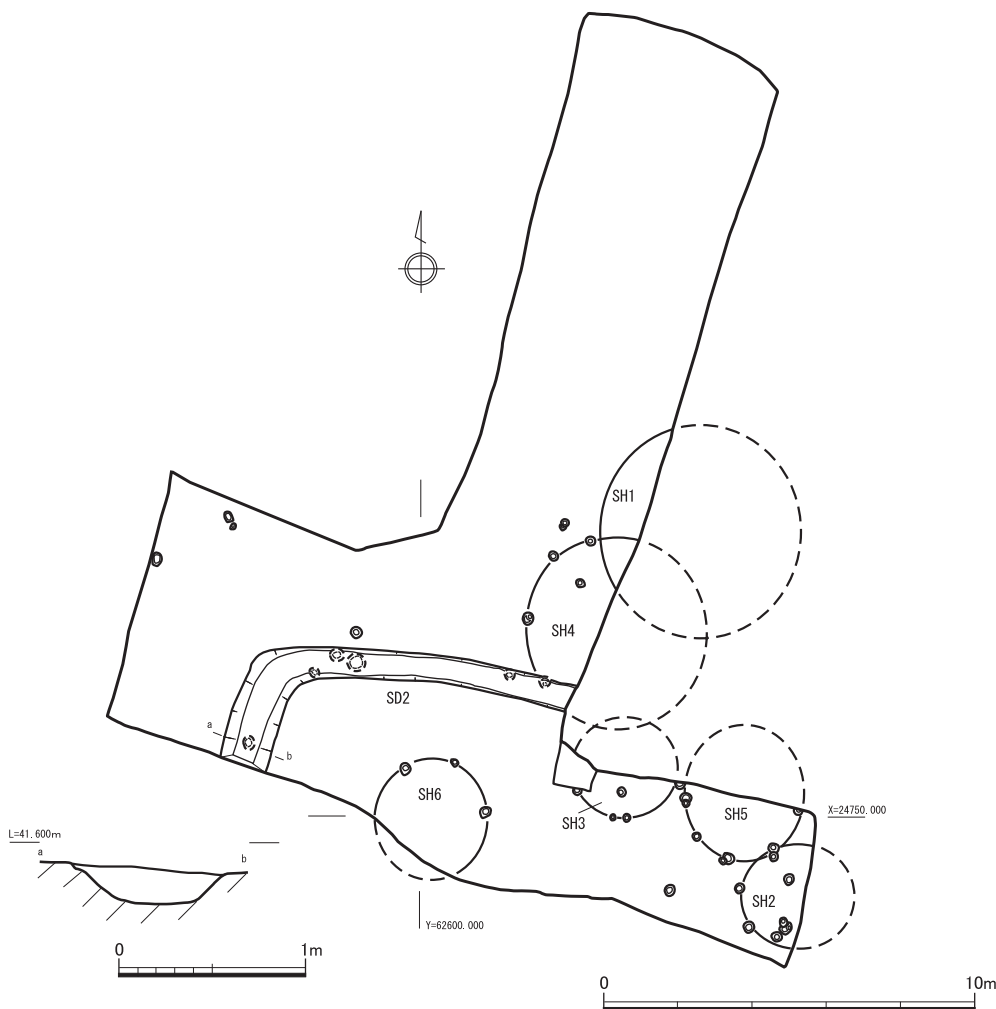
SH2（第22図）遺構は調査区南東で検出した。SH5と切り合い関係をもち、SH5を切る状況である。残存状況は不良であるが、建物を構成していたと考えられる柱穴から、平面プランは円形であったと思われる。柱穴埋土は褐灰色粘質土である。出土遺物は土器小片であった。

SH3（第22図）遺構は調査区南東部で検出した。重複関係はSH5とあるが、新旧関係は不明である。残存状況は不良であったが、建物跡を構成していたと考えられる柱穴から平面プランは円形と推定される。柱穴埋土は灰黒色粘質土である。出土土器はない。

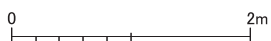
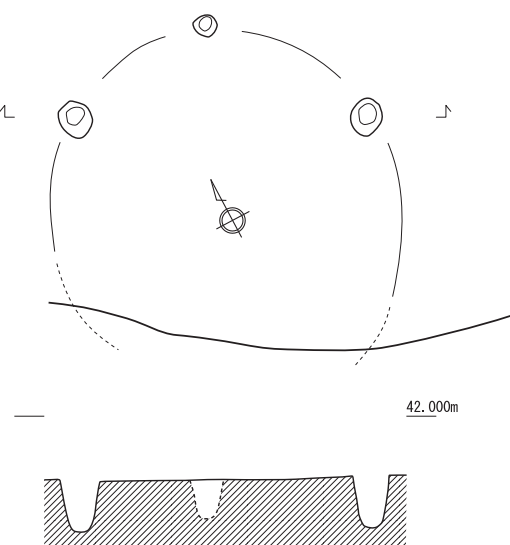
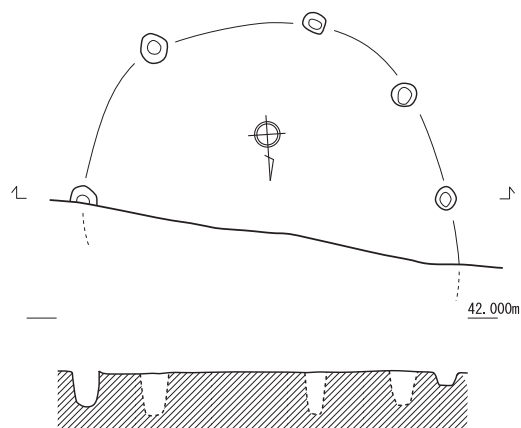
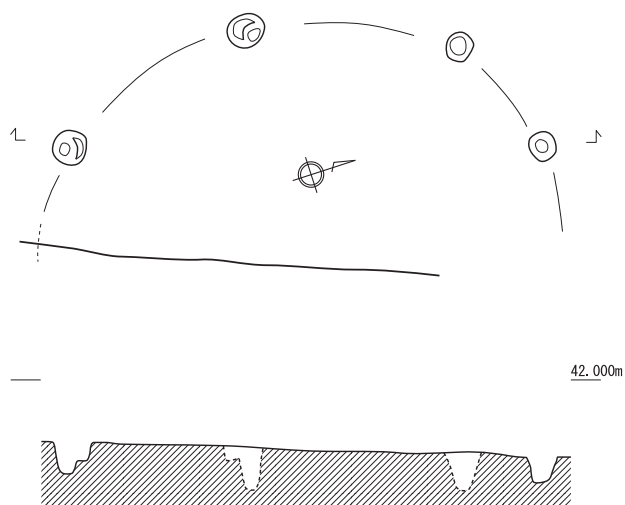
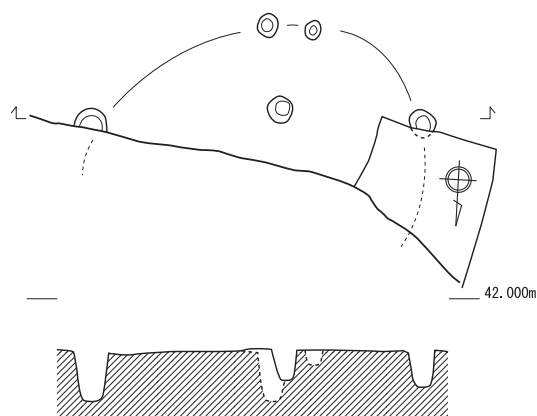
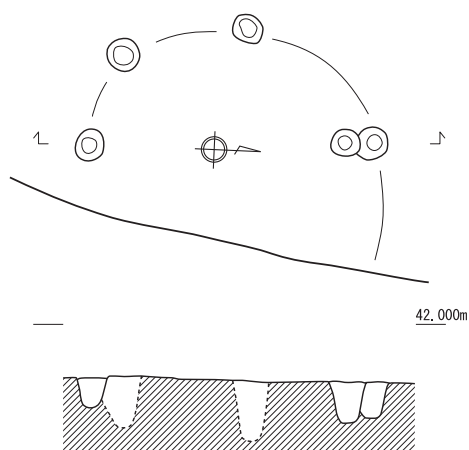
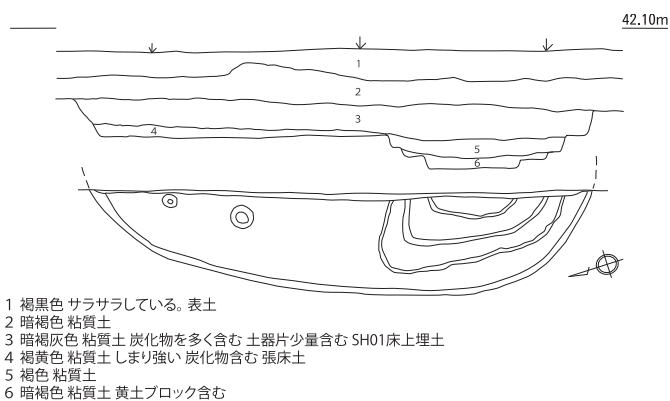
SH4（第22図）遺構は調査区ほぼ中央で検出した。重複関係はSH1とあるが、新旧関係は不明で、SD2に切られる。残存状況は不良で、建物を構成していたと考えられる柱穴から平面プランは円形を呈すると考えられる。柱穴埋土は灰黒色粘質土である。出土遺物は皆無であった。

SH5（第22図）遺構は調査区南東で検出した。重複関係はSH2・3とあり、SH2を切るが、SH3との新旧関係は不明である。残存状況は不良で、建物を構成していたと考えられる柱穴から平面プランは円形を呈していたと考えられる。柱穴埋土は灰黒色粘質土である。出土遺物はない。

SH6（第22図）遺構は調査区南側で検出した。重複関係はない。残存状況は不良で、建物を構成していたと考えられる柱穴から平面プランは円形を呈すると考えられ、柱穴埋土は褐灰色粘質土である。出土遺物はない。



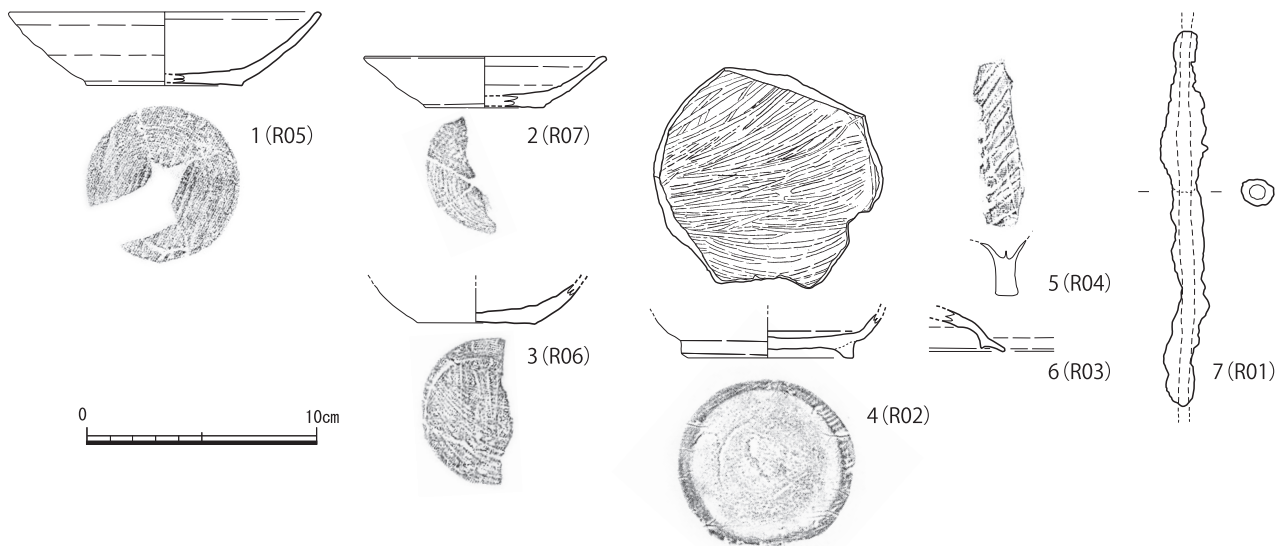
第21図 葛木遺跡第5次調査遺構配置図（1/200）とSD2断面図（1/40）



第22図 竪穴建物跡実測図 (1/60)

溝跡 (SD)

SD2 (第21図) 遺構は調査区南側で検出した。屈曲部を1か所もつ。南北方向で $3 + \alpha$ m、東西方向で $8 + \alpha$ mあり、最大深0.2mである。重複関係はSH1や複数のピットを切る。埋土は1層 (第21図参照) で、暗褐色粘質土でパサパサしている。底面は凹凸がある。出土遺物 (第23図) は、1～3で、1は土師質土器坏で胴部はほぼ直線的に延びる。外底は回転糸切で、板状圧痕がのこる。2・3も土師質土器坏で1よりは小型である。



第23図 葛木遺跡第5次調査出土遺物実測図（1／3）

その他の遺物（第23図）

ここでは遺構に伴わない遺物数点をあげる。4は内黒土器碗である。内面は細かなミガキ調整。外面はナデ調整、輪高台である。輪高台には板状圧痕と思われる痕跡が残る。9～10世紀の所産であろう。5は須恵器壺の高台部と思われる。胴部との貼り付け面に斜状の痕跡が残る。6は須恵器蓋坏片で、7世紀末葉～8世紀前葉の所産であろう。7は鉄製品釘の破片と指定される。

小 結

遺構は竪穴建物跡6基と溝跡1条を確認した。竪穴建物跡からは良好な遺物が出土していないため、時期比定をすることはできないが、埋土の状況や周辺の調査状況を加味すると弥生時代中後期以降と考えられる。弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴建物跡は第1次～第4次調査で確認されている。今回の第5次調査区はこれまでの第1次～第4次調査のなかで一番南に位置する調査区であり、この第5次調査で推定弥生時代の竪穴建物跡が検出できたことは、弥生時代集落範囲がさらに南側に展開することを裏付ける。また溝跡は、出土遺物から中世の溝と考えられ、15世紀後葉～16世紀前葉の区画溝と推定される。今後は弥生・古墳時代の鶴崎台地上での集落展開を確認していくことがまず重要であり、大分平野における鶴崎台地上の集落の位置づけを明らかにしていくことが課題となろう。（五十川）

註1 大分市教育委員会1990「大分市埋蔵文化財調査年報」1

註2 大分市教育委員会1992「大分市埋蔵文化財調査年報」3

註3 大分市教育委員会1996「大分市埋蔵文化財調査年報」7

註4 大分県教育委員会2001「葛木遺跡」



第24図 調査区近景（西から）



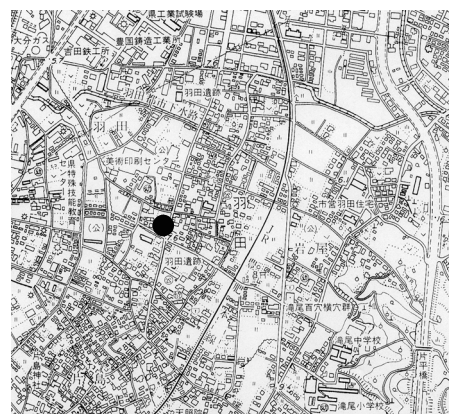
第25図 SH01完掘状況（北から）

Ⅸ 羽田遺跡第5次調査

調査面積 574.5㎡
地域 A

調査期間 09.01.13～09.03.13
調査担当 五十川雄也・長 直信

羽田遺跡は大分川右岸の沖積地に立地し、今回の調査（第5次調査）は市道拡幅事業に伴い行われた。第5次調査は4地点で実施され、検出遺構・遺物は縄文時代～近世まで確認されている。詳細は時代別に後述する。縄文時代は後晩期の包含層が確認され、周辺に縄文時代に関わる遺構・遺物が展開していることが予想される。大分川右岸の沖積地形成過程を知る上で重要な所見となろう。弥生時代は後期主体の円形竪穴建物跡などが約10基確認できた。当該期の集落跡は羽田遺跡北側に隣接する下郡遺跡群でも確認されており、大分川右岸における弥生時代集落の展開を考えていく上で貴重な資料となろう。古墳時代は前期の方形竪穴建物跡が1基検出し、焼失住居であることがわかった。また5世紀～6世紀と推定されるカマドを付設する方形竪穴建物跡も1基確認された。下郡遺跡群を含め、大分川右岸の古墳時代後期竪穴建物跡の検出は数少なく、当該期の集落動態を考える上で重要である。古代は7世紀代のピットが確認されているが、性格は不明である。中世は13世紀前後の区画溝、14～15世紀代の井戸跡数基・土坑・掘立柱建物跡が確認されており、中世全般を通して調査区周辺に集落が営まれている状況が明らかになってきたが、性格は今後の調査で明らかにしていく必要がある。（五十川）



第26図 調査地点位置図



第27図 調査区周辺（上が北）

X 横尾遺跡第133次調査

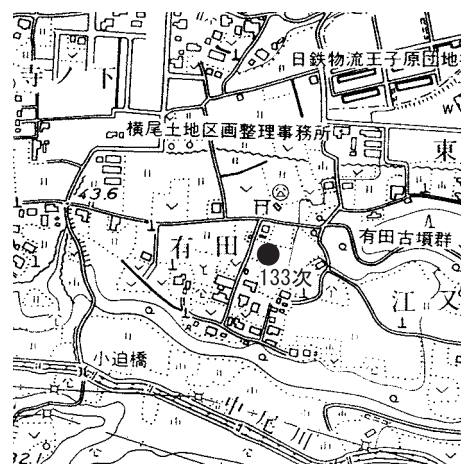
調査面積 1175.4㎡
地域 E

調査期間 08.07.10～08.08.28
調査担当 塩地潤一・若松善満

調査地は、乙津川左岸に広がる鶴崎台地の城原面あるいは中位段丘3と呼ばれる標高約60mの平坦面に位置し、国指定史跡横尾貝塚の西側にあたる。鶴崎台地東側の多くの場所が急峻な崖であるなか、当該地周辺は例外的に緩傾斜をなしている。また、本調査地西側の一段高い段丘には、原石加工場遺跡と評価されている一方平Ⅰ遺跡が位置する。

調査の結果、旧石器時代から中世までの遺構・遺物を確認した。旧石器時代では、集石遺構を確認した。集中分布を構成する流紋岩製石器群には接合関係が認められ、石器製作が行われていたことを示唆している。

古代では、9世紀代の土師器を大量に廃棄した土坑や遺物包含層、中世では、16世紀代の遺物包含層を確認した。この他にも時期は確定できていないが、掘立柱建物跡2棟を確認した。（塩地）



第28図 調査地点位置図

X I 横尾遺跡第134次調査

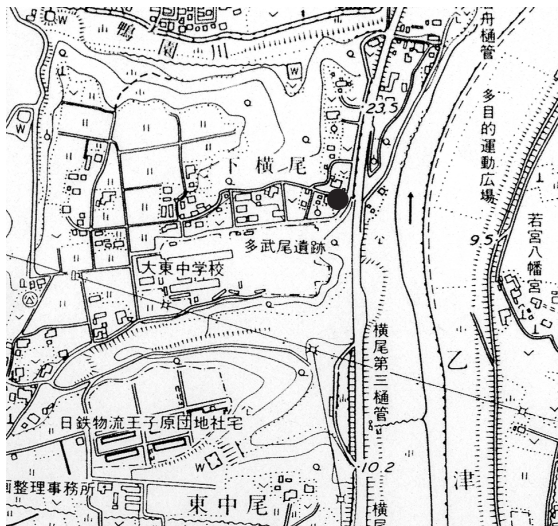
調査面積 1124.8㎡ 調査期間 08.08.19～08.10.03
地域 E 調査担当 塩地潤一・若枚善満

調査地は、鶴崎台地の東縁にあたる。また、北側から西側に谷が解析しているため、この一帯の平坦面は南北に細く伸びている。

調査の結果、弥生時代から古墳時代はじめ頃の環濠跡と柵跡、中世前半期の掘立柱建物跡と柵跡をはじめ、溝状遺構や土坑を確認した。環濠跡については、西側の谷が迫り平坦面が最も狭まった場所に掘削されており、その北側に沿って柵が認められる。調査地南側の大東中学校では、弥生時代の環濠集落跡が発見されており、その集落の北側を限る環濠と判断される。環濠跡からは、大量の土器と共に、銅戈の破片をはじめ銅鏃や磨製石鏃などが廃棄された状態で出土している。

中世前半期の掘立柱建物跡は、調査区の南東隅に位置し、四面に庇がつく可能性が高いものである。その北側には東西方向の溝状遺構があり、両者をつなぐように柵跡が認められる。溝状遺構および土坑からは、土師器が大量に出土しており、その帰属年代からこれらの遺跡は12世紀前半頃に比定される。

以上のことから、これらの遺跡は1つの施設を構成するものと考えられ、台地東側の大野川低地から見れば、台地の縁に四面庇の大形建物がそびえ立っていた景観を復原することができる。また、出土した遺物の大半が土師器であることがこの遺跡の特徴であるが、そのなかに脚付の皿が複数認められ、今後遺跡の性格を解明できる大きな手掛りとなるものと期待される。(塩地)



第29図 調査地点位置図

X III 横尾遺跡第135次調査

調査面積 1272.7㎡ 調査期間 2008.08.05～2008.10.06
地域 E 調査担当 永松正大・塩地潤一・若枚善満

調査地は、大東中学校の北東側に位置する。調査の結果、弥生時代と古代の掘立柱建物跡を検出した。

前者は、現状で調査区外に続くため、その規模は確定できていないものの柱間が広く、当該地の南側で環濠が確認されており、集落内に建てられた建物と想定される。

後者の掘立柱建物跡は2棟で、ともに2間×4間規模で、建て替えられた同一の建物と判断される。出土遺物が僅少であり、時期比定は難しいが、方位などから古代の遺構と考えられる。(永松)



第30図 調査区全景（上が東）

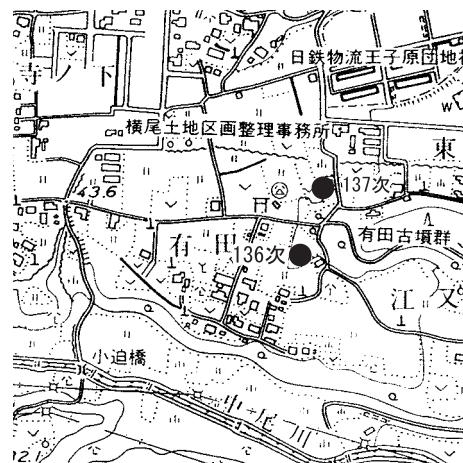
XIV 横尾遺跡第136次・137次・138次調査

調査面積 2951.5㎡
地域 E

調査期間 2008.11.10～2009.03.13
調査担当 塩地潤一・永松正大・若松善満・羽田野裕之

第136次調査

調査地は、国指定史跡横尾貝塚の西側にあたる。調査の結果、旧石器時代と古代の遺物・遺構を確認した。旧石器時代の遺物は、古代の遺構を検出した茶褐色土から出土した。古代の遺構は、大型廃棄土坑を複数検出した。切り合い関係が存在し、数度の掘り返しが考えられる。埋土は黒褐色土が上層に、下層に茶黒褐色土が堆積する。最下層には、茶黄褐色ブロックが堆積しており、掘削時のブロック土が流入したと思われる。出土遺物は土師器や須恵器が主体を占める。また、供膳具と貯蔵具を多く含む土坑が見られるなど、土坑による使い分けがあると考えられる。隣接調査地でも、廃棄土坑を検出するなど、当該地が古代の居住空間にあたると考えられる。



第31図 調査地点位置図

第137次調査

調査地は、国指定史跡の横尾貝塚の北側に近接する。調査の結果、古代の道路状遺構を検出した。道路状遺構は、ピットの集中部分とピットの希薄な部分とに分けられ、集中部分ではピットが列状に並ぶ。ピットの深度は60～40cmと総じて深い。また、垂直よりやや傾斜させて掘削している状況が看取できる。周辺調査でも、同様の遺構が確認できており、区画、又は道路部分との所見が出ている。

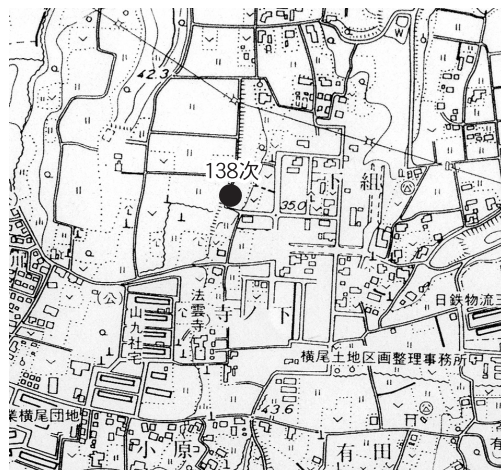


第32図 第137次調査区全景（上が北）

第138次調査

調査地は、鶴崎台地の城原面と呼ばれる標高45m前後の中位段丘1と中位段丘3との境に位置する。調査の結果、中世後半期の溝状遺構1条と2本の柵跡を確認した。これらの遺構は、南北に伸びる東崖に沿って、同じ方向につくられている。この調査他では柱穴跡が散見される程度で、遺物の出土も少なく、今回の調査成果からは、詳細な遺跡の復元は困難である。

しかしながら、この場所より西側に中位段丘1の段丘面が広がっていることを踏まえれば、段丘崖に沿って今回確認された溝状遺構と柵跡は、集落の外縁につくられた施設と想定され、遺跡の密度は西側に向けて高くなると判断される。（永松）



第33図 調査地点位置図

XV 横尾遺跡第139次調査

調査面積 1931.9㎡ 調査期間 2008.12.19～2009.03.06
地域 E 調査担当 永松正大・塩地潤一・羽田野裕之

調査地は、上記第135次調査区の南側隣接地にあたり、弥生時代・古墳時代・古代・中世の遺構を検出した。

弥生時代では、多武尾遺跡の外側を廻る環濠と柵跡が確認でき、環濠は南東から北西に延びており、周辺では横尾遺跡第68次や84次で検出している。また、集落の内側にあたる環濠の北東部では、大型柱穴遺構を2基検出した。両遺構ともやや楕円形プランで径約1.5m、床面まで約95cmをはかり、土層観察から柱痕による堆積が見られ、大型柱を設置した遺構と考えられる。周辺には、密接に関係する遺構は検出できていないことから、大型柱穴遺構のみで機能していたものと考えられる。大型柱穴遺構の南には、方形周溝遺構や、土坑墓などの空間利用が、北側では弥生時代の円形住居跡などが検出できており、大型柱穴遺構は弥生の環濠集落内を区分する遺構と考えられる。

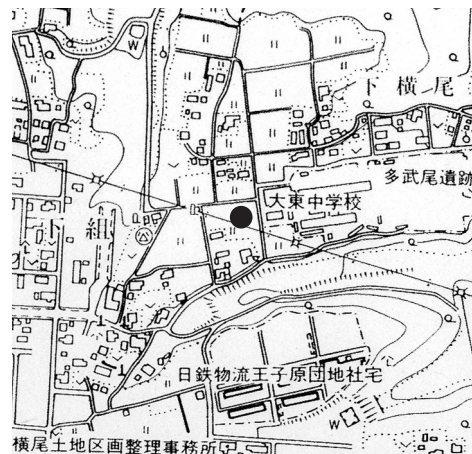
古墳時代では、カマドを付設する隅丸方形の竪穴住居跡を検出した。北側に焼土が集中しており、焼土内に高坏坏部を返した状態で検出しており、カマド廃棄に伴う祭祀と考えられる。燃焼部に土柱を設置しており、壁溝と貼床を施している。主柱穴は確認出来なかった。

古代では、2間×2間の総柱建物跡を検出した。柱の掘り方は円形で、径約60～40cm、床面まで約80～30cmを測る。また、複数回の建替が看取できる。柱穴の裏込めから8世紀初頭所産の土師器坏が出土しており、建物の築造時期を示唆する資料である。

中世では、掘立柱建物跡6棟を検出し、2間×2間の総柱建物跡を2棟確認した。縦物に主軸方向に差異がみられ、築造時期の違いと考えられ、2～3時期の建物群が存在していたと考えられる。

また、建物群の北側では溝状遺構が検出でき、屈曲して南の調査区外へのびる。隣接する70次調査で確認した溝状遺構と思われ、建物群を廻る堀のような遺構と想定される。

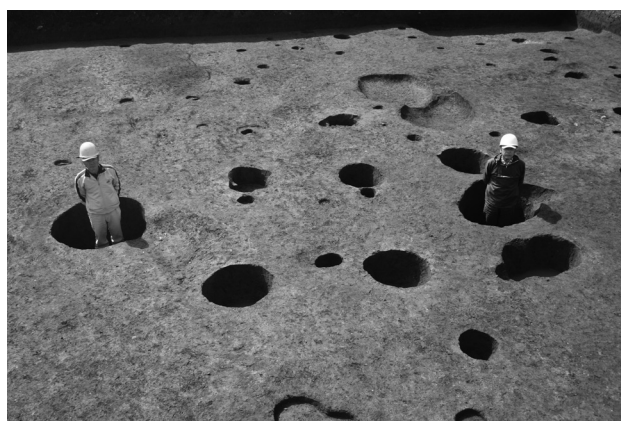
さらに、北側には大規模な掘り込みが見られ、中世段階の造成の痕跡と考えられる。(永松)



第34図 調査地点位置図



第35図 環濠（北から）



第36図 大型柱穴遺構（北から）

XVI 城原・里遺跡第12次調査

調査面積 115.4㎡ 調査期間 08.12.3～08.12.26
地域 G 調査担当 長 直信

城原・里遺跡は、東西に延びる標高約40mの丘陵東端に所在し、約400m離れた西側に海部郡衙の政庁と考えられている第2次～4次調査（旧遺跡名：中安遺跡）が位置する。調査を進めるに連れて、旧中安遺跡周辺の様相と第5次～9次調査地点で遺跡の様相が異なることから、遺跡範囲内の字名をとり、今後は旧中安地区周辺を「城原地区」、第5次～9次調査区周辺を「里地区」と呼称する。「里地区」における調査成果として、これまでの調査から、古代の遺構は大きく5段階に変遷することが判明している。うち、1期～3期は、7世紀後半～末に比定でき、建物主軸方向を真北よりやや西に振る掘立柱建物跡が一定の規格性（L次状もしくはコ字状）をもって配置・変遷することが確認されることから、全国的にも類例の少ない初期の官衙関連遺跡として注目されている。今回の調査は、これまでに判明した建物遺構の北西部の様相把握を目的として、7次調査A区の西側に2区、8次B区の北側に1区を設定し調査を行った。結果として、3期に帰属する南北方向の建物SB044を検出し、北西隅付近にも建物遺構が展開することが判明した。なお、2区で検出したSB043は、出土遺物より1期～2期の可能性が高い。また、4期の遺構としては総柱建物SB045・046を検出し、SB033・028・027・029を含めて6棟の倉庫状の建物列が直列配置されることが確認できた。これまでの調査成果を総合した上で、今後は「城原地区」を含めた遺跡全体の遺構変遷や同時性を検討する中で城原・里遺跡を評価する必要があるだろう。（長 直信）



第37図 調査地点位置図

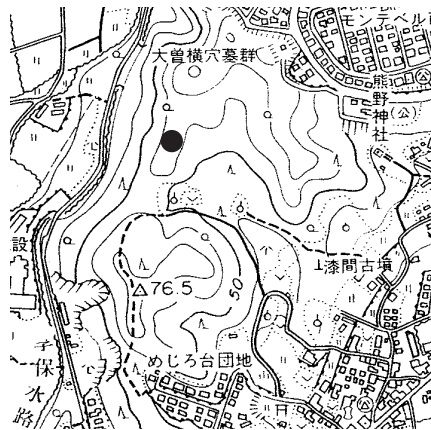


第38図 1区建物調査状況
(南東から)

XVII 大將軍古墳

調査面積 64㎡ 調査期間 2008.6.04
地域 B 調査担当 佐藤道文

調査は大規模宅地造成に伴うもので、開発地には周知遺跡である大將軍古墳が存在している。造成計画、本古墳が消失することから記録保存を目的とする調査を実施した。平成19年度に確認調査を行っており、その結果、積み土を予測させる土層堆積や須恵器破片が確認されていることから、古墳等の墳墓である可能性が想定された。墳丘部と思われる地点の掘り下げを行ったが主体部は確認されず、土層観察の結果、積み土と考えられていた土層は自然堆積土（旧表土）と判断されたことから古墳の可能性は低いと考えられる。旧表土を除去すると、基盤層である礫質土が表出するが、遺構は検出されなかった。今回の調査の結果、大將軍古墳は遺跡である可能性は極めて低いといえる。但し確認調査の際、須恵器が出土しており、関係性の解明が課題である。（佐藤道文）



第39図 調査地点位置図

XVIII 千代丸古墳・宮苑遺跡第2次調査

調査面積 76㎡
地域 B

調査期間 08.12.08～08.12.26
調査担当 古川 匠

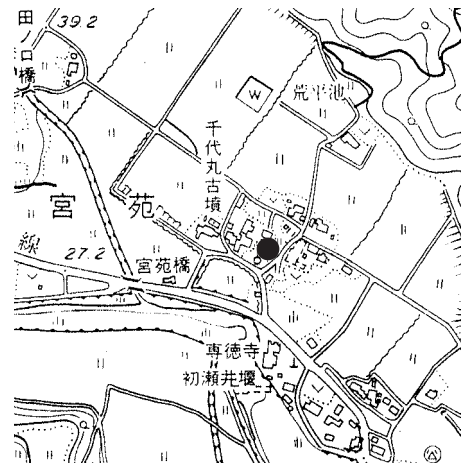
調査地は、大分川の支流・賀来川上流域の左岸に位置し、庄ノ原台地南側の河岸段丘面にあたる。当該地一帯は、本格的な横穴式石室墳が造営される大分平野唯一の地域である。

国指定史跡・千代丸古墳は、市内で唯一の装飾古墳であり、最大規模の石室をもつ古墳時代後期の首長墳である。また、千代丸古墳に隣接して中世の館跡が確認されており、宮苑遺跡として周知されている。

今回の調査は、千代丸古墳の範囲と詳細な築造年代の確定を目的に、墳丘の北側と東側に4箇所の調査区を設定して実施したものである。

墳丘の北側に設定した第1～3トレンチでは、周壕は確認されなかった。各トレンチにおける堆積土の状況から周壕を完全に破壊する程の後世の造成が行われたとは想定し難く、墳丘の北側に当初から周壕が形成されていなかった可能性がある。一方、墳丘の東側に設定した第4トレンチでは、周壕の可能性ある溝状遺構が検出されており、既往の調査成果を踏まえれば、墳形は円墳もしくは方墳と考えられ、その規模は石室を中心に東西25m以上であると復原される。

また、第3トレンチからは6世紀後半から末頃に比定される須恵器の甕が出土している。原位置から二次的に移動した遺物であるものの、横穴式石室の年代と符号するものであり、調査目的である古墳の時期確定に資する成果である。(塩地)



第40図 調査地点位置図



第41図 調査区全景合成写真（上が北）

XIX 宮苑・井ノ口遺跡第5次調査

調査面積 76㎡
地域 B

調査期間 08.05.07～08.06.30
調査担当 永松正大・古川 匠・奥村義貴

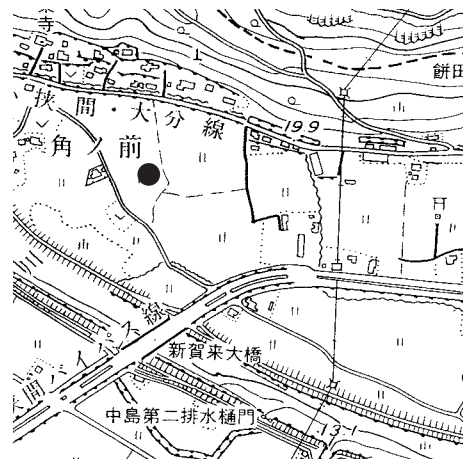
調査地は、大分川の支流・賀来川下流域の左岸に位置し、庄ノ原台地南側に広がる帯状の狭い沖積平野にあたる。

当該地一帯は、既往の調査成果より弥生時代から古墳時代に集落が形成された微高地が復原されている地点である。

今回の調査では、弥生時代から古墳時代の竪穴住居跡や弥生時代後期の集落を区画する溝状遺構が確認されている。

また、集落が形成された微高地がおおよそ南北65m、東西55mほどの範囲であることが判明しており、集落内の居住域の様相を解明する上で注目される成果である。

なお、詳細は報告書が刊行されている。(塩地)



第42図 調査地点位置図

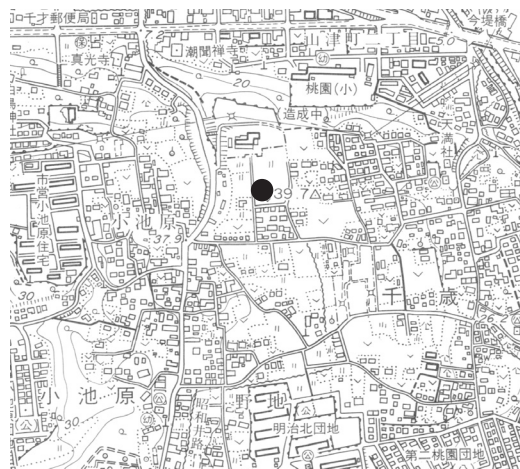
XX 米竹遺跡第3次調査

調査面積 140㎡
地域 E

調査期間 08.06.09～08.06.20
調査担当 五十川雄也

米竹遺跡第3次調査は鶴崎台地の西北端にあたり、標高約40m、比高差約30mの立地にあたる。これまでに数回の発掘調査が米竹遺跡では実施されている。検出遺構の大部分は弥生時代であり、鶴崎台地の北側に拠点的な性格をもつ集落跡が展開していた可能性が高い。今回の第3次発掘調査区は、集合住宅の用壁部分を対象とした調査であるので、調査区は「コ」字状の形状を呈する。調査面積は約160㎡である。土地の現状は水田であった。現地表から遺構面までの深さは約0.4mで、出土遺構は密度が高く、多くの遺構が切り合いをもつ。遺構の帰属する時代はほとんどが弥生時代であり、遺構面直上にある包含層からは中世遺物が少量出土している。検出遺構は弥生時代の竪穴建物跡・貯蔵穴・溝・土坑などである。出土遺物は弥生時代中期前葉～中葉中心で、甕、壺、脚付き鉢、石器類などが出土している。

この米竹遺跡第3次調査の詳細は、2009年に本報告書が刊行されており、こちらを参照していただきたい。(五十川)



第43図 調査地点位置図



第44図 調査区近景 (南東から)

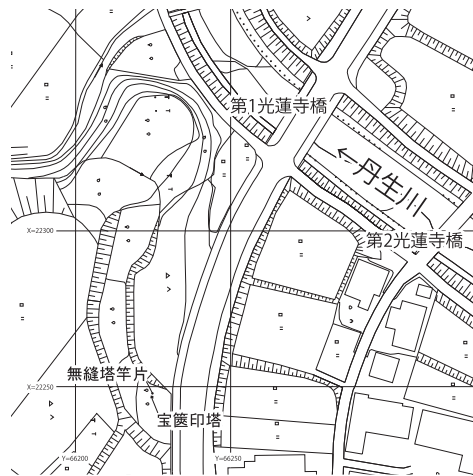
2. 分布調査の成果概要

I 丹生庄の調査

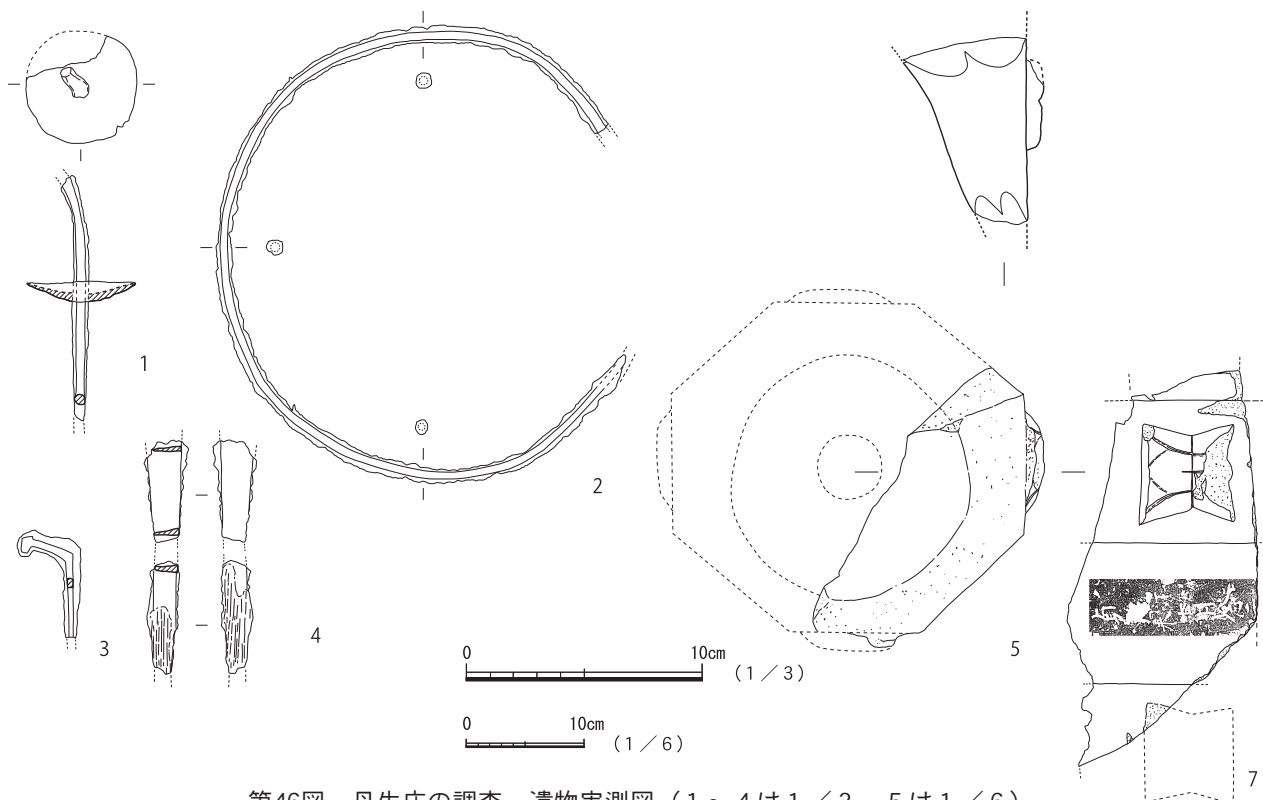
平成20年度に県経営体育成基盤整備事業（丹川地区）に伴う発掘調査報告書（大分市教委2009『丹生遺跡群／丹生川坂ノ市条里跡』以下、報告書P〇〇と記す）が刊行された。今回は当報告書に掲載予定だった無縫塔竿片実測図と第10地点ST012出土遺物の実測図を追加する。

無縫塔竿片は丹生川上流域の第2光蓮寺橋周辺で発見され（第1図参照）、平成21年度に地権者の方から市教委への寄贈を快諾いただいた。当遺物は報告書P427・P570に写真を掲載している。実測図は第2図5に示す。石材は凝灰岩製であり、平面形状八角形で、内側は榑鉢状に彫り込み、内容物を納められる空間を作り出している。側面には陽刻の蓮華文を推定4つ配し、さらに陰刻文字が残存している。文字は「貞口未丁七月念二日」とあり、1367年銘と考えられる。この無縫塔竿片はその形状・大きさや文献史学的にも旧大田村宝蛇寺無縫塔との関連が指摘されており、詳細は報告書P418、P426～429を参照していただきたい。

第2図1～4はすべて報告書P317のST012からの出土遺物で、すべて鉄製品である。1は報告書P317R3039と同一のもので、紡錘車である。2は円形になると推定される鉄製もので、その出土状況や共伴遺物に円形湖州鏡などが出土していることから、これらに関連する容器などを固定していたものと推定される。ただし容器は検出できていない。3は鉄釘である。当遺構が木棺墓である可能性が高くなった。4は刀子片か。鞘部に木質が残存する。（五十川）



第45図 無縫塔竿片位置と周辺図(1/2,500)



第46図 丹生庄の調査 遺物実測図（1～4は1／3，5は1／6）

3. 埋蔵文化財の概要

(1) 埋蔵文化財調査報告書の成果概要

刊行した報告書は11冊で、調査成果の概要は以下のとおりである。

- ① 『丹生川坂ノ市条里跡 丹生遺跡』 荘園村落遺跡調査（地名や水利、石造文化財等から荘園村落の景観と歴史を復原する文化財総合調査）を踏まえ実施された、中世丹生荘における発掘調査。豊後国の守護大名大友惣領家の直轄領支配に係る成果が報告されている。特筆される遺構としては、荘官クラスの屋敷跡をはじめ、15世紀代の土師器が大量に廃棄された土坑や古代丹生郷に係る掘立柱建物跡や石敷き遺構など、出土遺物としては、龍泉窯系青磁碗Ⅲ類・磁竈窯系黄釉盤・褐釉陶器四耳壺などの貿易陶磁器をはじめ、畿内産黒色土器碗・同瓦質鍋・瀬戸内系の土師質鍋、古代の越州窯系青磁碗・緑釉陶器・灰釉陶器などがある。
- ② 『府内城・城下町跡6』 近世府内城・城下町三ノ丸の府内藩に勤仕する家臣の屋敷が存在した場所の調査。屋敷地割とその空間利用についての復原がなされている。特筆される出土遺物には、江戸産の「丸熊マーク」の土製温石があり、使用者が限定されていた可能性が指摘されることから屋敷とその居住者の解明に寄与する成果が報告されている。
- ③ 『大友府内13』 中世大友府内町跡の南北街路と万寿寺西側の堀跡の調査。特筆される出土遺物には、中国南方産褐釉陶器水注、金襴手と呼ばれる中国景德鎮系磁器の碗・皿、タイ産メナムノイ窯系焼締陶器鉢などがある。
- ④ 『宮苑井ノ口遺跡第5次調査』 弥生時代～古墳時代の集落跡の調査。古地形と集落の変遷が復原されている。
- ⑤ 『大友府内14』 中世大友府内町跡と近世府内城・城下町跡が重複する地点の調査。中世の大型掘立柱建物跡や近世初頭の土塁跡をはじめ、近世の町道跡や廃棄土坑・井戸跡などが確認され、中世から近世にかけて大きく転換する場の様子が報告されている。
- ⑥ 『大道遺跡群2』 古代の官衙跡と古墳時代前期の環濠集落跡の調査。特筆される出土遺物には、古代の奈良三彩壺・円面硯・転用硯・灰釉陶器・緑釉陶器をはじめ、古墳時代前期初頭頃の淡路型器台・垂飾具として使用された青銅製の鏡片がある。
- ⑦ 『下郡遺跡群Ⅶ』 弥生時代の円形・弧状に分布する貯蔵穴群と古代の大型掘立柱建物群と条里地割の調査。特筆される出土遺物には、弥生時代中期前葉頃の青銅製?・タタキ技法や円盤充填技法により成形された土器をはじめ、同後期から古墳時代前期にかけての遺存率の高いまとまった土器群や古代の硯・墨書土器・刻書土器・東海産須恵器壺がある。
- ⑧ 『府内城・城下町跡7』 近世府内城・城下町三ノ丸の蔵屋敷や府内藩に勤仕する家臣の屋敷が存在した場所の調査。特筆される遺構として、17世紀代の規格的に配置された掘立柱建物跡がある。
- ⑨ 『米竹遺跡第3次調査』 弥生時代中期を主体とする竪穴住居跡と貯蔵穴の調査。石包丁状磨製石製品が出土している。
- ⑩ 『木ノ上・田原地区の墳墓群』 古墳時代前期の墳墓と市内最古の高来山横穴墓をはじめとする同中後期の横穴墓群の調査。特筆される出土遺物には、鉄刀・鉄鏃・銅鏡・ガラス玉がある。
- ⑪ 『横尾遺跡2』 弥生時代後期終末頃の粘土採掘坑と古代の道路状遺構と掘立柱建物跡の調査。
特筆される出土遺物には、旧石器時代の有茎尖頭器・国府型ナイフ形石器をはじめ、古代の緑釉陶器や軒丸瓦がある。（塩地）

(2) 教育普及活動の成果概要

① 海部古墳資料館特別展 タイムトラベラー2008

開催期間：平成20年9月21日～11月16日

「速吸の海に生きた豪族たち ～大在・里・本神崎の古墳～」をテーマとし、市内東部の旧海部郡地域に所

在する首長墓と考えられる大型古墳を対象とした。県内有数の大型前方後円墳である国指定史跡築山古墳をはじめ、辻古墳、大在古墳を加えた3基の古墳について、解説パネルや埴輪を中心とする出土遺物を展示した。

② 大分市文化財だより2008年号の発行

刊行日：平成21年3月19日

文化財だより2008年度号は、「地域の文化財」をテーマとし、本号では本神崎地区の文化財を取り上げた。海部特別展でも展示した、国指定史跡築山古墳の遺構と遺物を解説するとともに、地域の人々によって大切に守り伝えられていることを紹介した。また、県有形文化財を含む江戸時代の貴重な建物が多く残されており、熊本藩主細川氏の休憩所としても使われた教尊寺も合わせて紹介した。(高畠)



第47図 展示のようす



第48図 文化財だより2008年度版の内容

③ 旅する長崎学連携講座 『比べてみれば、ふるさと歴史再発見!』

「旅する長崎学」は、長崎県の歴史や魅力を全国に発信していく取り組みで、歴史・文化を活かして、ふるさとの誇りや愛着を育むとともに、各地への交流人口を広げていくことを目指すプロジェクトである。

南蛮貿易都市として栄えた府内と長崎。日本キリスト教史の舞台となり、国際色豊かな歴史を辿った大分と長崎について、町や人物、史跡などの比較をとおして、互いの歴史を学びながら、それぞれのふるさとの魅力を再発見し、また、大分と長崎の相互の歴史・文化を学ぶことで、交流の歩みを現代にもつなげ、地域間の活性化をはかるために開催したものである。



第49図 公開講座①のようす

【公開講座①（平成20年7月27日）】 テーマ 「キリシタン文化 人物伝」 聴講者 120名

布教が始まる戦国時代から、発展・弾圧の歴史を辿った日本のキリシタン文化、その中でもキリシタン大名大友宗麟・大村純忠、ローマを見た福者ペトロ岐部カスイと中浦ジュリアンといった人物に焦点を当て解説を行った。

【公開講座②（平成20年9月21日）】

テーマ 「大分と長崎をつなぐキリシタンベルト」

聴講者 140名

豊後から長崎をつなぐ「キリシタン・ベルト」という考え方の背景にある、日本の歴史的背景や宣教師たちの布教戦略、



第50図 公開講座②のようす

戦国大名たちの支配圏や外交・流通などの政策を整理しながら、キリシタン文化が華開いた時代に大分と長崎が果たした役割や両県の歴史・文化の繋がりについて解説を行った。(佐藤)

④ 大友氏遺跡フェスタ2008大友氏館跡発掘調査10周年記念シンポジウム

「ここまでわかった！豊後府内と大友館」

開催日時 平成20年10月5日 日曜日 13:30-16:15

開催場所 大分銀行赤レンガ館大ホール 参加人数130名

大友氏遺跡フェスタ2008では、「ここまでわかった！豊後府内と大友館」と題して「大友氏館跡」発掘10周年記念シンポジウムを開催した。最前線で調査・分析を進める研究者たちの最新成果を市民に分かりやすく紹介し、シンポジウムでは近年の考古学の発掘調査成果に基づき新たな豊後府内、大友宗麟像が論議された。特に文献史料の研究と遺跡から出土する多彩な貿易陶磁器の様相から、大友氏第21代宗麟が、同時代に生きた織田信長や豊臣秀吉等とは異なり、日本国内に留まらず広く東アジアをターゲットとしていた点を改めて確認した。また、こうした姿勢から大友氏を「アジアン大名」という新たな概念で捉えるべきである等の意見が出された。当日の報告は以下のとおりである。

「中世都市豊後「府内」の変遷ー近年の発掘調査からー」

大分県埋蔵文化財センター 坂本嘉弘

「川からの中世都市」 国立新居浜高専准教授 鹿毛敏夫

「大友館の変遷と府内周辺の方形館」 大分市教育委員会 坪根伸也

「イエズス会豊後府内教会と付属墓地」 大分県教育庁文化課 田中祐介 (坪根)



第51図 シンポジウムのようす



第52図 会場入口のようす

⑤ 写真パネル展 「大友氏館跡周辺の今、むかし」

平成20年9月26日(金)～平成20年10月6日(月)にかけて、大分銀行赤レンガ館ATM前において、「写真パネル展 大友氏館跡周辺の今、むかし」を開催した。

平成20年度で大友氏館跡の発掘調査は10年目をむかえたことを記念し、これまでの調査成果とともに大友氏館跡とその城下町が広がる顕徳町、元町の昭和30年代の風景等を写真パネルとして、大分合同新聞社や顕徳町在住の方の資料提供等の協力のもと展示を行った。

歴史好きの方はもちろんであるが、日頃、文化財についてなじみが薄い人々にも「大友宗麟」や「大友氏館跡」について気軽に知れる場をつくり、頭の片隅に留めていただこうと企画したものである。

大分生活文化展の期間中ということもあり、多くの方々が見学され、昔のまちなみを懐かしむ様子や、遺跡が発掘される様子を興味深く眺めている光景が見受けられた。(佐藤)



第53図 写真パネル展のようす

⑥ 横尾遺跡 弥生のムラ ウォーキング

日にち 1月10日(土) 参加人数 80人

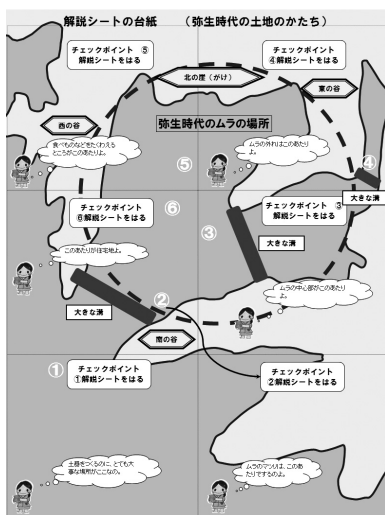
横尾地区の大東中学校周辺に残る弥生時代の環濠集落跡を解説するために実施した遺跡の説明会で、ウォークラリー形式で弥生のムラを見つけ出し、案内図をたよりに歩きながらムラの大きさを体感してもらうイベントを行った。

横尾遺跡は、弥生時代終わり頃(今からおよそ1800年前)に台地の上につくられたムラの遺跡で、その広さはおよそ11ヘクタールである。天然の要崖を結ぶように大きな溝(濠)や柵をめぐらせてムラを囲み、その中心部には濠やその内側に土塁を築くなど防御された区画の存在が明らかとなっている。また、濠が掘られた場所も実に合理的で、台地の幅が最も狭い場所が選ばれており、崖や谷など自然地形を最大限利用してムラを囲み、計画的につくられたことが分かる。

この他にも、ムラには竪穴住居跡や溝で囲まれた掘立柱建物跡をはじめ、土坑墓や粘土の採掘場などが見つかっており、ムラの様子も解明されはじめています。(塩地)



第54図 ウォーキングのようす



第55図 案内図の内容



第56図 解説シートの内容

⑦ 大友氏館跡現地説明会

平成20年7月27日 開催 参加人数 150人



第57図 遺跡解説のようす



第58図 出土遺物解説のようす

⑧ 大友氏遺跡体験館

大友氏遺跡体験学習館は、キリシタン大名として有名な大友宗麟によって西洋文化が華開いた「大分のまちを楽しく学べる歴史の教室」として大友氏の菩提寺の一つである万寿寺跡において平成20年4月25日に開館した。

平成8年から本格的に戦国時代の遺跡の発掘調査が進められ、これまでに大友宗麟の屋敷や万寿寺跡が確認され、まちの様子もわかってきた。それにともない中国をはじめ東南アジア産の陶磁器など、多くの遺物の発見もあった。

こうした遺跡の情報を多くの方に広く知ってもらうために、「知ろう！・触れよう！・感じよう！・調べよう！」をコンセプトに、出土品の展示や出土品に触れたりできる各コーナーや映像を使った遺跡の解説、遺跡に関する書籍を利用できるブースなどが設けられ、中世の歴史を学び、調べ学習がおこなえる施設になっている。

開館年度となる平成20年度においては、個人の見学者、団体での予約見学者等多岐にわたる利用があった。団体の内、学校関係からは、ふれあい歴史体験講座での発掘体験、小学校の遠足にあわせての施設見学、中学校の調べ学習、遺跡の出張説明等の利用がみられた。また、行政関係においても公民館講座の一環で旧跡めぐりの解説や広聴広報課や観光課からの団体の受け入れなど各部署との連携による見学が見込まれた。さらにJR九州主催によるウォーキングや県内外からの史跡探訪を含めた観光客にも利用された。

自主事業では、年3回の歴史講座や南蛮菜花園でのかぼちゃの栽培、犬のお守り作りや大友宗麟のペーパークラフトを作る体験工房、遺跡の現地見学会なども定期的におこなっており、多くの方が歴史学習の場として利用された。こうした活動により、海外との広いつながりをもった国際貿易都市・豊後府内のまちの魅力に触れていただいたところである。



第59図 施設外観



第60図 体験学習のようす



大友氏遺跡 体験学習館

◎施設概要

- ◆開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）
- ◆休館日 第1月曜日の翌火曜日と第2～5月曜日（祝日の場合は翌日）
祝日の翌日（土・日曜の場合は開館）
年末年始（12月28日～1月4日）
- ◆交通機関 JR大分駅より徒歩30分
大分バス（元町・富岡・滝尾循環／元町經由古国府循環）
東元町下車徒歩3分
- ◆入館料 無料

第3章

受贈図書目録

北海道	帯広市図書館		
	吉田蔵資料集－24	帯広叢書第58巻	2008年
	吉田蔵資料集－25	帯広叢書第59巻	2008年
	財団法人北海道埋蔵文化財センター		
	テエタ 第20号 テエタ 第21号 調査年報21－平成20年度－	財団法人北海道埋蔵文化財センターだより 第20号 財団法人北海道埋蔵文化財センターだより 第21号	2009年 2009年 2009年
山形県	山形市教育委員会		
	嶋遺跡－範囲確認調査報告書－ 山形市埋蔵文化財調査年報－平成18年度－ 甲府市内遺跡Ⅴ－平成11～12年度試掘調査報告書－	山形県山形市埋蔵文化財調査報告書 第29集 甲府市文化財調査報告38	
	福島県		
	いわき市教育委員会		
福島県	神力前B遺跡1～4区 玉山古墳－平成19年度範囲確認調査概報－ 平城跡－旧外堀跡の調査－	いわき市埋蔵文化財調査報告第126冊 いわき市埋蔵文化財調査報告第127冊	2008年 2008年 2008年
	福島大学行政政策学類考古学研究室		
	庚申壇古墳1－福島県本宮市庚申壇古墳測量調査・物理探査・発掘調査報告書－ 郡山市教育委員会／財団法人郡山市文化・学び振興公社 田中遺跡－第3次調査報告－	福島大学考古学研究報告第3集	2008年 2009年 2009年
	郡山市教育委員会		
	清水台遺跡－第26～29次調査報告－ 日和田古館跡－発掘調査報告－ 清水台遺跡と古代の郡山		2009年 2009年 2009年
茨城県	筑波大学		
	筑波大学 先史学・考古学研究 第19号		
	つくば市教育委員会		
	『史跡小田城跡 ー第45次調査（周辺曲輪跡確認調査Ⅱ）概要報告ー』 『史跡小田城跡 ー第48次調査（周辺曲輪跡確認調査Ⅱ）概要報告ー』 『史跡小田城跡 ー第40次調査（周辺曲輪跡確認調査Ⅱ）概要報告ー』		2008年 2009年 2009年
	筑波市		
栃木県	『つくば市内遺跡 ー平成14年度発掘調査報告書ー』 『つくば市内遺跡 ー平成16年度発掘調査報告書ー』 『つくば市内遺跡 ー平成17年度発掘調査報告書ー』		
	足利市教育委員会		
	国指定史跡 藤本観音山古墳 ー発掘調査でわかったその姿ー 史跡樺崎寺跡（法界寺跡）		2008年 2008年
	群馬県		
群馬県	高崎市教育委員会		
	史跡箕輪城跡Ⅷ－史跡箕輪城跡内容確認調査報告書－	史跡箕輪城跡調査報告第8集／高崎市文化財調査報告書第229集	2008年
	株式会社 火山灰考古学研究所		
	火山灰考古学に関する資料 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 研究紀要26		2009年 2008年
	埼玉県		
埼玉県	寄居町教育委員会		
	城見上遺跡（第2次）－町内遺跡12－	寄居町文化財調査報告 第29集	2009年
千葉県	市川市教育委員会		
	市川市内遺跡発掘調査報告書 下総国分遺跡 谷南遺跡 第24地点発掘報告書		2008年 2008年 2008年
	国立歴史民俗博物館		
	国立歴史民俗博物館研究報告 国立歴史民俗博物館研究報告 国立歴史民俗博物館研究報告 国立歴史民俗博物館研究報告 国立歴史民俗博物館研究報告 国立歴史民俗博物館年報4 国立歴史民俗博物館研究報告 国立歴史民俗博物館資料目録（7）直良信夫コレクション	第139集（2008年3月） 第140集（2008年3月） 第142集（2008年3月） 第143集（2008年3月） 第144集（2008年3月） 第141集（2008年3月）	2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年
	財団法人山武郡市文化財センター		
	岩山中袋遺跡（2015－14地点）－エアターミナル物流センター建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－ 境貝塚・山ノ台遺跡・儘田台遺跡・殿部田古墳群 阿歌坂遺跡－住宅市街地基盤整備事業（一般県道横芝山武線）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－ 中島遺跡（1952－2地点）－ⅠC周辺整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－ 年報 No.23－平成18年度－ 年報 No.24－平成19年度－ 山田・宝馬古墳群（宝馬219地点）－芝山町道3BL・0162号線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－ 宮崎上野台遺跡 大滝遺跡（谷向1412－1地点）－場外車券発売施設設置事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第100集 財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第101集 財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第102集 財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第103集 財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書第104集 財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書第105集 財団法人山武郡市文化財センター発掘調査報告書第106集	2008年 2008年 2008年 2008年 2009年 2009年 2009年
	東京都		
	学術創成研究		
	『弥生農耕の起源と東アジア 研究成果報告書』 『新弥生時代のはじまり 第4巻 弥生農耕のはじまりとその年代』		2009年 2009年
	レジスト株式会社／加藤建設株式会社		
	武蔵国府関連遺跡調査報告－府中市美好町1丁目1－11における事務所建設に伴う事前調査－ 武蔵国府関連遺跡調査報告－府中市緑町3丁目18－14～21における集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告－		2008年 2008年
	国分寺市遺跡調査会		
	武蔵国分寺跡発掘調査概報31 武蔵国分寺跡発掘調査概報32 東山道武蔵路発掘調査概報Ⅰ 恋ヶ窪遺跡発掘調査報告書Ⅴ（2分冊） 平成16・17年度国分寺市埋蔵文化財調査年報 平成18年度国分寺市埋蔵文化財調査年報		2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年

神奈川	府中市教育委員会／府中市遺跡調査会		
	武蔵国府の調査35－平成6年度府中市内発掘調査概報－		2007年
	武蔵国府の調査36－平成4年度府中市内発掘調査概報－		2007年
	武蔵国府の調査37－平成5年度府中市内発掘調査概報－		2008年
	天神町遺跡調査報告4－府中市計画道路3・4・13号拡幅に伴う事前調査－	府中市埋蔵文化財調査報告 第41集	2008年
	武蔵国府関連遺跡調査報告38－高倉・美好町地域の調査10－（府中市営第十一美好町住宅建替えに伴う事前調査）	府中市埋蔵文化財調査報告 第42集	2008年
	国分寺市教育委員会		
	『武蔵国分寺跡発掘調査概報34』		2009年
	『平成19年度 国分寺市埋蔵文化財調査年報』		2009年
	『史跡武蔵国分寺跡（僧寺北東地域）保存整備事業報告書』		2009年
	加藤建設株式会社／東京都府中市		
	武蔵国府関連遺跡調査報告－「レクセル府中西府」新築工事に伴う事前調査－		2008年
	世田谷区立郷土資料館		
	特別図録展「漢詩人岡本黄石の生涯－第三章三百編の遺意を得る者－」		2008年
	資料館だより 49号		2008年
	資料館だより No.50		2009年
	旧彦根藩世田谷領 願書留三	世田谷叢書 第三集	2009年
神奈川	国分寺市教育委員会ふるさと文化財課		
	『武蔵国分寺跡発掘調査概報34』		2009年
	『平成19年度 国分寺市埋蔵文化財調査年報』		2009年
	『史跡武蔵国分寺跡(僧寺北東地域)保存整備事業報告書』		2009年
	千代田区教育委員会		
	史跡江戸城外堀跡保存管理計画書		2008年
	東京文化財研究所		
	無形民俗文化財映像記録作成の手引き		2008年
	明治大学博物館		
	氷河時代の山をひらき、海をわたる－日本列島人類文化のバイオニア期－	2008年度明治大学博物館特別展解説図録	2008年
	早稲田大学考古学会		
	『古代』120号		2007年
	『古代』121号		2008年
	特定目的会社府中片町インバستمント／大成エンジニアリング株式会社		
	武蔵国府関連遺跡調査報告－府中市片町3丁目計画に伴う埋蔵文化財発掘調査－		2008年
新潟	社団法人 日本ユネスコ協会連盟		
	「世界遺産 年報2009」		2008年
	学術創成研究		
	『弥生農耕の起源と東アジア 研究成果報告書』		2009年
	『新弥生時代のはじまり 第4巻 弥生農耕のはじまりとその年代』		2009年
	神奈川 全国史跡整備市町村協議会		
	全国史跡整備市町村協議会会報（平成19年度版）		2008年
	専修大学		
	山名伊勢塚古墳－前方後円墳の確認調査－		
	逗子市教育委員会		
	「神奈川県逗子市 埋蔵文化財緊急調査報告書6」		2008年
新潟	胎内市教育委員会		
	黒川氏城館遺跡群Ⅲ－セブン・イレブン・ジャパン側の店舗建設に伴う発掘調査－	胎内市埋蔵文化財調査報告 第10集	2008年
	市内遺跡Ⅱ－鳥坂城跡・城の山古墳3次・新宮寺遺跡・高つむり城跡・古館館跡－	胎内市埋蔵文化財調査報告 第11集	2008年
	野付遺跡第3次－柴橋川広域河改基幹（二級）事業に伴う発掘調査報告書－	胎内市埋蔵文化財調査報告 第12集	2008年
	下町・坊城遺跡Ⅶ（E地点）－市道あかね町/加賀新線 道路改良事業に伴う発掘調査報告書－	胎内市埋蔵文化財調査報告 第13集	2008年
富山	砺波市教育委員会		
	増山城跡総合調査報告書		2008年
	財団法人 富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所		
	とやま発掘だより－平成19年度 発掘調査速報－		2008年
	富山県埋蔵文化財センター		
	弥生時代のムラ 江上A遺跡		2008年
	埋文とやま Vol.100		2007年
	埋文とやま Vol.101		2007年
	埋文とやま Vol.102		2008年
	埋文とやま Vol.103		2008年
	『高岡市埋蔵文化財調査概報第66冊 市内遺跡概報X Ⅶ』	高岡市埋蔵文化財調査概報 第66冊	2009年
	『高岡市埋蔵文化財調査報告書第65冊 二上谷内遺跡調査概報』	高岡市埋蔵文化財調査報告書 第65冊	2009年
	『高岡市埋蔵文化財調査報告書第19冊 寺谷内遺跡・寺谷内横穴墓調査概報』	高岡市埋蔵文化財調査報告書 第19冊	2009年
	『高岡市埋蔵文化財調査報告書第18冊 常国遺跡調査報告』	高岡市埋蔵文化財調査報告書 第18冊	2009年
	『高岡市埋蔵文化財調査報告書第17冊 石塚遺跡調査報告』	高岡市埋蔵文化財調査報告書 第17冊	2009年
	『高岡市埋蔵文化財調査報告書第16冊 下佐野遺跡調査報告』	高岡市埋蔵文化財調査報告書 第16冊	2009年
富山	『高岡市埋蔵文化財調査報告書第15冊 山園町遺跡調査報告Ⅱ』	高岡市埋蔵文化財調査報告書 第15冊	2009年
	『高岡市埋蔵文化財調査報告書第14冊 東木津遺跡調査報告』	高岡市埋蔵文化財調査報告書 第14冊	2009年
富山	射水市教育委員会		
	日宮城跡発掘調査概要－個人住宅建築に伴う埋蔵文化財調査－		2003年
	作道遺跡発掘調査報告－市道松木作道線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査－		2006年
	高島A遺跡発掘調査報告－射水市立新湊南部中学校用地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査－		2007年
	太閤山温泉遺跡発掘調査報告－公衆浴場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査－		2007年
	北高木遺跡発掘調査報告(2)－企業団地造成事業に伴う埋蔵文化財調査－		2007年
	射水市内遺跡発掘調査一覧－平成17・18年度－		2008年
	射水市内遺跡発掘調査報告Ⅰ－赤田Ⅰ遺跡本発掘調査・串田地区試掘調査－		2008年
	小松市教育委員会		
	額見町遺跡Ⅲ－串・額見地区産業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3－		2008年
	小松市内遺跡発掘調査報告書Ⅳ（戸津シンブザワ遺跡・埴田後山明神4号墳・薬師遺跡）		2008年
	八日市地方遺跡Ⅲ－共同住宅建設に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－		2008年
	八日市地方遺跡Ⅳ－店舗建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－		2008年
	上本折遺跡－都市計画道路大和末広線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－		2008年
	まいぶん講座フォーラム報告『加賀国府と中宮八院』		2008年
	小松市埋蔵文化財調査だより No.18		2008年
福井	福井県埋蔵文化財		
	年報－21－（平成17年度）		2007年
	年報－22－（平成18年度）		2008年
	中角遺跡1－Ⅰ区上層編－九頭竜川等河川改修事業に伴う調査	福井県埋蔵文化財調査報告 第100集	2008年
	藤巻多珍坊遺跡－中部縦貫自動車道建設事業に伴う調査7－	福井県埋蔵文化財調査報告 第101集	2008年
	福井城跡－福井駅西口地下駐車場整備事業に伴う発掘調査－	福井県埋蔵文化財調査報告 第102集	2008年
	上安田向田遺跡－国営九頭竜川下流土地改良事業に伴う調査－	福井県埋蔵文化財調査報告 第103集	2008年

静岡県	あわらし市埋蔵文化 古崎御坊跡－国指定史跡保存修理事業報告書－			あわらし市埋蔵文化財調査報告 第2集	2008年
	勝山市埋蔵文化 史跡 白山平泉寺旧境内発掘調査報告書－南谷坊院内確認発掘調査・発掘調査事業等－			勝山市埋蔵文化財調査報告書 第16集	2008年
	袋井市教育委員会 袋井市立浅羽郷土資料館 遺跡でたどる袋井のあゆみ 第1弾 旧石器時代～弥生時代の巻			袋井市教育委員会 袋井市立浅羽郷土資料館	2006年
	遺跡でたどる袋井のあゆみ 第2弾 古墳時代の巻			袋井市教育委員会 袋井市立浅羽郷土資料館	2007年
	遺跡でたどる袋井のあゆみ 第3弾 奈良・平安時代の巻			袋井市教育委員会 袋井市立浅羽郷土資料館	2007年
	遺跡でたどる袋井のあゆみ 第4弾 鎌倉～戦国時代の巻			袋井市教育委員会 袋井市立浅羽郷土資料館	2008年
	袋井市教育委員会／袋井市役所都市建設部建設課 鶴田Ⅰ遺跡			袋井市教育委員会／袋井市役所都市建設部建設課	2008年
	袋井市教育委員会 掛之上遺跡（57～67次調査）			袋井市教育委員会	2008年
	磐田市教育委員会 遠州広域水道用水供給事業寺谷浄水場築造工事等に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－長者屋敷北遺跡・東浦遺跡－			静岡県磐田市教育委員会	2009年
	新貝土地区画整理組合／磐田市教育委員会 八幡神社南古墳発掘調査報告書－新貝土地区画整理事業に伴う調査－			新貝土地区画整理組合／静岡県磐田市教育委員会	2009年
	浜松市教育委員会 内野上古墳群－桶荷山古墳・山の神古墳発掘調査報告書－			浜松市教育委員会	2009年
	(財)浜松市文化振興財団 東若林遺跡－2次調査－			(財)浜松市文化振興財団	2005年
	東若林遺跡			(財)浜松市文化振興財団	2007年
	都田町本村遺跡 1次調査報告書			(財)浜松市文化振興財団	2008年
	堤花遺跡			(財)浜松市文化振興財団	2008年
	東原遺跡33次			(財)浜松市文化振興財団	2008年
	東前遺跡Ⅱ			(財)浜松市文化振興財団	2008年
愛知県	南山大学人類学博物館 南山大学人類学博物館紀要 第26号			人類学博物館紀要 第27号	2009年
	愛知学院大学考古学 愛知県田原市 宮西遺跡の発掘記録2			愛知学院大学考古学発掘調査報告5	2008年
	岐阜県中津川市 上県2号窯跡－第2次発掘調査概要報告書－			愛知学院大学考古学発掘調査報告6	2008年
	吉良町埋蔵文化財センター 寄名山遺跡発掘調査報告書			吉良町埋蔵文化財発掘調査報告書 第4集	2008年
	瀬戸市埋蔵文化財センター 瀬戸窯－瀬戸市内重要遺跡試掘調査報告（椿・大杉窯跡、鳥屋口北窯跡、笠松東・南窯跡、昔田窯跡、風山A窯跡、サカイ・奥白根窯跡）－瀬戸市埋蔵文化財センター調査報告 第37集				2008年
	山ノ奥遺跡－市道山ノ奥榑井線・市道山ノ奥11・12号線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－				2008年
	下手大屋敷遺跡－耐震性貯水槽築造工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－				2008年
	豊川市内遺跡発掘調査概報XⅠ－史跡三河国分寺跡整備基本構想策定に伴う発掘調査概報Ⅱ－				2009年
	山本 直人（名古屋大学） 縄文時代の植物採集活動－野生根茎類食料化の民俗考古学的研究－ 増訂版				2008年
	豊田市教育委員会 平成18年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書				2008年
	井上1号墳			豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第30集	2008年
	来姓古窯跡群			豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第31集	2008年
	丸根遺跡・丸根城跡			豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第32集	2008年
	拳母城（桜城）跡			豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第33集	2008年
	豊田市郷土資料館だより №65				2008年
	豊田市郷土資料館だより №66				2009年
	名古屋市見晴台考古資料館 名古屋市見晴台考古学資料館 年報25－2007（平成19）年度事業報告－				2008年
	名古屋市見晴台考古学資料館 研究紀要－第10号／2008－				2008年
岐阜県	名古屋市教育委員会 埋蔵文化財調査報告書57－国史跡 白鳥塚古墳（第1次～第5次範囲確認調査）－			名古屋市文化財調査報告72	2007年
	埋蔵文化財調査報告書58－白鳥1号墳・白鳥8号墳・正木町遺跡（第21次）・玉ノ井遺跡（第5次）			名古屋市文化財調査報告74	2008年
	尾張元興寺跡第12次発掘調査報告書				2008年
	下寺林古墳（寺林2号墳）				2008年
	正木町遺跡第20次発掘調査				2007年
	平手町遺跡第4次発掘調査報告書－西部医療センター中央病院（仮称）整備事業用地における埋蔵文化財発掘調査報告－				2008年
	平手町遺跡 ークオリティライフ21城北事業用地における第5次発掘調査報告書－				2008年
	清水総合開発株式会社／山城主木株式会社 旗屋遺跡－ヴィークコート神宮西建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－				2008年
	大成建設株式会社 堅三蔵通遺跡発掘調査報告書（名古屋市中区栄一丁目24番地所在遺跡の調査）				2008年
	愛知県教育委員会 愛知県文化財年報3 平成19年度				2008年
	豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連遺跡総合事前調査 詳細遺跡分布調査報告書				2009年
	内田町遺跡				2009年
	岐阜市教育委員会 平成17・18・19年度岐阜市内市内遺跡発掘調査報告書				2008年
	平成19年度岐阜市内市内遺跡発掘調査報告書				2009年
	関市教育委員会 関市内市内遺跡・埋蔵文化財発掘調査報告書 平成15～17年度				2008年
	タリイピアセンター 平成19年度タリイピアセンター年報 №14				2008年
	非常の食－腹が減ッテモ 戦ッタ末ニ－			第39回 タリイピアセンター企画展	2007年
	長原のブックデザイン－挿絵のチカラ、装丁の美－			第40回 タリイピアセンター企画展	2007年
三重県	山県市教育委員会 大桑城下町遺跡Ⅲ・栢野遺跡			山県市埋蔵文化財調査報告書 第3号	2008年
	荒尾南遺跡Ⅲ			大垣市埋蔵文化財調査報告書 第18集	2008年
	大垣市埋蔵文化財調査概要－平成18年度－			大垣市埋蔵文化財調査報告書 第45集	2007年
	岐阜市鷺山・下土居土地区画整理組合／財団法人岐阜市教育文化振興事業団 鷺山市場遺跡－岐阜市都市計画事業鷺山・下土居土地区画整理事業における都市計画道路鷺山土下居線建設に伴う緊急発掘調査－			(財)岐阜市教育文化振興事業団報告書 第17集	2008年
	三重県埋蔵文化財センター 古代の火葬墓を発見！～長谷町遺跡発掘調査速報～				2007年
	大内山の考古学 №1				2008年
	一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報19				2007年
	東庄内A遺跡（第2次）－平成19年度近畿自動車道名古屋関線（鈴鹿付加車線）建設事業発掘調査－				2008年
	丁長遺跡（第2次）発掘調査報告			三重県埋蔵文化財調査報告290－2	2007年
	甘チ遺跡 第2次発掘調査報告－一般国道42号松阪・多気バイパス埋蔵文化財発掘調査報告Ⅷ－			三重県埋蔵文化財調査報告123－8	2008年

	霧生城跡・中道遺跡	三重県埋蔵文化財調査報告289	2008年
	一般国道23号中勢道路（10工区）建設事業に伴う蔵田遺跡（第4次）発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告115～25	2008年
	森庵遺跡発掘調査報告～伊賀市大谷所在～	三重県埋蔵文化財調査報告291	2008年
	三足田遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告292	2008年
	岸本遺跡（第2・3次）発掘調査報告－三重県松阪市飯高町森所在－	三重県埋蔵文化財調査報告294	2008年
	平林東遺跡発掘調査報告－多気郡多気町土羽所在－	三重県埋蔵文化財調査報告298	2008年
	志知南浦遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告288	2008年
	立花堂遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告297	2008年
	西肥留遺跡発掘調査報告（第1・2・3・5次）	三重県埋蔵文化財調査報告293	2008年
	大原堀遺跡発掘調査報告－第2・3次調査－	三重県埋蔵文化財調査報告295	2008年
	大木ノ輪遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告296	2008年
	一般国道23号中勢道路（10工区）建設事業に伴う替田遺跡（第1・2次）発掘調査報告書	三重県埋蔵文化財調査報告115～15	2008年
	研究紀要 第17－1号		2008年
	南勢の考古資料1（世古遺跡・下沖遺跡・ニツ屋遺跡）－研究紀要第17－2号－		2008年
	平成18年度三重県埋蔵文化財年報		2007年
	埋蔵文化財発掘調査概報20－一般国道23号 中勢道路－		2008年
	鈴鹿市 上箕田遺跡（第7次）発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告299	2008年
	久居城下町遺跡・東鷹跡古墳	三重県埋蔵文化財調査報告300	2008年
	大見遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告304	2009年
	九條遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告305	2009年
	奥城寺遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告302	2009年
	一般国道1号関バイパス 埋蔵文化財発掘調査概報－小野城跡（第4次）－		2008年
	一般国道475号東海環状自動車道－広山A遺跡・広山B遺跡発掘調査概報－	三重県埋蔵文化財調査報告186－7	2009年
	旅籠江戸屋跡・近世熊野街道跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告307	2009年
	師子焼遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告306	2009年
	下茅原遺跡（第1次・第2次）、東沖遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告303	2009年
	里前遺跡（第4次）発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告115－28	2009年
	里前遺跡（第5次）発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告115－27	2009年
	中林・中道遺跡発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告115－26	2009年
	東庄内A遺跡（第2次）発掘調査報告	三重県埋蔵文化財調査報告301	2009年
	平成19年度三重県埋蔵文化財年報		2009年
	流谷遺跡－近畿自動車道尾鷲多気線（紀伊長島～紀勢大山間）埋蔵文化財発掘調査報告－	三重県埋蔵文化財調査報告309	2009年
	村竹コノ遺跡――一般国道42号松阪多気バイパス建設地内埋蔵文化財発掘調査報告IX－	三重県埋蔵文化財調査報告123－9	2009年
	西野田遺跡発掘調査報告（第1・2・3次調査）		2009年
津市教育委員会	津市文化財年報1－平成17年度－		2007年
	殿村1号墳・殿村遺跡発掘調査報告－三重県津市殿村－	津市埋蔵文化財調査報告39	2005年
	渋見城跡発掘調査報告－三重県津市渋見町－	津市埋蔵文化財調査報告40	2005年
	蔵田遺跡発掘調査報告	津市埋蔵文化財調査報告41	2005年
	長遺跡発掘調査報告	津市埋蔵文化財調査報告42	2005年
	川北遺跡・川北城跡発掘調査報告	津市埋蔵文化財調査報告43	2005年
	多気北畠氏遺跡第29次発掘調査報告－上多気六田地区第3次－	津市埋蔵文化財調査報告書12	2008年
	平成18年度市内遺跡試掘・確認調査報告	津市埋蔵文化財調査報告書8	2007年
	津市の埋蔵文化財		2008年
	津市文化財年報－平成18年度－		2008年
	津市安濃町 小野口遺跡（第2次）発掘調査報告書	津市埋蔵文化財調査報告9	2008年
	津市川方町 川方城跡発掘調査報告	津市埋蔵文化財調査報告11	2008年
	まいぶん津	津市埋蔵文化財センター情報 第3号	2008年
	まいぶん津	津市埋蔵文化財センター情報 第4号	2008年
	藤堂高虎～その生涯と津の町の発展～	藤堂高虎公入府400年記念事業図録	2008年
	高虎さんのはなし	藤堂高虎公入府400年記念事業冊子	2008年
芸濃町教育委員会	松山遺跡発掘調査報告－三重県安芸郡芸濃町大字荻野－	芸濃町埋蔵文化財調査報告4	2005年
	雲林院青木遺跡発掘調査報告－三重県安芸郡芸濃町大字雲林院－	芸濃町埋蔵文化財調査報告5	2005年
四日市市教育委員会	久留宿遺跡3	四日市市埋蔵文化財発掘調査報告書 40	2008年
	北中寺遺跡4	四日市市埋蔵文化財発掘調査報告書 41	2008年
	北中寺遺跡2	四日市市遺跡調査会文化財調査報告書XⅣ	2008年
亀山市教育委員会	鈴鹿閣 第3号	亀山氏文化財調査速報 Vol.31	2008年
	明日へつなぐー平成18年度亀山市文化財保護年報－		2008年
松阪市教育委員会	上村遺跡－三重県松阪市下村町所在－	松阪市埋蔵文化財報告書7	2008年
	平成19年度松阪市文化財センター年報		2008年
松阪市文化財センター	『松阪市埋蔵文化財報告書 8 西野田遺跡（第4次）発掘調査報告書』	松阪市埋蔵文化財報告書 8	2009年
	『松阪市埋蔵文化財報告書 9 天神遺跡』	松阪市埋蔵文化財報告書 9	2009年
滋賀県	東近江市教育委員会		
	東近江市埋蔵文化財調査報告書 第8集		2008年
	東近江市埋蔵文化財調査報告書 第10集		2009年
	東近江市埋蔵文化財調査報告書 第11集		2009年
	東近江市埋蔵文化財調査報告書 第12集		2009年
大津市教育委員会	下仰木地区団体営土地改良総合整備事業（一般区画整理）に係わる発掘調査報告書－下仰木天神山遺跡・馬場遺跡・高月遺跡－	大津市埋蔵文化財調査報告書（44）	2008年
	近江国府関連遺跡発掘調査報告書Ⅲ－中路遺跡－	大津市埋蔵文化財調査報告書（45）	2008年
滋賀県教育委員会	『特別史跡安土城跡発掘調査報告書Ⅰ－大手道、百々橋口道、安土山南面の調査－』		2009年
	『特別史跡安土城跡発掘調査報告書Ⅱ－主郭、瀬手道の調査および総括－』		2009年
	『特別史跡安土城跡環境整備概要報告書XⅥ－百々橋－大手口間南面山裾部の工事－』		2009年
	『安土城・織田信長関連文書調報告18 栄順寺文書目録・木瀬家文書目録』		2009年
	『滋賀県中近世城郭関係資料集 2 安土城資料集 2』号		2009年
	『滋賀県安土城郭調査研究年報』 2007年度		2009年
	『史跡観音寺城跡整備基本構想・基本計画報告書』		2009年
京都府	財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター		
	京都府埋蔵文化財情報 第105号		2008年
	京都府埋蔵文化財情報 第106号		2008年
	京都府埋蔵文化財情報	第107号	2008年
城陽市教育委員会	城陽市埋蔵文化財調査報告書	第55集	2008年

	城陽市埋蔵文化財調査報告書	第56集	2008年
	丸亀市教育委員会 中の池遺跡・平池東遺跡－中の池遺跡第13次調査・平池東遺跡第3次調査－総合運動公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書		2008年
	京都橋大学文学部 京都橋大学 文化財調査報告2007－牧野車塚古墳・熊ヶ谷3・4号墳－		2008年
	同志社大学歴史資料館 同志社大学歴史資料館 館報 第11号		2008年
	財団法人 長岡京市埋蔵文化財センター 長岡京市埋蔵文化財センター年報 平成19年度		2009年
大阪府	堺市教育委員会 堺環濠都市遺跡（SKT929）発掘調査概要報告－堺区車之町西1丁所在－ 平成18年度市内遺跡立会調査概要報告 丹上遺跡（TNJ－1）発掘調査概要報告－美原区丹上所在－ 大保遺跡（DIH－3）発掘調査概要報告－美原区黒山所在－ 余部日置荘遺跡（HKS－24）発掘調査概要報告－美原区北余部所在－ 野々井西遺跡（NNIN－1）・陶邑窯跡群（ON231）発掘調査概要報告－南区稲葉3丁所在－	堺市埋蔵文化財調査概要報告 第117冊 堺市埋蔵文化財調査概要報告 第118冊 堺市埋蔵文化財調査概要報告 第119冊 堺市埋蔵文化財調査概要報告 第120冊 堺市埋蔵文化財調査概要報告 第121冊 堺市埋蔵文化財調査概要報告 第122冊	2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年
	姫路市教育委員会 特別史跡姫路城跡 石垣総合調査報告書		2008年
	南あわじ市教育委員会 南あわじ市埋蔵文化財発掘調査年報Ⅰ－2000～2004年度 埋蔵文化財発掘調査－ 南あわじ市発掘調査速報展－平成17・18年度調査－	南あわじ市文化財調査報告書 第1集	2008年 2008年
	尼崎市教育委員会 平成18年度国庫補助事業 尼崎市内遺跡 発掘調査等概要報告書 尼崎市埋蔵文化財調査年報－平成10年度②・11・12・13・14年度－（尼崎城跡第63次、生津遺跡第2次、武庫庄遺跡第58・60次、塚口城跡第94次、塚口山廻遺跡試掘・第1次調査概要） 尼崎市埋蔵文化財－遺跡分布地図及び手引き－	尼崎市文化財調査報告 第37集	2008年 2008年 2008年
	大手前大学史学研究所 兵庫津の総合的研究－兵庫津研究の最新成果－	大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター研究報告 第7号	2008年
	芦屋市教育委員会 八十塚古墳群・岩ヶ平石切場－岩ヶ平第45・46・58号墳と第108地点の発掘調査成果－ 月若遺跡発掘調査報告書 第89地点－都市計画道路山手線街路事業に伴う発掘調査Ⅶ－ 前田遺跡（第26地点）発掘調査報告書－弥生時代前期水田跡の北限域の状況－ 芦屋川水車場跡発掘調査報告書－城山古墳群第20号墳と芦屋川水車場跡の発掘調査成果－ 平成18年度 国庫補助事業－三条会下遺跡(第2地点)～徳川大坂城東六甲採石場Ⅶ～・岩ヶ平刻印群(第122地点)(第124地点)(第126地点) 芦屋市山手線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の概要－総集編－	芦屋市文化財調査報告 第67集 芦屋市文化財調査報告 第69集 芦屋市文化財調査報告 第70集 芦屋市文化財調査報告 第71集 芦屋市文化財調査報告 第73集 芦屋市文化財調査報告 第74集	2007年 2008年 2007年 2007年 2008年 2008年
	神戸市教育委員会 神戸市埋蔵文化財年報 塩田北山東古墳発掘調査報告書 五番町遺跡 発掘調査報告書－第12次調査－ 神戸臨港線－南本町架道橋範囲確認調査報告書－ 白水瓢塚古墳発掘調査報告書 二葉町遺跡発掘調査報告書第14～21次調査－新長田駅南第2地区震災復興第二種市街地再開発事業に伴う－ 大橋町遺跡第2次発掘調査報告書－新長田駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業（若松5）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－ 郡家遺跡第83次発掘調査報告書 御影郷古酒蔵群第4次発掘調査報告書－共同住宅建設に伴う発掘調査－ 兵庫津遺跡第42次発掘調査報告書－神戸市兵庫区西仲町における共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査－ 兵庫津遺跡第45次発掘調査報告書 楠・荒田町遺跡－第40・41次発掘調査報告書－ ひがしなだ・なだの木と森 神戸市埋蔵文化財分布図		2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2007年 2008年 2008年 2007年 2008年 2008年 2008年 2008年
	株式会社 牧歌舎 『大阪再発見』－中之島界限蔵屋敷跡－		2008年
	伊丹市教育委員会 伊丹市埋蔵文化財調査報告書 兵庫県伊丹市 御願塚古墳ハック通調査報告書－第8・9・10次調査－ 伊丹市埋蔵文化財調査報告書 震災復旧・復興事業に伴う発掘調査－有岡城跡・伊丹郷町遺跡第203・217・231次調査－	伊丹市埋蔵文化財調査報告書 第33集 伊丹市埋蔵文化財調査報告書 第34集 伊丹市埋蔵文化財調査報告書 第32集	2008年 2008年 2007年
	姫路市教育委員会 特別史跡姫路城跡 石垣総合調査報告書		2008年
	南あわじ市教育委員会 南あわじ市埋蔵文化財発掘調査年報Ⅰ－2000～2004年度 埋蔵文化財発掘調査－	南あわじ市文化財調査報告書 第1集	2008年
奈良県	財団法人 奈良大和古代文化研究協会 研究紀要 第13集		2008年
	奈良文化財研究所 キトラ古墳壁画－十二支（子・丑・寅）－ 遺跡の教育面に関する活用－平成18年度 遺跡整備・活用研究集会（第1回）報告書－ 埋蔵文化財ニュース 130 埋蔵文化財ニュース 131 埋蔵文化財ニュース 132 埋蔵文化財ニュース 133 『日本各地・各時代の焼失竪穴建物跡』本文・図版編／（別冊）データ編 Fundamentals of Zooarchaeology in Japan and East Asia －Akira Matsui（和訳：日本と東アジアにおける動物考古学の原理－松井 章） 奈良文化財研究所紀要2008 埋蔵文化財ニュース108－環境考古学2 中・小型哺乳類骨格図譜－ 埋蔵文化財ニュース113－大型哺乳類骨格図譜－ 埋蔵文化財ニュース115－牛馬骨格図譜－ 埋蔵文化財ニュース120－鳥類骨格図譜－ 埋蔵文化財ニュース122－環境考古学6 魚類骨格図譜、7 人骨図譜－	春季特別展示図録	2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2007年 2008年 2002年 2003年 2004年 2005年 2006年
	（財）桜井文化財協会 桜井市 平成18年国庫補助による発掘調査報告書 赤尾熊ヶ谷古墳群－鳥見山北麓における古墳群の調査－ 春季特別展『葬送の風景 ー考古学と文献からみる古墳時代の葬送儀礼－』		2008年 2008年 2008年
	桜井市立埋蔵文化財センター 平成20年度秋季特別展 色から見た考古学～考古学を楽しむための5色のキーワード～ 『桜井の小古墳－古墳時代後期に造られた小さな古墳たち－』	桜井市立埋蔵文化財センター 特別展	2008年 2009年
	王寺町教育委員会 片岡王寺跡第6次 発掘調査報告書	王寺町文化財調査報告書 第8集	2008年
	天理大学（文学部歴史文化学科考古学・民俗学研究室） 『故事』	天理大学考古学・民俗学研究室紀要 第12冊	2008年
	斑鳩町教育委員会 斑鳩町内遺跡発掘調査概報－平成16年度（2004）－	斑鳩町文化財調査報告 第3集	2008年

	史跡藤ノ木古墳 保存整備事業報告書 (財)元興寺文化財研究所 (財)大和文化財保存会援助事業による「聖林寺の版木」 平成19年度秋季特別展 発掘された木の記憶－見る眼と伝える技術－ 元興寺文化財研究所研究報告2007	斑鳩町文化財調査報告 第4集	2008年 2008年 2007年 2008年
奈良県立橿原考古学研究所			
青陵 第124号			2008年
青陵 第125号			2008年
橿原考古学研究所 1938～2008			2008年
大西塚ノ本遺跡		奈良県文化財調査報告書 第123集	2008年
下永東方遺跡Ⅱ－京奈和自動車道「大和区間」建設に伴う発掘調査報告X－		奈良県文化財調査報告書 第124集	2008年
慈明寺遺跡（藤原京右京五条八坊）－藤原京と縄文・弥生時代の自然流路の調査－		奈良県文化財調査報告書 第125集	2008年
向山遺跡－京奈和自動車道「五條道路」建設に伴う発掘調査－		奈良県文化財調査報告書 第127集	2008年
三河遺跡		奈良県立橿原考古学研究所調査報告 第103冊	2008年
飛鳥京跡Ⅲ		奈良県立橿原考古学研究所調査報告 第102冊	2008年
奈良県遺跡調査概報（第一分冊）－2007年－			2008年
奈良県遺跡調査概報（第二分冊）－2007年－			2008年
橿原考古学研究所 年報34（2007年度）			2009年
考古學論攷		第31冊	2008年
考古學論攷		第32冊	2009年
青陵 第126号			2009年
岡有家遺跡－京奈和自動車道「五條道路」建設に伴う発掘調査－		奈良県文化財調査報告書 第128集	2009年
横井北樋口遺跡		奈良県文化財調査報告書 第129集	2008年
此瀬五反田遺跡		奈良県文化財調査報告書 第130集	2008年
平城京左京三条三坊五・十二坪		奈良県文化財調査報告書 第131集	2008年
和田ワタナ遺跡・矢田原遺跡		奈良県文化財調査報告書 第132集	2009年
日笠花刈遺跡		奈良県文化財調査報告書 第133集	2009年
松山遺跡－高取バイパス建設に伴う調査報告書1－		奈良県文化財調査報告書 第134集	2009年
釜窪大谷東原古墳－京奈和自動車道「五條道路」建設にともなう発掘調査－		奈良県文化財調査報告書 第135集	2009年
石范を用いた鋳造の研究			2008年
下池山古墳の研究		橿原考古学研究所研究成果 第9冊	2008年
ホケノ古墳山の研究		橿原考古学研究所研究成果 第10冊	2008年
田原本町教育委員会			
田原本町文化財調査年報16			2008年
唐古・鍵考古学ミュージアム 春季企画展			2008年
唐古・鍵考古学ミュージアム 秋季企画展			2008年
奈良市埋蔵文化財センター			
県営園場整備事業田原東地区における埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅱ－別所下ノ前・辻堂・大谷口遺跡 水間遺跡－ 県営園場整備事業田原東地区における埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅱ			2007年
飛鳥資料館（奈良文化財研究所）			
冬季企画展 飛鳥の考古学2008			2009年
奈良大学文学部文化財学科			
文化財学報 第26集			2008年
奈良県立民俗博物館			
奈良県立民俗博物館だより vol.35 №1		通巻100号	2008年
奈良県立民俗博物館研究紀要 第23号			2008年
帝塚山大学考古学研究所			
帝塚山大学考古学研究所研究報告X I			2009年
帝塚山大学考古学研究所研究報告X			2008年
シンポジウム報告書 天武・持統朝の寺院造営－東日本－			2008年
和歌山県 有田川町教育委員会			
平成19年度 有田川町埋蔵文化財調査年報			2008年
和歌山市教育委員会			
和歌山市内遺跡発掘調査概報－平成18年度－（川辺遺跡第2・3次確認調査）			2008年
財団法人和歌山市都市整備公社			
和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報 平成18年度			2009年
有田川町教育委員会／有田川町遺跡調査会			
旧吉備中学校校庭遺跡－有田川町公共下水処理施設建設に伴う発掘調査報告1－		有田川町遺跡調査会発掘調査報告書 第1集	2008年
紀の川市教育委員会			
紀の川市内遺跡発掘調査概要報告書－平成18年度－ 北山廃寺（第4次）調査ほか		紀の川市文化財調査報告書 第1集	2008年
鳥取県 鳥取県教育委員会			
史跡妻木晩田遺跡発掘調査報告書Ⅲ集			2008年
妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2007			2008年
『妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2008』			2009年
鳥根県 浜田市教育委員会			
史跡 周布古墳・蔵地宅後古墳・市史跡 金田1号墳－平成14・15・18年度市内遺跡発掘調査報告書－			2008年
浜田城跡（庭園跡の調査2）－立正佼成会浜田教会新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－			2008年
蔵地宅後古墳－津摩地区自然災害防止工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－			2007年
江津市教育委員会			
カミヤ遺跡・羽代前田遺跡－中山間総合整備事業に伴う発掘調査報告書－			2008年
安来市教育委員会			
永昌寺の谷遺跡 高倉遺跡－広域営農団地農道整備事業（安能地区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－			2008年
安田深田遺跡発掘調査報告書－町営住宅安田団地敷地整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－ 伯太町埋蔵文化財調査報告書 第6集			2002年
島根県教育庁古代文化センター			
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第14号			2007年
北光寺古墳発掘調査報告書		島根県古代文化センター調査研究報告書36	2007年
平成18年度 島根県立古代出雲歴史博物館年報			
出雲地方における玉髄・瑪瑙製石器の研究－恩田清氏採集資料と島根県出土の玉髄・瑪瑙製石器－ 島根県古代文化センター調査研究報告書20			2004年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第1号			1993年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第2号			1995年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第3号			1996年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第4号			1997年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第5号			1998年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第6号			1999年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第7号			2000年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第8号			2001年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第9号			2002年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第10号			2003年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第12号			2005年
古代文化記録集『しまねの古代文化』 第13号			2006年

	松江市東部における古墳の調査－廟所古墳・観音山古墳群・廻田古墳群（附 上竹矢7号墳・迎接寺裏山1号墳－		2004年
	島根県発掘調査一覧 第1集		2000年
	五反配遺跡－古代出雲歴史博物館建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書－		2004年
	青銅器埋納地調査報告書Ⅰ（銅鐸編）	島根県古代文化センター調査研究報告書12	2002年
	弥生時代の磨製石器	島根県古代文化センター調査研究報告書13	2003年
	宮山古墳群の研究	島根県古代文化センター調査研究報告書16	2003年
	青銅器の同范関係調査報告書Ⅰ－武器形青銅器－	島根県古代文化センター調査研究報告書19	2004年
	大寺1号墳発掘調査報告書	島根県古代文化センター調査研究報告書29	2005年
	装飾付大刀と後期古墳－出雲・上野・東海地域の比較研究－	島根県古代文化センター調査研究報告書31	2005年
津和野町教育委員会	本部地区発掘調査報告書－土居九館跡・本郷遺跡・大婦ヶ遺跡－	津和野町埋蔵文化財報告書 第6集	2008年
	山陰道（野坂峠越・徳城峠越）発掘調査報告書	津和野町埋蔵文化財報告書 第7集	2008年
出雲市教育委員会	田儀櫻井家たたら製鉄遺跡発掘調査報告書－平成16～18年度の調査－	出雲市の文化財報告 1	2008年
	余小路遺跡－神戸川（赤川）広域基幹河川改修事業埋蔵文化財発掘調査報告書－	出雲市の文化財報告 2	2008年
	壱丁田遺跡（2次調査）－都市計画道路「出雲市駅前白枝線」街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	出雲市の文化財報告 3	2008年
	平成19年度 出雲市文化財調査報告書－北島国造家石垣調査・西谷横穴墓群第3支群・日御崎神社境内遺跡－	出雲市の文化財報告 4	2008年
	史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡保存管理計画書		2008年
島根県教育庁埋蔵文化財調査センター	史跡出雲国府跡－5－	風土記の丘地内遺跡発掘調査報告書18	2008年
	林原遺跡	尾原ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書11	2007年
	原田遺跡(4)	尾原ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書12	2008年
	島根県出雲市 里方本郷遺跡・山持遺跡4（5区・7区） 国道431号道路改築事業（東林木バイパス）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書6		2008年
	島根原子力線新設工事予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書1－恵谷古墳群・岩鼻古墳群・上講武殿山城跡・砥石遺跡・沢下遺跡・元宮遺跡－		2008年
	余小路遺跡(2)	一般国道9号出雲バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書9	2008年
	中祖遺跡・ナメウ迫遺跡	一般国道9号仁摩温泉津道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書1	2008年
	九景川遺跡	一般県道出雲インター線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ	2008年
	沖手遺跡・専光寺脇遺跡－中世の大規模集落遺跡と弥生時代の墳丘墓－	一般国道9号（益田道路）建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書5	2008年
	玉泉寺裏遺跡・浜井場4号墳・間谷東古墳	一般県道出雲インター線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ	2008年
	南外2号墳・勝負遺跡 国道485号線道路改築事業（松江第五大橋道路）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ		2007年
	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター年報16－平成19年度－		2008年
	古代文化の郷 出雲－史跡 出雲国府跡－	風土記の丘地内遺跡発掘調査速報No.8	2008年
	オロチのいぶき 総集編－尾原ダム地内の遺跡－		2008年
	水海のほとり 一般国道インター線（知井宮工区・浅柄工区）建設に伴う発掘調査概報Ⅲ		2008年
	西川津遺跡・苅捨古墳	松江島根線改築工事に伴う発掘調査概報 1	2008年
	石見路の言伝－特別号②－		2008年
益田市教育委員会	家下遺跡・中小路遺跡－経営体育成基盤整備事業（横田・安富地区）に伴う発掘調査報告書－		2008年
	松江市教育委員会／財団法人松江市教育文化振興事業団		
	一般国道432号線道路改良工事予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ－小原遺跡－	松江市文化財調査報告書 第117集	2008年
	田中谷Ⅱ遺跡発掘調査報告書	松江市文化財調査報告書 第118集	2008年
	平成20年度野間地区ため池等整備事業に伴う戸崎遺跡発掘調査報告書	松江市文化財調査報告書 第116集	2008年
	松江鹿島美保関線佐陀本郷工区改築（改良）工事に伴う大勝間山城跡発掘調査報告書	松江市文化財調査報告書 第118集	2009年
津和野町教育委員会	陶晴賢本陣跡Ⅱ－津和野デジタルテレビ中継局送信設備工事に伴う発掘調査報告書－	津和野町埋蔵文化財報告書 第8集	2009年
	西谷地区発掘調査報告書（出合の場遺跡・殿河内遺跡・寺ヶ台前田遺跡）	津和野町埋蔵文化財報告書	2004年
広島県	福山市教育委員会		
	〈福山市加茂町〉加茂倉田遺跡発掘調査報告書－市道駅家加茂線道路改良事業に伴う発掘調査報告書－		2000年
	〈福山市三之丸町地内〉福山城跡－福山駅前広場整備工事（地下送迎場）に伴う第1次発掘調査報告書－		2007年
	福山市内遺跡発掘調査概要Ⅱ－2006年度（平成18年度）－		2008年
	駅屋加茂地区内陸型複合団地造成事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－狼塚2号墳・長石古墳・粟塚4号古墳・石仏古墳群－		1999年
	加茂丁遺跡－泉龍寺宅地造成工事に伴う発掘調査報告書－		1997年
	千田平ノ前古墳－宅地造成工事に伴う発掘調査報告書－		2004年
	尾市第1号古墳発掘調査報告書－2002年度（平成14年度）～2007年度（平成19年度）－		2008年
	広島大学		
	帝釈峡遺跡群発掘調査室年報X XⅡ		2008年
財団法人 東広島市教育文化振興事業団	古代山陽道と神辺平野の文化財		2008年
	弥生時代における初期鉄器の舶載時期とその流通構造の解明		2008年
	史跡三ッ城古墳発掘調査報告書－史跡三ッ城古墳保存整備事業に係る発掘調査－	文化財センター調査報告書 第42冊	2004年
	大地面遺跡発掘調査報告書－都市計画道路吉行飯田線街路事業に係る発掘調査－	文化財センター調査報告書 第59冊	2008年
	高屋東2号・3号遺跡発掘調査報告書－一般国道375号（東広島道路）道路改良事業に係る発掘調査－	文化財センター調査報告書 第60冊	2008年
	阿岐のまほろば Vol.37		2008年
	阿岐のまほろば Vol.38		2008年
	財団法人 広島市文化財団		
	広島城跡国保会館地点		2007年
	広島城跡－司法書士会館新築地点発掘調査報告書－		2007年
財団法人 広島県教育事業団	幾志山城跡発掘調査報告書		2009年
	研究連絡誌Ⅳ－平成18年度－		2007年
	研究連絡誌Ⅴ－平成19年度－		2008年
	中国横断自動車道尾道松江線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告（8）－北野山遺跡－	財団法人広島県教育事業団発掘調査報告書 第27集	2009年
	『金井原遺跡』	財団法人広島県教育事業団発掘調査報告書 第28集	2009年
山口県	山口大学埋蔵文化財資料館		
	山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成17年度－		2007年
	てらこや埋文－9号－		2007年
	てらこや埋文－10号－		2007年
	てらこや埋文－11号－		2008年
	てらこや埋文－12号－		2008年
	山口県史編纂室		
	山口県史	通史編 原始・古代	2008年
	山口県埋蔵文化財センター		
	吉毛遺跡	山口県埋蔵文化財センター調査報告 第63集	2008年
山口県立萩美術館・浦上記念館	真尾猪の山遺跡Ⅱ	山口県埋蔵文化財センター調査報告 第64集	2008年
	道祖ノ本遺跡	山口県埋蔵文化財センター調査報告 第65集	2008年
	上り熊遺跡Ⅰ	山口県埋蔵文化財センター調査報告 第66集	2008年
	陶損 第21号－山口県埋蔵文化財センター年報（平成19年度）－		2008年
	寛集家 浦上敏郎の眼－館蔵名品店－中国・朝鮮陶磁篇	開館記念Ⅰ	1996年

	中国 仙人のふるさとー山東省文物展ー		1997年
	よみがえる漢王朝ー2000年の時をこえてー		1999年
	フィリピンにわたった焼きものー青磁と白磁を中心にー	富山佐藤美術館コレクション	1999年
	漢代「王車」の輝きー中国山東省双乳山濟北王陵出土文物ー		2001年
	東アジア中世街道ー海商・港・沈没船ー		2005年
	景徳鎮千年展		2006年
	神秘の王国ージ国王墓展ー	シリーズ山東文物1	1998年
	磁器の誕生ー原始瓷器ー	シリーズ山東文物3	2000年
	原始土器の美ー大?口遺跡出土文物ー	シリーズ山東文物4	2003年
	東方 ーはるかなユートピアー煙台地区出土文物精華ー	シリーズ山東文物7	2006年
	瀬戸陶芸の精華展	2005年日本国際博覧会開催記念	2005年
	ドイツ陶芸の100年		2000年
	マジョリカ名陶展	イタリア・ファエンツィア国際陶芸博物館所蔵	
	松村 實コレクションー中国陶磁 朝鮮陶磁 日本陶磁 日本絵画ー		2004年
	仏教美術の黎明 山東省石仏展	山口県・山東省友好協定締結25周年	2008年
	広重の風景版画展ー広重が愛した日本の情景ー		2008年
	カルロ・ザウリ展ーイタリア現代陶芸の巨匠ー		2007年
	下関市立考古博物館		
	研究紀要 第12号		2008年
	下関市立考古博物館年報13ー平成19年度ー		2008年
	下関市教育委員会		
	下関市埋蔵文化財年報 1ー平成18（2006）年度の記録ー		2008年
	長門国府跡（長門国府跡周辺遺跡群第17次発掘調査）ー山口県下関市長府侍町一丁目地内長門国府跡（侍町地区）発掘調査報告書ー	下関市文化財調査報告書12	2006年
	塚の原遺跡ー山口県下関市大字有富地内塚の原遺跡（下迫地区）発掘調査報告書ー	下関市文化財調査報告書22	2007年
	打石遺跡ー山口県下関市彦島迫町六丁目地内打石遺跡発掘調査報告書	下関市文化財調査報告書23	2007年
	椎の木原墳墓群ー山口県下関市後田町五丁目地内椎の原墳墓群発掘調査報告書ー	下関市文化財調査報告書26	2008年
	下関市立考古博物館		
	動物とのかかわりー先史時代の動物利用ー（平成20年度企画展）		2008年
	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム		
	「近世人と近世墓」ー江戸時代の墓制をさぐるー		2008年
	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム 研究紀要 第2号		2007年
	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム 研究紀要 第3号		2008年
	防府市教育委員会		
	『平成18年度 防府市内遺跡発掘調査概要』		2009年
徳島県	徳島市教育委員会		
	徳島市埋蔵文化財発掘調査概要18		2008年
	藍住町教育委員会		
	勝端城館跡整備基本計画（概要版）		2007年
	勝端城館跡第12次発掘調査概要報告書		2008年
	鳴門市教育委員会		
	鳴門市内遺跡調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書2ー天河別神社古墳群2号墳確認調査事業／春日神社古墳群4・5号墳確認調査事業ー	鳴門市教育委員会文化財調査報告書5	2008年
	鳴門市内遺跡調査事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書3ー板東俘虜収容所跡／萩原2号墓確認調査事業ー	鳴門市教育委員会文化財調査報告書6	2008年
	財団法人徳島県埋蔵文化財センター		
	田井遺跡ー一般国道55号日和佐道路建設に伴う発掘調査報告	徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第69集	2008年
	寺山遺跡ー広域基幹河川改修（園瀬川）事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書ー	徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第70集	2008年
	観音寺遺跡（Ⅳ）ー道路改築事業（徳島環状国府工区）関連埋蔵文化財発掘調査報告書ー	徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第71集	2008年
	敷地遺跡（Ⅰ）ー道路改築事業（徳島環状国府工区）関連埋蔵文化財発掘調査報告書ー	徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第72集	2008年
	トノ町遺跡ー阿南警察署庁舎改築工事関連埋蔵文化財発掘調査報告書ー	徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第73集	2008年
	徳島県埋蔵文化財センター年報 vol.18		2007年
	真朱 第7号		2008年
	真朱 第8号		2008年
	敷地遺跡（Ⅱ）ー道路改築事業（徳島環状線国府工区）関連埋蔵文化財発掘調査概報ー	徳島県埋蔵文化財センター調査概報 第4集	2008年
	高松市教育委員会		
	高松平野南東部における埋蔵文化財調査報告書ー光専寺山遺跡ほかー		2008年
	横岡山古墳 城所山古墳群		2008年
	高松市内遺跡発掘調査概報ー平成19年度国庫補助事業ー		2008年
	西下遺跡ー高松市立十河小学校校舎建設事業に伴う埋蔵文化財調査報告書ー		2008年
	高松城跡（江戸長屋跡）ー高松海岸線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー		2008年
	丸亀市教育委員会		
	第2次丸亀城大手町地区埋蔵文化財発掘調査報告書ーロイヤルガーデン大手町建設に伴う埋蔵文化財発掘調査ー		2008年
	中の池遺跡・平池東遺跡ー中の池遺跡第13次調査・平池東遺跡遺跡第3次調査ー	総合運動公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2008年
	高松市教育委員会		
	玉藻廟解体・記録保存調査報告書ー史跡高松城整備報告書 第3冊ー	高松市埋蔵文化財調査報告 第116集	2008年
	『高松城史料調査報告書 史跡高松城整備報告書 第4冊』		2009年
	『奥の坊遺跡群Ⅶ 高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第7冊』	高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第7冊	2009年
	『高松市指定史跡石ヶ鼻古墳 御蔵天神社古墳』		2009年
	『高松市指定史跡片山池窯跡群 確認調査報告書 国庫補助事業』		2009年
	『高松市内遺跡発掘調査概報 平成20年度国庫補助事業』		2009年
	『高松城跡（江戸長屋跡Ⅱ）高松海岸線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』		2009年
	『太田下・須川遺跡 国道11号高松東道路関連整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』		2009年
愛媛県	鬼北町教育委員会		
	等妙寺旧境内（第10次調査）	鬼北町埋蔵文化財発掘調査報告書 第9集	2008年
	松野町教育委員会		
	国指定史跡 河後森城跡環境整備事業概要報告書Ⅵー本郭ゾーンー	松野町文化財調査報告 第15集	2008年
	松山市教育委員会／（財）松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター		
	市道北条鴻之坂線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー北条片町遺跡ー	松山市文化財調査報告書122	2008年
	鶴が峠遺跡Ⅱ	松山市文化財調査報告書123	2008年
	市道道後42・43号線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー道後湯月町遺跡・道後湯之町遺跡ー	松山市文化財調査報告書124	2008年
	市道中村桑原線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2ー枝松遺跡（7次・8次・9次・10次調査）ー	松山市文化財調査報告書125	2008年
	市道水堀南高井線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー平井遺跡2次調査・水堀遺跡（1次・2次・3次調査）・高井遺跡1次調査・南高井遺跡ー2次・3次調査ー	松山市文化財調査報告書126	2008年
	久米高畑遺跡ー26次調査ー	松山市文化財調査報告書127	2008年
	松山市埋蔵文化財調査年報 19ー平成18年度ー		2007年
	来住・久米地区の遺跡Ⅶー平成17年度国庫補助市内遺跡発掘調査事業ー（久米高畑遺跡65次調査・久米高畑遺跡66次調査・来住町遺跡14次調査）	松山市文化財調査報告書121	2008年
	大庭小松集落道工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 善応寺大庭北遺跡	松山市文化財調査報告書128	2009年
	公園整備による便益及び管理施設の建設に伴う埋蔵文化財発掘調査 枝松遺跡ー11次調査ー	松山市文化財調査報告書129	2009年
	松山市埋蔵文化財調査年報 20（平成19年度）		2008年
	松山市教育委員会		
	『樽味四反地遺跡ー12次・13次調査ー』		2009年
	『史跡久米官衙遺跡群調査報告書3』		2009年

38 大分市埋藏文化財調査報告

博多114	第944集	2007年
博多115	第945集	2007年
博多116	第946集	2007年
博多117	第947集	2007年
箱崎27	第948集	2007年
箱崎28	第949集	2007年
箱崎29	第950集	2007年
箱崎30	第951集	2007年
箱崎31	第952集	2007年
原東遺跡2	第953集	2007年
比恵45	第954集	2007年
比恵46	第955集	2007年
比恵47	第956集	2007年
比恵48	第957集	2007年
比恵49	第958集	2007年
東那珂遺跡5	第959集	2007年
福岡城跡	第960集	2007年
福重稲木遺跡	第961集	2007年
元岡・桑原遺跡群8	第962集	2007年
元岡・桑原遺跡群9	第963集	2007年
元岡・桑原遺跡群10	第964集	2007年
古武遺跡群X IX	第965集	2007年
吉塚9	第966集	2007年
吉塚10	第967集	2007年
鴻臚館跡17	第968集	2007年
福岡城跡	第969集	2007年
福岡市埋蔵文化財年報 vol.20		2007年
那珂遺跡群51ー第102次調査報告書ー	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1021集	2008年
飯塚市教育委員会		
上ノ原遺跡・寺ノ前遺跡（第1次）・前田遺跡・平塚三角遺跡	飯塚市文化財調査報告書 第33集	2008年
三郡山遺跡・登尾遺跡・悪所遺跡・赤松尾遺跡	飯塚市文化財調査報告書 第35集	2008年
行橋市教育委員会		
袂水古墳群ー県営は場整備事業（入覚地区）関係埋蔵文化財発掘調査報告1ー	行橋市文化財調査報告書 第35集	2008年
九州大学		
老岐カラカミ遺跡 I ーカラカミ遺跡東亞考古学会第2地点の発掘調査ー		2008年
日本水稲農耕の起源地に関する総合的研究		2008年
九州大学総合研究博物館ニュース No.10		2008年
直方市教育委員会		
下境向峯遺跡ー福岡県直方市大字下境所在遺跡の調査ー	直方市文化財調査報告書 第35集	2008年
下境宮口遺跡ー福岡県直方市大字下境所在遺跡の調査ー	直方市文化財調査報告書 第36集	2008年
屋敷遺跡ー福岡県直方市大字下境所在遺跡の調査ー	直方市文化財調査報告書 第37集	2008年
水ヶ谷遺跡ー福岡県直方市大字下境所在遺跡の調査ー	直方市文化財調査報告書 第38集	2008年
北九州市立自然史・歴史博物館		
北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B類 歴史 第5号		2008年
那珂川町教育委員会		
前田遺跡群IV・仲遺跡群IVー福岡県筑紫郡那珂川町大字前田・仲所在の遺跡群の報告ー	那珂川町文化財調査報告書 第72集	2008年
カクチガ浦遺跡群Vー福岡県筑紫郡那珂川町大字松木所在遺跡群の調査ー	那珂川町文化財調査報告書 第71集	2008年
財団法人北九州市芸術文化振興財団		
小倉城代米御蔵跡・御普請所跡（第2次調査）ー城内大手町線道路改築工事に伴う埋蔵文化財調査報告ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第381集	2008年
大手町遺跡第7地点ー城内大手町線道路改築工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第382集	2008年
中島遺跡3（第4次調査）ー長行田町線道路改良工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告7ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第383集	2008年
小倉城御花畠跡2（第2地点2区）ー大門木町線道路改良工事に伴う埋蔵文化財調査報告3ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第384集	2008年
蟹住上組遺跡・山口ヶ浦遺跡ー一般国道495号（竹並バイパス）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告4ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第385集	2008年
蟹住古立遺跡2（3・4区）ー一般国道495号線竹並バイパス改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第386集	2008年
緑遺跡2（3区）ー緑行正線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第387集	2008年
長浜遺跡 第2地点ー砂津長浜線街路事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告 I ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第388集	2008年
大門遺跡 第4地点（1区）ー小倉駅大門線道路改築工事に伴う埋蔵文化財調査報告1ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第389集	2008年
黒崎城跡6ー前田熊手線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告5ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第390集	2008年
黒崎城跡7（8・11・13・19・20区）ー前田熊手線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告6ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第391集	2008年
黒崎城跡8（16・17・24区）ー前田熊手線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告7ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第392集	2008年
穴生森下遺跡ー穴生水巻線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第393集	2008年
古川西遺跡3・4・5区ー紫川（ふるさと区間）河道掘削工事に伴う埋蔵文化財調査報告書2ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第394集	2008年
古川西遺跡・伊崎遺跡ー紫川（ふるさと区間）河道掘削工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 I ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第395集	2008年
長野尾登遺跡第2地点（L区）ー長野緑地整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告9ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第396集	2008年
堀田遺跡（2次調査）ー小倉南消防署葛原出張所移転新築工事に伴う埋蔵文化財調査報告ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第397集	2008年
小倉城御花畠跡3（第2地点3区）	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第398集	2008年
小倉城三ノ丸跡第4地点ー小倉小笠原藩土・牧野弥次左衛門屋敷跡の調査ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第399集	2008年
米町遺跡（第3地点）ー西鉄イン小倉増築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第400集	2008年
祇園町遺跡（第5地点）ー共同住宅建設に伴う埋蔵文化財調査報告ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第401集	2008年
大手町遺跡第8地点	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第402集	2008年
蒲生大畔遺跡9区ーアパート建築工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第403集	2008年
室町遺跡第10地点	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第404集	2008年
研究紀要ー第22号ー		2008年
埋蔵文化財調査室年報24ー平成18年度ー		2008年
備後守屋鋪南側土塁跡ー共同住宅建築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告ー	北九州市埋蔵文化財調査報告書 第405集	2008年
福岡大学文学部考古学研究室		
福岡大学考古資料集成2	福岡大学考古学研究室研究調査報告 第7冊	2008年
福岡大学文学部考古学研究室		
平成18年度大牟田市市内遺跡発掘調査報告書ー平成18年度国庫補助事業による埋蔵文化財の試掘・確認調査結果報告ー	大牟田市文化財調査報告書 第61集	2008年
大野城市教育委員会		
森園・ヒケシマ遺跡	大野城市文化財調査報告書 第74集	2007年
牛頭本堂遺跡群IV	大野城市文化財調査報告書 第75集	2007年
牛頭本堂遺跡群V	大野城市文化財調査報告書 第76集	2008年
牛頭窯跡群	大野城市文化財調査報告書 第77集	2008年
川原遺跡 I	大野城市文化財調査報告書 第78集	2008年
御笠の森遺跡Ⅲ	大野城市文化財調査報告書 第79集	2008年
大野城市の民具③	大野城市の文化財 第40集	2008年
柳川市		
【柳川の歴史2】蒲池氏と田尻氏		2008年

筑紫野市教育委員会			
阿志岐城跡－阿志岐城跡確認調査報告書（旧称 宮地岳古代山城跡）－	筑紫野市文化財調査報告書 第92集		2008年
太宰府市教育委員会			
大宰府条坊跡33－第249次調査－	太宰府市の文化財 第92集		2007年
大宰府条坊跡34－第252次調査－	太宰府市の文化財 第95集		2007年
大宰府条坊跡35－第248次調査・第248次調査（その2）－	太宰府市の文化財 第96集		2008年
御笠団印出土地周辺道跡2－第3、4、5、6、11次調査－	太宰府市の文化財 第98集		2008年
大宰府条坊跡36	太宰府市の文化財 第99集		2008年
太宰府・佐野地区道跡群24－佐野土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	日焼道跡の調査－ 太宰府市の文化財 第100集		2008年
大原道跡1－大原地区治山ダム建設に伴う調査－	太宰府市の文化財 第102集		2008年
大刀洗町教育委員会			
史跡下高橋官衙道跡周辺道跡（下高橋馬屋元道跡11次調査）－福岡県三井郡大刀洗町大字下高橋所在道跡の調査－ 大刀洗町文化財調査報告書 第44集			2008年
大刀洗町内確認・試掘調査等報告書－本郷畑築地道跡・本郷辰口道跡・鶴木二塚西道跡ほか－大刀洗町文化財調査報告書 第45集			2008年
苅田町教育委員会			
国指定史跡御所山古墳	第1次調査・2007年度分の調査概報Ⅰ		2008年
北九州市教育委員会			
千防道跡第1・2地点－戸畑C街区及び周辺道路工事－	北九州市文化財調査報告書 第115集		2008年
志井雀木道跡第3地点－国庫補助事業道跡確認調査報告書－	北九州市文化財調査報告書 第116集		2008年
金山道跡第2地点・北方道跡第9次調査	北九州市文化財調査報告書 第117集		2008年
一升水道跡 第2地点	北九州市文化財調査報告書 第118集		2008年
福岡県教育委員会			
玉田道跡・船越高原A道跡Ⅳ－西隈上中川原道跡－福岡県久留米市田主丸町・うきは市浮羽町所在道跡の調査－ 一般国道210号線浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告書 第25集			2008年
小川棚ノ内道跡Ⅱ－福岡県みやま市瀬高町所在道跡の調査－	九州新幹線関係埋蔵文化財調査報告書 第8集		2008年
藤の尾垣添道跡Ⅰ－福岡県みやま市瀬高町山門所在道跡の調査 集落編Ⅰ－	九州新幹線関係埋蔵文化財調査報告書 第9集		2008年
松田掛畑道跡・岩本下内道跡－福岡県みやま市・大牟田市所在道跡の調査－	九州新幹線関係埋蔵文化財調査報告書 第10集		2008年
観音山古墳群瀬戸Ⅳ群・観音山古墳群中原Ⅲ群・内河道跡第1次－福岡県筑紫郡那珂珂川町所在道跡の調査－ 九州新幹線関係埋蔵文化財調査報告書 第11集			2008年
五ヶ山・小川内	福岡県文化財調査報告書 第215集		2008年
九州歴史資料館			
九州歴史資料館年報－平成19年度－			2008年
九歴だより No.27			2008年
九州歴史資料館 研究論集33			2008年
久留米市教育委員会			
秋成道跡－携帯電話基地局建設に伴う埋蔵文化財発掘調査－	久留米市文化財調査報告書 第252集		2007年
久留米市埋蔵文化財調査集報Ⅸ－二本木道跡・赤司定格道跡・北山古墳群・夫婦木古墳群、	京限侍屋敷道跡－ 久留米市文化財調査報告書 第253集		2007年
久留米城外郭道跡 第11次調査	久留米市文化財調査報告書 第254集		2007年
十間屋敷道跡－第3次調査－ 久留米市日吉町所在の共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告	久留米市文化財調査報告書 第255集		2007年
筑後国府跡－第218次発掘調査報告－	久留米市文化財調査報告書 第256集		2007年
鞍打道跡－第1・2次調査－久留米市都市計画事業「花畑駅周辺土地区画整理事業」に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(4)	久留米市文化財調査報告書 第257集		2007年
櫛原侍屋敷道跡－第10次調査－	久留米市文化財調査報告書 第258集		2007年
筑後国府跡－第219次発掘調査報告－	久留米市文化財調査報告書 第259集		2007年
京限侍屋敷道跡－第10次調査－久留米市中央町所在の共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 久留米市文化財調査報告書 第260集			2008年
善導寺境内道跡－第3・4次調査概要報告書－	久留米市文化財調査報告書 第261集		2008年
久留米城下町道跡－第17次調査－「築島町」「亀屋町」地区の調査	久留米市文化財調査報告書 第262集		2008年
日出原道跡－第2次調査－	久留米市文化財調査報告書 第263集		2008年
久留米市埋蔵文化財調査集報Ⅹ－久留米城外郭道跡・西小路道跡・白口経塚道跡－	久留米市文化財調査報告書 第264集		2008年
二本木道跡群Ⅴ－街路事業「都市計画道路3・3・6号東合川野伏間線」(県事業)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(5)	久留米市文化財調査報告書 第265集		2008年
京限侍屋敷道跡－第7次調査－九州新幹線「鹿児島ルート」鉄道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ	久留米市文化財調査報告書 第266集		2008年
筑後国府跡－第220次調査報告－中環状道路整備事業「都市計画道路3・4・18号合川町津福本町線」に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(1)	久留米市文化財調査報告書 第267集		2008年
平成19年度 久留米市内道跡群－市ノ上道跡・櫛原侍屋敷道跡・京限侍屋敷道跡－	久留米市文化財調査報告書 第268集		2008年
筑後国府跡 国分寺跡－平成19年度発掘調査報告・概要報告－	久留米市文化財調査報告書 第269集		2008年
筑後国三潅郡衙跡Ⅳ－道蔵道跡第18次調査報告・道蔵道跡第19次調査概要－	久留米市文化財調査報告書 第270集		2008年
筑後国府跡(1)	久留米市文化財調査報告書 第271集		2008年
久留米市文化財保護課年報 Vol.4 平成18年度版			2008年
行橋市教育委員会／（財）行橋市文化振興公社			
2008特別展 激動の7世紀－御所ヶ谷神籠石とその時代－			2008年
うきは市教育委員会			
若宮外屋敷道跡－福岡県うきは市吉井町若宮所在のマンション建設に伴う調査－	うきは市文化財調査報告書 第1集		2008年
国指定史跡 屋形古墳群－珍数塚古墳・原古墳・鳥船塚古墳・古畑古墳の史跡内容確認調査－	うきは市文化財調査報告書 第2集		2008年
吉井中町道跡	うきは市文化財調査報告書 第3集		2008年
吉井池添道跡	うきは市文化財調査報告書 第4集		2008年
屋次郎丸古墳	うきは市文化財調査報告書 第3集		2008年
伊都国歴史博物館			
伊都国歴史博物館 年報3－平成18年度－			2008年
赤村教育委員会			
本河内道跡群Ⅱ－福岡県田川郡赤村大字赤所在の数珠丸道跡群・丸熊道跡における発掘調査－ 赤村文化財調査報告書 第3集			2008年
那珂川町教育委員会			
那珂川町文化財保存整備基本計画			2003年
筑後市教育委員会			
蔵敷西野屋敷道跡	筑後市文化財調査報告書 第83集		2008年
西牟田鷲寺東道跡	筑後市文化財調査報告書 第84集		2008年
筑後市内道跡群ⅩⅠ	筑後市文化財調査報告書 第85集		2008年
山ノ井南野道跡Ⅳ	筑後市文化財調査報告書 第86集		2008年
上北島花畑道跡Ⅱ	筑後市文化財調査報告書 第87集		2008年
日韓集落研究会／七隈史学会（福岡大学人文学部歴史学科）			
第4回 共同研究会 日韓集落の研究－生産道跡と集落道跡－			2008年
九州の中世学－交易・開発・信仰－予稿集			2008年
七隈史学 第10号			2008年
苅田町教育委員会			
秋の特別展示 瑞穂の国の成立Ⅱ－豊前地方出土品－			2008年
天明三卯歳御用日記 善兵衛	かんだ古文書調査報告書 第七集		2006年
天明六午歳御用日記 和行	かんだ古文書調査報告書 第八集		2007年
大野城市教育委員会			
上大利北土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ	牛頸本堂道跡群Ⅵ～第1・9・12・16次調査～ 大野城市文化財調査報告書 第80集		2008年
上大利北土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅷ	牛頸本堂道跡群Ⅶ～第7次調査～ 大野城市文化財調査報告書 第81集		2008年
上大利北土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅸ	牛頸本堂道跡群Ⅷ～第8・13次調査～ 大野城市文化財調査報告書 第82集		2008年
上大利北土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅹ	牛頸本堂道跡群Ⅸ～第14次調査～ 大野城市文化財調査報告書 第83集		2008年
上大利北土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅠ	牛頸梅頭・本堂道跡群Ⅱ～第2次調査～ 大野城市文化財調査報告書 第84集		2008年
上大利北土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅡ	牛頸梅頭・本堂道跡群Ⅲ～第3次調査～ 大野城市文化財調査報告書 第85集		2008年
上大利北土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅢ	牛頸梅頭・本堂道跡群Ⅳ～第4次調査～ 大野城市文化財調査報告書 第86集		2008年

九州国立博物館		
東風西声	九州国立博物館紀要 第3号	2008年
釈迦誕生図－受け継がれる朝鮮仏画の名品－	修理記念特集陳列	2008年
博物館と文化財修理－九州国立博物館文化財保存修復施設開設3周年記念－	特集陳列	2008年
第2回東アジア紙文化財保存修理シンポジウム～文化をつたえる紙の路～報告書		2008年
天にささげる器－朝鮮時代の祭器－		2008年
「京都五山 禪の文化」展	足利義満六百年御忌記念	2007年
国宝 大絵巻展		2008年
島津の国宝と篤姫の時代－東京大学史料編纂所20万点の世界－		2008年
特別展 国宝 天神さま－菅原道真の時代と天満宮の至宝－		2008年
天神さま学習帳 （特別展 国宝 天神さま－菅原道真の時代と天満宮の至宝－）		2008年
特別展 工芸のいま 伝統と創造－九州・沖縄の作家たち－		2009年
きゅーはくの絵本⑥仏像		2008年
きゅーはくの絵本⑦建物		2008年

福岡市教育委員会		
麦野C遺跡5－麦野C遺跡第12次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第970集	2008年
有田・小田部45	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第971集	2008年
飯倉F遺跡2－飯倉F遺跡第4次・第5次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第972集	2008年
井尻B遺跡17－井尻B遺跡第26次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第973集	2008年
井尻B遺跡18－井尻B遺跡第28次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第974集	2008年
井相田C遺跡6－井相田C遺跡第7次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第975集	2008年
蒲田部木原遺跡8－蒲田部木原遺跡群第10次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第976集	2008年
蒲田部木原遺跡9－蒲田部木原遺跡群第11次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第977集	2008年
五十川遺跡4－五十川遺跡群第15次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第978集	2008年
重留村下遺跡4－重留村下遺跡群第5次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第979集	2008年
戸切遺跡1－戸切遺跡群第2次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第980集	2008年
那珂48－那珂遺跡群第112次調査の報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第981集	2008年
那珂49－那珂遺跡群第113次調査の報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第982集	2008年
那珂50－那珂遺跡群第115次調査の報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第983集	2008年
西新町遺跡10－第19次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第984集	2008年
西新町遺跡11－第21次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第985集	2008年
野多目B遺跡2－野多目遺跡群第2次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第986集	2008年
野芥遺跡5－野芥遺跡群第12次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第987集	2008年
博多118－博多遺跡群第157次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第988集	2008年
博多119－博多遺跡群第158次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第989集	2008年
博多120－博多遺跡群第160次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第990集	2008年
博多121－博多遺跡群第163次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第991集	2008年
博多122－博多遺跡群第164次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第992集	2008年
博多123－博多遺跡群第165次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第993集	2008年
博多124－博多遺跡群第167次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第994集	2008年
博多125－博多遺跡群第168次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第995集	2008年
箱崎32－箱崎遺跡 第53次調査－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第996集	2008年
箱崎33－箱崎遺跡 第52次調査－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第997集	2008年
箱崎34－箱崎遺跡 第54次調査－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第998集	2008年
箱崎35－箱崎遺跡 第57次調査－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第999集	2008年
比恵50－比恵遺跡群第106次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1000集	2008年
比恵51－比恵遺跡群第107次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1001集	2008年
比恵52－比恵遺跡群第109次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1002集	2008年
比恵53－比恵遺跡群第110次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1003集	2008年
比恵54－比恵遺跡群第111次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1004集	2008年
福岡城跡15－城内整備に伴う確認調査および中堀の緊急調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1005集	2008年
福岡稲木遺跡2－第1次・2次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1006集	2008年
南八幡遺跡群8－南八幡遺跡群 第15次調査－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1007集	2008年
三宅B遺跡1－三宅B遺跡第1次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1008集	2008年
今宿五郎江7－今宿五郎江遺跡第10次調査報告(1)－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1009集	2008年
女原遺跡3－第6次調査の報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1010集	2008年
九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 元岡・桑原遺跡群11－第23・30・36次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1011集	2008年
九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 元岡・桑原遺跡群12－第7次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1012集	2008年
九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 元岡・桑原遺跡群13－第20次調査の報告2－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1013集	2008年
弥永原6－弥永原遺跡群 第9次調査－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1014集	2008年
中南部9－大橋B遺跡第10次調査報告、横手遺跡群第1次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1015集	2008年
金武5－金武地区農村振興総合整備統合補助事業関係調査報告5－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1016集	2008年
古武遺跡群21－金武園場整備事業に伴う古武遺跡群第14次調査、大北遺跡第1次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1017集	2008年
古武遺跡群X X－飯盛古武園場整備関係調査報告書 14－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1018集	2008年
市道御供所井尻線建設に伴う発掘調査報告書 V 五十川遺跡5－五十川遺跡第10次・11次調査の報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1019集	2008年
徳永古墳群5－徳永古墳群H群第4次調査報告書－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1020集	2008年
那珂遺跡群51－第102次調査報告－	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第1021集	2008年
福岡市埋蔵文化財年報vol.21－平成18（2006）年度版－		2008年

宇美町教育委員会		
上角遺跡3－上角遺跡第3次発掘調査報告書－	宇美町文化財調査報告 第17集	2009年

小郡市教育委員会		
寺福童遺跡5－福岡県小郡市寺福童所在遺跡の調査報告－	小郡市文化財調査報告書 第208集	2007年
津古東宮原遺跡Ⅵ－福岡県小郡市津古所在遺跡の調査－	小郡市文化財調査報告書 第210集	2006年
小郡遺跡11・12・13－福岡県小郡市小郡所在遺跡の調査報告－	小郡市文化財調査報告書 第224集	2007年
三沢寺小路遺跡4－福岡県小郡市三沢所在遺跡の調査報告－	小郡市文化財調査報告書 第229集	2007年
三沢北中尾遺跡11B地点－三沢東土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書－	小郡市文化財調査報告書 第233集	2007年
旧松崎旅籠油屋－福岡県小郡市松崎所在遺跡の調査報告－	小郡市文化財調査報告書 第234集	2008年
寺福童遺跡銅戈埋納遺構	小郡市文化財調査報告書 第235集	2008年
力武内畑遺跡8・9・10－福岡県小郡市力武・三沢所在遺跡の調査－	小郡市文化財調査報告書 第236集	2008年
福童町遺跡7－福岡県小郡市福童所在遺跡の調査報告－	小郡市文化財調査報告書 第237集	2008年
小郡向築地遺跡2－福岡県小郡市小郡所在遺跡の調査報告－	小郡市文化財調査報告書 第239集	2008年
福童町遺跡8－福岡県小郡市福童所在遺跡の調査報告－	小郡市文化財調査報告書 第240集	2008年

福岡市博物館		
平成17年度収集 収蔵品目録		2008年
研究紀要 第18号		2008年
年報15（平成18年度）		2008年

筑前町教育委員会		
薬師堂遺跡－福岡県朝倉郡筑前町三並所在遺跡調査報告－	筑前町文化財調査報告書 第8集	2008年

	豊前市教育委員会教育課(文化芸術係)	
	『久路土六田遺跡・薬師寺塚原遺跡』 『史跡 求菩提山 求菩提山護国寺』	豊前市文化財調査報告書第24集 2009年 2009年
	宮若市教育委員会	
	中遺跡群Ⅶ／伊串遺跡－福岡県宮若市宮永所在遺跡群の調査－ 東蓮寺遺跡群宮崎窯跡－福岡県宮若市倉久所在窯跡の調査－	宮若市文化財調査報告書 第1集 宮若市文化財調査報告書 第2集 2007年 2008年
	朝倉市教育委員会	
	頓田高見遺跡Ⅳ－朝倉市頓田字高見所在遺跡の調査－ 屋永西原遺跡Ⅳ－福岡県朝倉市屋永所在遺跡第7次の調査－ 志波原遺跡－福岡県朝倉市把木志波所在遺跡の調査－ 檜原下法寺遺跡Ⅱ－福岡県朝倉市檜原所在遺跡第2次の調査－ 甘木歴史資料館収蔵品目録 甘木歴史資料館収蔵品目録 温故	朝倉市文化財調査報告書 第1集 朝倉市文化財調査報告書 第2集 朝倉市文化財調査報告書 第3集 朝倉市文化財調査報告書 第4集 第1集 第2集 第47号 2007年 2007年 2008年 2008年 2006年 2008年 2008年
	上毛町教育委員会	
	下唐原伊柳遺跡Ⅱ(遺構編)／下唐原両色遺跡－県営担い手育成基盤事業(唐原地区)に伴う埋蔵文化財調査報告書－ 垂水地区遺跡群Ⅰ－県営は場整備事業垂水地区関係埋蔵文化財調査報告Ⅰ－ 下唐原伊柳遺跡－農村地域工業等導入事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の報告－ 追揚ヶ城－携帯電話アンテナ基地局設置に伴う埋蔵文化財発掘調査報告－ 能満寺古墳群－第3次調査－ 土倉地区遺跡 恵良古墳群・今蔵遺跡・縄手遺跡 東下地区遺跡(今蔵遺跡Ⅱ区・仙代地区遺跡・堂ヶ追遺跡・井手ノ上遺跡・下村池ノ本遺跡・下村養生寺遺跡・下村塚添遺跡・東友枝城ノ腰遺跡) 上唐原村ノ内遺跡・上唐原山ヶ園遺跡 下唐原伊柳遺跡B地点・下唐原甚吾久保遺跡－県営担い手育成基盤事業(唐原地区)および自然崩壊に伴う埋蔵文化財調査報告書－ 下唐原大久保櫓迫遺跡・下唐原大久保遺跡・下唐原西方遺跡・下唐原龍右衛門遺跡－村道恒久橋・上丸尾線建設に伴う発掘調査報告書－ 唐原山城跡Ⅱ－福岡県築上郡大平村大字下唐原・土佐井所在山城の調査報告－	上毛町文化財調査報告書 第7集 上毛町文化財調査報告書 第8集 大平村文化財調査報告書 第14集 大平村文化財調査報告書 第15集 上毛町文化財調査報告書 第1集 上毛町文化財調査報告書 第2集 上毛町文化財調査報告書 第3集 上毛町文化財調査報告書 第4集 上毛町文化財調査報告書 第5集 上毛町文化財調査報告書 第6集 大平村文化財調査報告書 第11集 大平村文化財調査報告書 第16集 2008年 2008年 2003年 2004年 2006年 2006年 2006年 2007年 2007年 2008年 2001年 2005年
	粕屋町教育委員会	
	『江辻遺跡第8地点』	粕屋町文化財調査報告書 第28集 2009年
	岡垣町教育委員会	
	『高丸・友田遺跡群』	平成20年度 岡垣町文化財調査報告書 第27集 2009年
佐賀県	武雄市教育委員会	
	武雄市内遺跡確認調査報告書	武雄市文化財調査報告書 第49集 2008年
	佐賀県教育委員会	
	中原遺跡Ⅱ 6区・7区の調査－西九州自動車道建設に係る文化財調査報告書(5)－	佐賀県文化財調査報告書 第175集 2008年
	佐賀市教育委員会	
	佐賀城跡－2・3区の調査－ 中原遺跡－2・3区の調査－ 佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書－2005年度－ 東高木遺跡Ⅲ 8～10区の調査－ 神野二本松2－3区の調査－ 築山遺跡Ⅲ－3区の調査－ 兵庫北土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第5集 兵庫北土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第6集 兵庫北土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第7集 兵庫北土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第8集 東名遺跡－第2次調査の概要－	佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第18集 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第19集 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第20集 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第21集 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第22集 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第23集 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第24集 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第25集 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第26集 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第27集 東名遺跡群発掘調査概要報告書2 2007年 2007年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年
	唐津市教育委員会	
	唐津市内遺跡確認調査(24)－土地開発に伴う市内遺跡確認調査報告－ 大谷窯跡 竹の下古墳群－試掘調査概報－ 半田大園遺跡－県道七山唐津線道路改良事業に伴う埋蔵文化財調査－ 五反田松本遺跡－一般国道323号線道路改良事業に伴う文化財調査報告書－	唐津市文化財調査報告書 第141集 唐津市文化財調査報告書 第142集 唐津市文化財調査報告書 第143集 唐津市文化財調査報告書 第144集 唐津市文化財調査報告書 第145集 2008年 2008年 2008年 2008年 2008年
	佐賀県立名護屋城博物館	
	特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」『前田利家陣跡』	2008年
	佐賀県教育委員会	
	吉野ヶ里遺跡大曲一の坪地区・枝町遺跡－県立吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書－ 吉野ヶ里遺跡－国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書2－ 吉野ヶ里遺跡－田手二本黒木地区の弥生時代中期の石器－ 西畑瀬遺跡1－嘉瀬川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2－ 勝尾城下町遺跡－九州新幹線工事に伴う埋蔵文化財調査報告書2－	佐賀県文化財調査報告書 第172集 佐賀県文化財調査報告書 第173集 佐賀県文化財調査報告書 第177集 佐賀県文化財調査報告書 第176集 佐賀県文化財調査報告書 第178集 2007年 2007年 2008年 2008年 2008年
	小城市教育委員会	
	調査研究報告書－平成18年度・19年度事業報告－〔第3集〕 明隈遺跡	小城市文化財調査報告書 第7集 2008年 2008年
	佐賀県立美術館・山口県立美術館	
	運慶流	2008年
	神埼市教育委員会	
	浜戸立樋門－神崎市千代田町境原所在の近代土木遺産記録保存報告書－ 熊谷遺跡／八子六本黒木遺跡－県道若宮鶴線道路改良工事に伴う熊谷遺跡5・6区、八子六本黒木遺跡15・17区の埋蔵文化財発掘調査報告書－ 八子一本黒木遺跡Ⅰ・Ⅱ区－一般県道若宮鶴線緊急地方道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－ 神埼宿遺跡－佐賀県神崎市神埼町神埼所在の個人住宅建設にかかわる発掘調査報告書－ 八子六本黒木遺跡－県道若宮鶴線道路改良工事に伴う八子六本黒木遺跡13・16・19区の発掘調査報告書－ 八子一本黒木遺跡／八子六本黒木遺跡－県道若宮鶴線道路改良工事に伴う八子一本黒木遺跡3区、八子六本黒木遺跡18D・E区の埋蔵文化財発掘調査報告書－ 志波屋六本松古墳群－佐賀県神埼郡神埼町大字志波屋所在遺跡の発掘調査概要報告書－ 八子六本黒木遺跡－一般県道若宮鶴線緊急地方道路整備事業に伴う八子六本黒木遺跡11区の発掘調査報告書－ 右原祇園町遺跡 『市内遺跡確認調査概要報告書Ⅰ』	神埼市文化財調査報告書 第6集 神埼市文化財調査報告書 第9集 神埼町文化財調査報告書 第82集 神崎市埋蔵文化財調査報告書 第5集 神崎市文化財調査報告書 第8集 神崎市文化財調査報告書 第10集 神埼町文化財調査報告書 第47集 神埼町文化財調査報告書 第84集 神埼町文化財調査報告書 第52集 神埼市文化財調査報告書 第7集 2009年 2009年 2004年 2008年 2009年 2009年 2009年 2009年 1995年 2005年 1996年 2009年
長崎県	長崎県(企画)／DEIT 2 幀(製作)	
	(DVD) 上野彦馬－写真と化学に捧げた生涯－ (DVD) 天正遣欧少年使節－世界への扉を開いた四少年－ (DVD) 松浦静山－江戸時代を記録した男－	歴史タイムトラベル1 歴史タイムトラベル2 歴史タイムトラベル3 2005年 2005年 2007年
	波佐見町教育委員会	
	中尾上登窯跡	波佐見町文化財調査報告書 第18集 2008年
	壱岐市教育委員会	
	特別史跡 原の辻遺跡 戸田遺跡	壱岐市文化財調査報告書 第12集 壱岐市文化財調査報告書 第13集 2008年 2008年
	対馬市教育委員会	
	町内遺跡発掘調査事業報告書－長崎県対馬市厳原町－	対馬市文化財調査報告書 第3集 2006年
	松浦市教育委員会	

	松浦市鷹島海底遺跡－平成13・14年度 鷹島町神崎港改修工事に伴う緊急調査報告書－	松浦市文化財調査報告書 第2集	2008年
	大村市教育委員会 今富城跡－携帯電話無線基地局建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	大村市文化財調査報告書 第32集	2008年
	諫早市教育委員会 貝津横島B遺跡 丸尾古墳	諫早市文化財調査報告書 第21集 諫早市文化財調査報告書 第22集	2008年 2008年
	大村市教育委員会 市内遺跡発掘調査概報3 『富の原遺跡』市道富の原3号線道路改良工事に伴う発掘調査報告書	大村市文化財調査報告書 第34集 大村市文化財調査報告書 第33集	2009年 2009年
	都城市教育委員会 『都城市山之口地区遺跡詳細分布調査報告書』	都城市文化財調査報告書 第94集	2009年
	長崎県教育庁佐世保文化財調査事務所 『一般国道497号佐々佐世保道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 II 門前遺跡』 『一般国道497号佐々佐世保道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 V 門前遺跡』 『一般国道497号佐々佐世保道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 VI 門前遺跡』	長崎県文化財調査報告書 第190集 長崎県佐世保文化財調査事務所調査報告書 第3集 長崎県佐世保文化財調査事務所調査報告書 第4集	2009年 2009年 2009年
	雲仙市教育委員会 龍王遺跡Ⅲ 佃遺跡 伊古遺跡	雲仙市文化財調査報告集 第3集 雲仙市文化財調査報告集 第4集 雲仙市文化財調査報告集 第5集	2008年 2008年 2008年
	佐賀県教育委員会 佐賀県内遺跡確認調査報告書26	佐賀県文化財調査報告書 第174集	2008年
熊本県	八代市立博物館未来の森ミュージアム 松井文庫所蔵古文書調査報告書 12		2008年
	熊本市教育委員会 池辺寺跡Ⅸ－平成17年度発掘調査報告書－ 池辺寺跡Ⅹ－平成18年度発掘調査報告書－ 大江遺跡群Ⅶ－大江遺跡群第107次調査区発掘調査報告書－ 八ノ坪遺跡Ⅲ 神水遺跡Ⅸ－第40次発掘調査報告書－ 二本木遺跡群Ⅱ－二本木遺跡群第13次調査区発掘調査報告書－ 二本木遺跡群Ⅲ－二本木遺跡群第26次調査区発掘調査報告書－ 都市計画道路清水・野口線建設に伴う埋蔵文化財調査報告書 熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集－平成17年度－ 熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集－平成18年度－ 熊本市埋蔵文化財調査年報 第9号－平成17年度－ 史跡 池辺寺跡 保存整備基本構想書		2007年 2008年 2007年 2007年 2007年 2007年 2007年 2007年 2007年 2007年 2008年
	熊本大学埋蔵文化財研究室 熊本大学文学部考古学研究室報告	第43集	2008年
	山鹿市教育委員会 方保田東原遺跡(9)－出土文化財管理センター建設に伴う発掘調査報告書－ 方保田東原遺跡10－平成16年度国庫補助事業 遺跡内容確認調査報告書－	山鹿市文化財調査報告書 第6集 山鹿市文化財調査報告書 第7集	2008年 2008年
	南関町教育委員会 史跡 豊前街道南関御茶屋跡保存整備事業報告書	南関町文化財調査報告 第11集	2008年
	相良村教育委員会 今村遺跡－川地区農業集落排水処理施設建設事業に伴う埋蔵文化財調査報告－縄文時代・古代・中世・近世遺跡の調査－ 相良村文化財調査報告 第7集		2008年
	菊池市教育委員会 森北後田遺跡・藤田上原遺跡－花房北部地区は場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査－	菊池市文化財調査報告 第2集	2008年
	宇土市教育委員会 轟貝塚－慶應義塾大学資料再整理報告－	宇土市埋蔵文化財調査報告書 第30集	2008年
	熊本大学埋蔵文化財研究室 熊本大学埋蔵文化財調査室年報 2006年度 熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ（1996・1997年度）		2008年 2008年
	八代市教育委員会 キリシタン寺院跡・宮地観行寺遺跡－宮地町10号線改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査Ⅰ－ 上日置女夫木遺跡－新八代駅周辺公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査Ⅰ－	八代市文化財調査報告書 第36集 八代市文化財調査報告書 第37集	2008年 2008年
	天草市教育委員会（旧本渡市教育委員会） 木山家文書 御用触写帳 第2巻 木山家文書 御用触写帳 第3巻 木山家文書 御用触写帳 第4巻 木山家文書 御用触写帳 第5巻 木山家文書 御用触写帳 第6巻 木山家文書 御用触写帳 第7巻 木山家文書 万覚帳 第1巻 木山家文書 万覚帳 第2巻 木山家文書 万覚帳 第3巻 菅原遺跡(平成6年度 市道井龍～箱の水線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書) 本渡北小学校プール遺跡調査報告書(平成7年度 本渡市立本渡北小学校プール改築事業に伴う埋蔵文化財調査報告書) 本渡市遺跡地区－本渡市遺跡詳細分布調査－ 一尾貝塚－熊本県天草郡五和町大字御領字浜田所在縄文時代貝塚の調査－ 棚底城跡Ⅱ 上木原遺跡－県営羊角湾周辺地区中山間地域総合整備事業（木原工区）に伴う埋蔵文化財発掘調査－ 天草町文化財調査報告書 第1集 大矢遺跡	本渡市古文書史料集 第2巻 本渡市古文書史料集 第3巻 本渡市古文書史料集 第4巻 本渡市古文書史料集 第5巻 本渡市古文書史料集 第6巻 本渡市古文書史料集 第7巻 本渡市古文書史料集 第1巻 本渡市古文書史料集 第2巻 本渡市古文書史料集 第3巻 熊本県本渡市文化財調査報告書 第7集 熊本県本渡市文化財調査報告書 第8集 熊本県本渡市文化財調査報告書 第9集 五和町史資料編（その11） 倉岳町文化財調査報告 第2集（倉岳町史編纂事業） 天草町文化財調査報告書 第1集 天草市文化財調査報告書 第1集	1997年 1998年 1999年 2000年 2001年 2002年 2003年 2004年 2005年 1996年 1998年 2000年 2000年 2006年 2003年 2007年
	植木町教育委員会 笹尾遺跡 石川山古墳群Ⅱ 吉部原遺跡	植木町文化財調査報告書 第7集 植木町文化財調査報告書 第8集 植木町文化財調査報告書 第9集	1996年 1996年 1998年
	菊池市教育委員会 下河原中園鶴遺跡・平原遺跡－県営菊池東部地区中山間地域総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査－ 菊池市文化財調査報告 第3集		2009年
	熊本市教育委員会 『山王遺跡 Ⅰ－山王遺跡第1次調査区発掘調査報告書－』 『二本木遺跡群Ⅵ Ⅰ－二本木遺跡第30次調査区発掘調査報告書－』 『大江遺跡群ⅦⅠ－大江遺跡郡第105次調査区発掘調査報告書－』 『二本木遺跡群ⅣⅠ－二本木遺跡第27次調査区発掘調査報告書－』 『熊本市埋蔵文化財調査年報 第10号 Ⅰ－平成18年度－』 『熊本市埋蔵文化財調査報告集 第10号 Ⅰ－平成19年度－』 『八ノ坪遺跡ⅣⅠ』 『池辺寺跡ⅩⅠ Ⅰ－平成19年度発掘調査報告書－』 『大江遺跡群ⅥⅠ－第97次・第106次調査区発掘調査報告書－』		2009年 2009年 2009年 2009年 2009年 2009年 2009年 2009年 2009年
	熊本県立装飾古墳館		

44 大分市埋藏文化財調査報告

	修驗道資料	九重町文化財調査報告 第32輯	2008年
別府市	別府の古い道 歴史散歩	別府史談会20周年記念 泉都別府ツーリズム支援事業	2009年
	日田市教育委員会		
	昭和59年度 ガランドヤ古墳群発掘調査概報		1985年
	郷四郎遺跡Ⅱ	日田市埋蔵文化財調査報告書 第82集	2007年
	一丁田遺跡Ⅱ	日田市埋蔵文化財調査報告書 第83集	2008年
	慈眼山遺跡Ⅱ	日田市埋蔵文化財調査報告書 第84集	2008年
	日田冬里千駄地区	日田市埋蔵文化財調査報告書 第85集	2008年
	上井手遺跡3次	日田市埋蔵文化財調査報告書 第86集	2008年
	祇園原遺跡Ⅱ（弥生・古墳時代遺物編）	日田市埋蔵文化財調査報告書 第87集	2008年
	平成18年度（2006年度）日田市埋蔵文化財年報		2008年
	平成19年度（2007年度）日田市埋蔵文化財年報		2008年
宮崎県	国東市教育委員会		
	重要文化財 泉福寺仏殿 保存修理工事報告書		2008年
	宮崎県文化財課		
宮崎県	平成19年度 県内遺跡発掘調査概要報告書		2008年
	宮崎県 指定古墳等再編活用事業報告書Ⅰ		2008年
都城市教育委員会	都城市埋蔵文化財センター		
	市内遺跡	都城市文化財調査報告書 第88集	2008年
	大村市教育委員会		
	市内遺跡発掘調査概報 2	大村市文化財調査報告 第31集	2008年
	清武町教育委員会		
	清武上猪ノ原遺跡 ー1ー	清武町埋蔵文化財調査報告書 第24集	2008年
	清武上猪ノ原遺跡 ー3ー	清武町埋蔵文化財調査報告書 第25集	2008年
	宮崎県埋蔵文化財センター		
	大島畠田遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第178集	2008年
	前ノ田村上第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第161集	2007年
宮崎県埋蔵文化財センター	南中原第1遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第162集	2007年
	牧内第1遺跡（第一次～第三次）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第163集	2007年
	明野遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第164集	2007年
	赤木遺跡第8地点（第3次調査）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第165集	2008年
	筆無遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第166集	2008年
	中ノ迫第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第167集	2008年
	諸麦遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第168集	2008年
	尾立第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第169集	2008年
	市納上第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第170集	2008年
	山之城跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第171集	2008年
	野首第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第172集	2008年
	宮ノ東遺跡（本文・図面・図版編・付図）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第173集	2008年
	林遺跡Ⅱ	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第174集	2008年
	曾井第2遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第175集	2008年
	板平遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第176集	2008年
	堀川運河（第一次～第十次）DVD付	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第177集	2008年
	南中原第1遺跡（二次）ー東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書61ー	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第179集	2008年
	楠牟礼1号地下式横穴墓ー平成18年度交通安全整備事業一種（国道）国道221号下堤工区歩道設置工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第180集	2008年
	黒仁田遺跡ー一般国道218号北方延岡道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(5)ー	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第181集	2009年
	赤木遺跡第8地点（第一次調査）ー一般国道218号北方延岡道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(6)ー	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第182集	2009年
	旭2丁目遺跡ー宮崎地方裁判所増築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第183集	2008年
	住吉B遺跡／赤石遺跡ー国宮尾鈴農業水利事業大内ファームボンド敷地造成工事及び調整水槽工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第184集	2009年
	尾花A遺跡（旧石器時代～縄文時代編）	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第185集	2009年
	高鍋城三ノ丸跡ー高鍋農業高校実習施設緊急整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第186集	2009年
小林市教育委員会	小林市埋蔵文化財センター		
	市内遺跡発掘調査報告書	小林市文化財調査報告書 第2集	2008年
新富町教育委員会	新富町埋蔵文化財センター		
	「隅ヶ迫横穴墓群・南原ベニガラ工房跡・祇園原地下式横穴5号・比良横穴墓群」	「新富町文化財調査報告書 第52集」	2009年
	「平成20年度町内遺跡発掘調査概要報告書 「町内遺跡」25」	「新富町文化財調査報告書 第53集」	2009年
	「平成20年度国指定「新田原古墳群」史跡整備に伴う発掘調査概要報告書」祇園原古墳群」12」	「新富町文化財調査報告書 第54集」	2009年
	祇園原遺跡・春日遺跡（写真図版編）	新富町文化財調査報告書 第37集	2004年
	春日遺跡8次調査	新富町文化財調査報告書 第49集	2007年
	町内遺跡24	新富町文化財調査報告書 第50集	2008年
	祇園原古墳群11	新富町文化財調査報告書 第51集	2008年
延岡市教育委員会	延岡市埋蔵文化財センター		
	市内遺跡		2008年
	延岡市の文化財		2001年
	木城町教育委員会		
西都市教育委員会	町内遺跡発掘調査報告書Ⅳ	木城町文化財調査報告書 第10集	2008年
	西都市埋蔵文化財センター		
西都市埋蔵文化財センター	寺崎遺跡ー西都市立妻北小学校建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査ー	西都市埋蔵文化財発掘調査報告書 第52集	2008年
	市内遺跡発掘調査概要報告書Ⅷー西都原地区遺跡・寺崎遺跡ー	西都市埋蔵文化財発掘調査報告書 第53集	2008年
	堂ヶ嶋遺跡・上妻遺跡・童子丸遺跡・石貫遺跡・寺崎遺跡ー妻北地区下水道敷設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅳー	西都市埋蔵文化財発掘調査報告書 第54集	2008年
	都於郡城跡発掘調査概要報告書Ⅶー都於郡城跡ー	西都市埋蔵文化財発掘調査報告書 第55集	2008年
	平成19年度 西都原古墳研究所・年報ー第24号ー		2008年
	日南市埋蔵文化財センター		
日南市教育委員会	平成15年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市埋蔵文化財調査報告 第19集	2004年
	平成16年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市埋蔵文化財調査報告 第20集	2005年
	平成17年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市埋蔵文化財調査報告 第21集	2006年
	平成18年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市埋蔵文化財調査報告 第22集	2007年
	平成19年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市埋蔵文化財調査報告 第23集	2008年
宮崎市教育委員会	宮崎市埋蔵文化財センター		
	億第2遺跡ー地域自治区庁事務所建設に伴う舞尾図文化財発掘調査報告書ー	宮崎市文化財調査報告書 第66集	2008年
	史跡 穆佐城跡ー穆佐城跡保存整備に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書（Ⅲ）ー	宮崎市文化財調査報告書 第67集	2008年
	下北方5号墳周辺遺跡ー共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー	宮崎市文化財調査報告書 第68集	2008年
	山崎上ノ原第2遺跡Ⅲー携帯電話用無線基地局建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー	宮崎市文化財調査報告書 第69集	2008年
	片瀬原遺跡ー特別養護老人ホーム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー	宮崎市文化財調査報告書 第70集	2008年
	下北方1号墳周辺遺跡ー共同住宅建築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー	宮崎市文化財調査報告書 第71集	2008年
	橋山第2遺跡ー宮崎市高岡町における第2花見工業団地（仮称）土地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー	宮崎市文化財調査報告書 第73集	2008年
	きよたけ歴史館・清武町埋蔵文化財センター		
	清武上猪ノ原遺跡 ー2ー	清武町埋蔵文化財調査報告書 第26集	2009年

	清武上猪ノ原遺跡 第5地区	清武町埋蔵文化財調査報告書 第27集	2009年
鹿児島県	都城市教育委員会		
	八幡城遺跡	都城市文化財調査報告書 第91集	2009年
	向原第2遺跡（第3次調査）	都城市文化財調査報告書 第92集	2009年
	岩古田遺跡（第2次調査）	都城市文化財調査報告書 第95集	2009年
	高八重遺跡	都城市文化財調査報告書 第90集	2009年
	『市内遺跡2』	都城市文化財調査報告書 第93集	2009年
	北方町教育委員会		
	北方町内遺跡6	北方町文化財報告書 第27集	2006年
	上崎地区遺跡6	北方町文化財報告書 第28集	2006年
	上崎地区遺跡－県営農地保全整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書－	北方町文化財報告書 第36集	2006年
	わが国の火山噴火罹災地における生活・文化環境の復元		2008年
鹿児島県	鹿児島市教育委員会		
	北田平遺跡・向原遺跡・西ノ迫遺跡・東昌寺B遺跡・東昌寺C遺跡－畑地帯総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(57)	2007年
	武遺跡G地点－ビジネスホテル建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(52)	2007年
	北田平遺跡B地点－携帯電話無線中継基地局建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(53)	2007年
	大龍遺跡F地点－共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(54)	2007年
	鹿児島市埋蔵文化財確認発掘調査報告書 清水城跡B地点・大乘院跡(第5次)・大龍遺跡(第9次)・玉利遺跡	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(55)	2007年
	福昌寺跡－鹿児島玉龍中高一貫教育校整備事業に伴う第三次緊急発掘調査報告書－	鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書(56)	2008年
	出水市教育委員会		
	朝日岳B遺跡－鹿児島県営中山間地域総合整備事業 出水・大川内地区 上場農道に伴う発掘調査報告書－	出水市埋蔵文化財発掘調査報告書(19)	2008年
	指宿市教育委員会		
指宿市教育委員会	新番所後遺跡Ⅱ－株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ九州携帯電話無線基地局建設に伴う発掘調査報告書－	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書 第42集	2007年
	敷領遺跡・成川遺跡・南摺ヶ浜遺跡・水迫遺跡－平成19年度市内遺跡確認調査報告書－	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書 第43集	2008年
	南迫田遺跡Ⅲ－火山砂防事業南迫田川に伴う発掘調査報告書－	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書 第44集	2008年
曾於市教育委員会	曾於市教育委員会		
	鳴神遺跡－旧大隅町八合原区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	曾於市埋蔵文化財発掘調査報告書(7)	2008年
さつま町教育委員会	宮岡遺跡－県営中山間地域総合整備事業大隅坂元地区（ほ場整備）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	曾於市埋蔵文化財発掘調査報告書(8)	2009年
	さつま町教育委員会		
さつま町教育委員会	向井原遺跡－県営中山間地域総合整備事業（薩摩地区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	鹿児島県薩摩郡さつま町埋蔵文化財発掘調査報告書(2)	2008年
	堂脇遺跡－県営中山間地域総合整備事業（薩摩地区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	鹿児島県薩摩郡さつま町埋蔵文化財発掘調査報告書(3)	2009年
垂水市教育委員会	垂水市教育委員会		
	『垂水市埋蔵文化財発掘報告書Ⅱ0－砂防激甚災害対策特別緊急調査報告－西ノ原遺跡』	垂水市埋蔵文化財発掘報告書Ⅱ0	2009年
鹿児島県立埋蔵文化財センター	鹿児島県立埋蔵文化財センター		
	荒木貝塚・和早地遺跡（大島郡喜界町）－特殊改良一種事業－般県道喜界循環線改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（119）	2008年
	持鉢松遺跡（南さつま市金峰町）－中小河川改修事業（万之瀬川）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（Ⅱ）	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（120）	2007年
	上水流遺跡2 古墳時代から近世編（南さつま市金峰町）－中小河川改修事業（万之瀬川）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（Ⅲ）	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（121）	2008年
	諏訪脇遺跡・宗円堀遺跡・神原遺跡・頭無遺跡・頭無迫田遺跡－農業開発総合センター建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ－農業開発総合センター遺跡群Ⅴ	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（122）	2008年
	堂園遺跡B地点・堂園遺跡A地点（追加調査）（所在地 南九州市川辺町神殿）－南薩縦貫道（川辺道路）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（Ⅱ）－	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（123）	2008年
	西原遺跡・牧ノ原B遺跡・原村Ⅰ遺跡・原村Ⅱ遺跡－一般県道飯野松山都城線改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（Ⅱ）	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（124）	2008年
	関山遺跡（曾於市末吉町）・鳥居川遺跡・チシャノ木遺跡（曾於市大隅町）－東九州自動車道建設（大隅IC～末吉財部IC間）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ－	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（125）	2008年
	関山西遺跡（曾於市末吉町）－東九州自動車道建設（大隅IC～末吉財部IC間）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（126）	2008年
	唐尾遺跡・高古塚遺跡・菅牟田遺跡・中之迫遺跡－東九州自動車道建設（大隅IC～末吉財部IC間）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ－	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（127）	2008年
鹿児島県立埋蔵文化財センター	仁田尾遺跡（鹿児島市）－南九州西回り自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅩⅤ－	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（128）	2008年
	向栲城跡（日置市東市来町）－南九州西回り自動車道鹿児島道路建設にともなう埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅩⅥ（伊集院IC～市来IC間）－	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（129）	2008年
	市ノ原遺跡（第4地点・第2地点）（鹿児島県日置市東市来町）－南九州西回り自動車道鹿児島道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（ⅩⅩⅦ）－	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（130）	2008年
	霜月田遺跡・都原遺跡（薩摩川内市）－南九州西回り自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅩⅧ（市来IC～薩摩川内市IC）－	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（131）	2008年
	鷲ヶ迫遺跡（根木原遺跡B地点）・北原中遺跡（C地点）・宇都上遺跡（F地点）（鹿屋市花岡町）－一般国道220号古江バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（Ⅱ）－	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（132）	2008年
沖縄県	うるま市教育委員会		
	南風原古島遺跡	うるま市文化財調査報告書 第5集	2008年
	国指定史跡 勝連城跡環境整備報告書Ⅳ	うるま市文化財調査報告書 第6集	2008年
	北谷町教育委員会		
	伊礼原遺跡－図録集－	北谷町文化財調査報告書 第25集	2006年
	平成16年度 大規模駐留軍用地跡地等利用推進費 伊礼原C遺跡保全整備基本構想策定業務報告書		2005年
	伊礼原C遺跡の語るもの－伊礼原B遺跡ほか出土遺物保存処理事業－		2004年

大分市埋蔵文化財調査報告書
2008年度

発 行 日
平成21年12月28日
編集・発行

大分市教育委員会文化財課
大分市荷揚町2番31号
〒870-8504 (097) 534-6111
